

昭和48年度

学校教育要覧

日野市教育委員会

日野市立図書館 81-7354



1374792

次に記した日までに返して下さい。

--	--

お問合せ・ご連絡は

中央図書館}	電話代	81-7354
ひまわり号		
多摩平児童図書館	電話	81-4744
高幡図書館	電話呼	91-0493
福祉センター図書館	電話呼	82-2329
社会教育センター図書館	電話呼	82-3136
平山児童図書館	電話呼	91-3773
百草台児童図書館	電話呼	91-7001

内図M-31-8(80×120)上45

庁内印刷

目 次

◆ 日野市地図	
◆ 昭和48年度指導目標	1 頁
◆ 日野市教育相談室	9
◆ 科学教育センター	11
◆ 指導主事分担一覧	12
◆ 年間行事計画	14
◆ 使用教科書	26
◆ 小中学校教科領域研究主任一覧表	27
◆ 日野市教育委員会事務局組織	28
◆ 日野市立幼稚園、小学校、中学校要覧	29

日野市全図

- ◇ 市立幼稚園
(4園)
- 市立小学校
(13校)
- 市立中学校
(5校)



日野市役所

K 10610

学校教育要覧

S 48

K 10610

学校教育要覧

S 48

郷土資料

1 : 30,000

0 500 1000 2000m

日野市教育委員会 昭和48年度学校教育の指導目標

人間尊重の精神を養い、広い国際的視野にたった国民的自覚を高めるとともに、勤労と責任を重んじ、自主性と創造性に富み、規律正しく健康で情操豊かな市民の育成をめざす教育を推進する。

特に本年度は、学校教育の本質について深く考え、地域の実態に即し、ひとりひとりの幼児・児童・生徒の資質を伸ばし、望ましい社会性の育成をはかる指導の徹底に努める。

そのため、次の事項に重点をおく。

- 学校経営における創意とくふう。
- 教育内容・方法の組織化と効率化。
- 教師と幼児・児童・生徒および父母との心の交流。
- 人権尊重の教育。
- 健康と安全の教育。

※ アンダーラインの部分は、昭和47年度の字句を改めたり、新しく設定したものです。

〔参 考〕

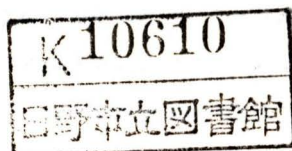
昭和48年度東京都教育委員会の学校教育における指導目標

人間尊重の精神を養い、広く国際社会において信頼と尊敬を得られる国民的資質を高め、勤労と責任を重んじ、自主性と創造性に富み規律正しく健康で情操豊かな都民の育成をめざす教育を推進する。

特に、本年度は、未来への展望にたち、教育の本質と学校教育のあり方について深く考え、地域の実態に即して当面する教育課題の解決に取り組み、教師、児童・生徒、父母、相互の信頼をいっそう深め、ひとりひとりを生かす指導の徹底に努める。

そのため、次の事項に重点をおく。

- 創意のある学校経営。
- 教育内容・方法の現代化。
- 人権尊重の教育。
- 健康・安全の教育。



☆ 小学校教育の方針

1. 学校経営、学級経営

- 1) 各学校の教育目標が学年・学級を通じて児童の望ましい人間形成のために十分具現化されているか、学校経営全体の立場からこれを検討し、その改善をはかる。
- 2) 「学校評価基準」「学校経営の手引き」などを活用して、いっそう学校経営における創意とくふうに努める。
- 3) 正常な学校運営に基づいて学年及び学級経営の充実をはかるとともに、学級担任教師は、その専門性と指導性の向上に努める。
- 4) 学級担任教師は、児童ひとりひとりの個性と能力について正しく理解するとともに、心の交流が十分行なわれるように配慮する。

2. 教育課程・学習指導

- 1) 教育課程の編成に当っては地域及び児童の実態に基づいて調和と統一がはかれるように努める。
- 2) 教育課程の実施に当たっては、教育の成果が児童のひとりひとりに正しく身につくよう万全を期する。
- 3) 学習指導に当たっては、目標の明確化、内容の精選、指導方法の刷新を期した授業の研究を進めるとともに、児童の学習態度が意欲的に育成されるようくふうし、また、その評価についてもあわせて研究する。
- 4) 学習環境を整備し、教材教具の活用について努めるとともに、効率の高い学習指導の方法について研究する。
- 5) 指導要領の研究とその実践化に努めるとともに、幼児教育及び中学校の教育課程との関連について考える。

3. 道徳教育・生活指導

- 1) 深く児童の心にふれあって、その徳性と社会性が正しく養われるように学校教育全体の中で計画的に適切な指導をする。
- 2) 生活指導の成果が児童ひとりひとりに正しく身につくようにその組織及び方法について十分研究をする。
- 3) 生活指導と教科及び道徳の指導との連けいを深めるとともに、教育相談的方法の推進をはかり、あわせて学校教育相談の望ましいあり方について留意する。
- 4) 児童を通じて学校と家庭との連けいに配慮し、学校教育における正しい人間形成のあり方について家庭の理解を深める。

- 5) 学校の全教育活動の中で、教師が児童と一体となって道徳教育を進める。
4. 健康・安全教育
- 1) 児童の体力の向上に努めるとともに、心身の調和のある発達を期する。
 - 2) 児童の生命尊重に万全を期し、強力な且効果的な安全指導を行なう。
 - 3) 地域の実態に即し、交通安全教育の徹底をはかる。
 - 4) 児童が健康で安全な生活が送れるよう保健及び安全教育の実践に努力する。
5. 情操教育・科学教育
- 1) つねに学校教育の全般を通じて、人間性に即した豊かな心情がつかわれるよう十分配慮する。
 - 2) 読書指導の推進と教育機器の活用にあつめる。
 - 3) 科学的なものの見方、考え方を伸ばす教育の推進をはかる。
 - 4) 科学教育を進展させる設備、器具の充実と、その効果的な利用について努める。

☆ 中学校教育の方針

1. 学校経営・学級経営
- 1) 学校経営に創意くふうをし、望ましい学校教育を推進する。
 - 2) 学力を充実し、情操を培い、体力を養う等、生徒の望ましい人間形成をめざして、全教職員が一体となって指導に当たるように努める。
 - 3) 学級担任教諭は、生徒個々をはあく理解し、心の交流が図れるよう配慮するとともに、教科担任教諭との連絡を密にし、学級経営の充実を図る。
 - 4) 学年の中における学級担任相互の連絡を密にし、学年経営をくふうする。さらに学年相互の連絡がとれるよう努める。
 - 5) 「学校評価基準」「学校経営の手引き」等の活用により学校経営の現代化を図る。
2. 教育課程・学習指導
- 1) 教育課程の編成に当たっては、地域及び生徒の実態に基づいて調和と統一がはかれるよう努める。
 - 2) 指導要領の研究とその実践化に努めるとともに小学校の教育課程との関連について考える。
 - 3) 各教科・領域の指導に当たっては、指導のねらいを明確にし、指導内容の精選をはかり、指導方法の改善を期した授業の研究に努める。
 - 4) 学習評価の研究をすすめ、能力、適性を生かすよう努める。
 - 5) 教材・教具の効果的な活用に努める。教育機器の利用についてもくふうし、学習指導の充

実を図る。

3. 道徳教育・生活指導

- 1) 学校の全教育活動の中で道徳教育を進める。
- 2) 各教科、道徳、特別活動の中において生活指導の徹底をはかり、常に生徒と教師との心のふれあいに努める。

4. 健康・安全教育

- 1) 体育の時間はもちろん、クラブ活動、その他の教育活動を通して体力の増強をはかり、さらに保健指導の充実と相まって健康な生活ができるよう努める。
- 2) 安全確保は学校で常に留意しなければならない。学習指導中における安全指導、校外における安全指導にも力を入れるようにする。

5. 情操教育・科学教育

- 1) 人間性豊かな心情を養い、科学的態度を身につけるよう環境づくりに配慮する。

6. 進路指導

- 1) 個々の生徒の能力、適性をよくはあくし、それに応じられるように努める。

☆ 幼稚園教育の方針

1. 学級経営について創意くふうし、個々の幼児の理解に努める。
2. 教育課程の編成に当たっては、地域・幼児の実態に基づき改善を図る。
3. 指導のねらいを明確にし、指導内容を検討し、指導法のくふうに努める。
4. 健康・安全の生活習慣を身につけるよう努める。とくに交通安全について留意する。
5. 家庭との連絡を密にし、幼児の望ましい成長を図る。
6. 環境改善についてくふうし、豊かに情操を培うとともに、正しい科学的態度が身につくよう配慮する。
7. 小学校との関連を配慮する。

☆ 特殊教育の方針

1. 特殊教育の意義について正しく理解するとともに、特殊学級への入級について万全を期する。
2. 幼児・児童・生徒の心身の障害の多様化に応じた指導の研究を深める。
3. 指導内容の精選と指導法の改善に努める。
4. 普通学級との交流について配慮する。

☆ 研修活動の方針

1. 教師の自主的研修の推進の方向に努める。
2. 各学校において積極的に校内研修がすすめられるよう促すとともに研修内容の充実をはかる。
3. 東京都教育庁指導部、多摩教育事務所、東京都立教育研究所および他郡市町との連携をはかる。

☆ 市教委の学校訪問について

1. 趣 旨

学校訪問は市教委の教育長・学校教育課長・指導主事等が学校の教育活動の実態に直接触れることによって、学校の当面する教育指導上の実践的な諸問題をとらえて、その学校が持っている諸条件に基づいて、できるだけ実的な解決をはかり、あわせて日野市の全般的な教育指導をはあくして、指導行政の参考とするため実施するものである。昭和48年度は次の三方法にわけ、教育課程実施上の諸点について、教職員と協議懇談するところに重点をおく。

(1) 市教委訪問A

年間一度、教育長、学校教育課長、指導主事等が訪問し、学校経営全般にわたって指導助言する。

内容については、①校長の概況説明 ②授業参観 ③施設・設備の活用状況の参観
④教職員との協議懇談等を含むが、その方法については学校の希望によってきめる。

(2) 市教委訪問B

年間一度、市教委訪問のない学期に指導主事が訪問し、学級経営・教科指導・道徳指導・生活指導その他について指導助言する。その方法については学校の希望によってきめる。

(3) 要請訪問

各学校の要請に基づき指導主事が訪問し、指導助言する。各学校から要請が多くあることを期待する。

2. 日 程

		市教委訪問 A	市教委訪問 B
小	日 野 第 一 小 学 校	1 1 月 3 0 日 (金)	2 月 1 9 日 (火)
"	日 野 第 二 小 学 校	1 1 月 2 8 日 (水)	6 月 2 5 日 (月)
"	日 野 第 三 小 学 校	1 1 月 1 9 日 (月)	1 月 1 8 日 (金)
"	日 野 第 四 小 学 校	1 月 2 3 日 (水)	6 月 6 6 日 (水)
"	日 野 第 五 小 学 校	1 月 2 5 日 (金)	6 月 2 7 日 (水)
"	日 野 第 六 小 学 校	6 月 2 0 日 (水)	1 0 月 2 日 (火)
"	潤 徳 小 学 校	6 月 2 9 日 (金)	1 1 月 1 6 日 (金)
"	平 山 小 学 校	6 月 1 日 (金)	1 2 月 7 日 (金)
"	日 野 第 七 小 学 校	1 0 月 1 6 日 (火)	2 月 1 日 (金)
"	日 野 第 八 小 学 校	6 月 4 日 (月)	1 1 月 7 日 (水)
"	百 草 台 小 学 校	2 月 7 日 (木)	1 1 月 2 2 日 (金)
"	滝 合 小 学 校	1 0 月 3 1 日 (水)	2 月 1 5 日 (金)
"	高 幡 台 小 学 校	1 2 月 5 日 (水)	1 0 月 1 7 日 (水)
中	日 野 第 一 中 学 校	9 月 2 1 日 (金)	2 月 4 日 (月)
"	日 野 第 二 中 学 校	1 0 月 5 日 (金)	2 月 2 2 日 (金)
"	七 生 中 学 校	6 月 1 8 日 (月)	1 月 2 1 日 (月)
"	日 野 第 三 中 学 校	1 0 月 1 9 日 (金)	2 月 1 3 日 (水)
"	日 野 第 四 中 学 校	1 0 月 1 2 日 (金)	2 月 2 5 日 (月)
幼	第 一 幼 稚 園	1 0 月 2 3 日 (火)	5 月 9 日 (水)
"	第 二 幼 稚 園	4 月 2 5 日 (水)	9 月 2 6 日 (水)
"	第 三 幼 稚 園	5 月 2 3 日 (水)	1 2 月 1 2 日 (水)
"	第 四 幼 稚 園	1 月 3 0 日 (水)	6 月 1 3 日 (水)

☆ 研修計画について

(日野市主催研修会)

(1) 学校経営研修会(8回)

校長・教頭・教務主任・一般教諭等を対象とし、幹部職員の資質の向上をはかる。

(2) 新任教諭研修会(13回)

新規採用教諭(経験1年未満を対象)に対し教職観、学習指導法、教材研究等の研修を行い教職員としての使命観を培い、指導力と資質の向上をはかる。

(3) 実技研修会

小学校低学年担任教諭の音楽・図工・体育(2)・理科(3)についての実技について研修し、指導力の充実をはかる。

(4) 幼稚園教諭研修会(2回)

幼児教育の重要性にかんがみ、幼児指導の理論及び方法を研修する。

(5) 道徳教育研修会(3回)

道徳指導の普及徹底をはかるため研修会を開く。

(6) 事務主事研修会(2回)

主査、事務主査、事務主事、主事の職務内容について研修し、実務に対する事務能力の充実をはかる。

(7) 教育相談研修会(年間22回)

教育相談員、教育相談研修員、教育相談に関心のある教諭を対象に原則として毎月第二火曜、第三土曜に教育相談の方法、教育相談事例の扱い方について研修を行ない、教育相談についての正しい理解を深める。

(8) 教育工学研修会(2回)

教育の現代化をはかるため、授業のシステム化・教材プログラム、フローチャートなどについて研修する。

(9) 教育機器研修会(2回)

教育の現代化をはかるため教育機器(特にOHP、VTRなど)の活用について研修する。

(10) 養護教諭研修会(1回)

養護教諭の資質の向上をはかる。

(11) 同和教育研修会(1回)

人権尊重の精神を養い、同和教育に対する認識を高める。

☆ その他の事業について

1. 教務主任会（月例）
2. 生活指導連絡協議会（月例）
3. 音楽鑑賞教室（午前 - 小学校、午後 - 中学校）
4. 教育工学研究委員会 — 研究・実践（委託）
5. 小学校教育課程指導計画の手引き — 作成 —（委託）
6. 小学校科学教育センター（六小）
7. 教育相談（教育相談室報発行も含む）
8. 研究委託
 - ① 授業研究校（8校）
 - ② 個人研究（1人 7,000円×50人）
 - ③ 派遣研究（1人12,000円×30人）

日 野 市 教 育 相 談 室

☆ 設置の趣旨

日野市内における幼児・児童・生徒（高校生も含む）を対象に、学校および家庭において主として学習意欲、能力、生活態度につき、保護者又は担任教諭が教育上望ましくない事実を見出した場合、相談に応ずることを設置の趣旨としている。

☆ 構 成

相 談 室 長 松 本 武（日野市教育委員会学校教育課長）

教 育 相 談 員

山 内 春 美（日野三小教諭）	小笠原 本 江（滝合小教諭）
落 合 茂 子（日野三小教諭）	原 島 弘（日野二中教諭）
上 野 森 良（日野四小教諭）	鈴 木 良 身（日野四中教諭）
井 尻 武 子（日野五小教諭）	上 野 美津枝（二 幼 教 諭）
広 沢 フサ子（日野六小教諭）	小柳津 芳 子（日野市教育委員会）
市 川 忝 子（日野八小教諭）	

教育相談研修員

甲 斐 由 美（日野二小教諭）	高 井 くめ子（潤徳小教諭）
石 原 八重子（日野二小教諭）	小 村 満紀子（潤徳小教諭）
銀 鏡 明 子（日野三小教諭）	樋 川 万佐子（平山小教諭）
内 田 房 枝（日野三小教諭）	渋谷 範 子（高幡台小教諭）
中 村 美 子（日野三小教諭）	星 勝（日野一中教諭）
遠 藤 綾（日野四小教諭）	長谷川 忠 男（日野一中教諭）
和 田 愛 子（日野四小教諭）	辻 和 代（日野四中教諭）
志 賀 定 一（日野四小教諭）	市 川 やす子（一 幼 教 諭）
中 村 志 美（日野五小教諭）	小 川 陽 子（二 幼 教 諭）
加 藤 美和子（日野七小教諭）	沖 山 英 代（四 幼 教 諭）

担当指導主事 蓮 池 守 一

顧 問 佐 藤 正（東京学芸大学教授）

小 諸 ハル子（都立精神衛生センター梅ガ丘分室 精神医）

保護者の直接又は、保護者及び担任教諭による各校（幼・小・中）の学校教育相談係を通じての申込みにより毎週火、木（8月を除く）の2回、教育相談員が2名1組となって相談に応じている。（午後1時30分より4時まで）申込みは無料で受け付けている。

○教育相談概況（昭47.4.1～48.3.31）

申込み件数	1 0 6
面接延回数	5 3 0

主訴 別件数	幼 児	児 童	生 徒	計
登園・登校拒否	0	6	2	8
集団に入れない等	3	5	0	8
落ちつきがない	0	5	0	5
いたずら・らんぼう	0	4	0	4
ぬすみ・うそ	1	0	0	1
神 経 症	1	3	0	4
身体虚弱・肥満・偏食	2	1	0	3
言語障害	1	1	0	2
情緒障害	3	0	0	3
就学 児精密検査	0	30	0	30
特殊学級入級等	0	13	1	14
就学・進学	5	5	0	10
学業不振・知恵おくれ	1	6	1	8
家庭環境問題	0	6	0	6
計	17	85	4	106

教育相談員の資質と相談技術の向上のため、毎月第二火曜に相談事例研究、第三土曜に研修会（顧問の先生が指導）を開いている。研修会には、日野市公立学校教職員なら誰でも参加してさしつかえないことになっている。

日野第三小学校、平山小学校、日野第一中学校に併設されている特殊学級へ、児童・生徒の入級希望があった場合、教育相談室においては、入級判別のための知能テストを行なうことになっている。この知能テストの結果は入級判別の資料として、日野市特殊学級入級選考委員会において扱い、判別会議を行なった上で入級を決めている。

小学校科学教育センター

目 的

公立小学校における科学教育の振興を図るために、児童の科学的態度及び能力・技術の向上と教職員の理科の指導についての資質を高める事業を行なう。

◎日野市小学校科学教育センター

- ・所 在 地 日野市立日野第六小学校内
- ・センター長 新 海 圭 三（日野市立日野第六小学校長）
- ・センター児童数

校名	一小	二小	三小	四小	五小	六小	七小	八小	潤徳小	平山小	百草台小	滝合小	高幡台小	合計
男	3	3	3	3	3	2	1	2	5	3	1	3	2	35
女	1	0	0	0	1	6	0	1	0	0	1	0	0	9
計	4	3	3	3	4	8	1	3	5	3	2	3	2	44

・指 導 員

1	松白樂 敬 治	三 小	6	草 刈 喜 一 六 小
2	江 口 耕 一	六 小	7	堀 越 邦 昌 平 山 小
3	永 井 一 郎	"	8	森 清 晃 潤 徳 小
4	原 田 美智子	"	9	成 井 朝 雄 七 小
5	原 祐 房	"	10	村 越 正 滝 合 小

- 担当指導主事 五十嵐 邦 享
- 他補助員 8名

・事 業

5月12日の開講式より3月16日の閉講式まで32回にわたり、土曜の2時～4時

- ・こまかくみる ・そくていする ・グラフであらわす ・すいそくする ・ぶんるいする
- ・せいさくするにわけ、一斉指導をする。そのほか自由研究、製作、見学、採集等の実地指導も行ない、年度末には研究発表会を行なう。

指導主事分担一覧

指導主事 五十嵐 邦 享

指導主事 蓮 池 守 一

1 校種別分担

小学校教育 蓮 池
幼稚園教育 蓮 池

中学校教育 五十嵐

2. 教科・領域別分担

国語(含書写) 蓮 池
社 会 蓮 池
算 数・数 学 五十嵐
理 科 五十嵐
音 楽 蓮 池
図 工・美術 蓮 池
体育・保健体育 五十嵐
家庭・技術家庭 蓮 池
外 国 語(英) 五十嵐
道 徳 蓮 池
生 活 指 導 五十嵐
特 別 活 動 五十嵐
学 校 行 事 等 蓮 池
学 級 経 営 蓮 池

教 育 相 談 蓮 池
特 殊 教 育 蓮 池
視 聴 覚 教 育 五十嵐
放 送 教 育 五十嵐
図 書 館 教 育 蓮 池
学 校 給 食 五十嵐
保 健 教 育 五十嵐
安 全 教 育 五十嵐
同 和 教 育 五十嵐
公 害 教 育 五十嵐
進 路 指 導 五十嵐
幼 児 教 育 蓮 池
学 校 事 務 蓮 池

3. 施設・行事等分担

教 育 相 談 室 蓮 池
特 殊 学 級 蓮 池
科学教育センター 五十嵐
教科書 センター 蓮 池

文 化 行 事 蓮 池
体 育 行 事 五十嵐
修 学 旅 行 五十嵐
移 動 教 室 五十嵐

4. 指導事務分担

指導部・都研研修	五十嵐	文化行事	蓮池
研究員・研究生	五十嵐	指導要領	五十嵐・蓮池
教育課程届出承認	五十嵐	「日野の教育」まどべ	五十嵐・蓮池
現代化研究	五十嵐	月行事予定	蓮池
研究集録	蓮池	教育実習	五十嵐
学校訪問	五十嵐	授業研究校	五十嵐
教材届出承認	蓮池	委託研究	五十嵐
遠足・修学旅行承認	五十嵐	派遣研究	五十嵐
調査・資料収集	五十嵐	都研究奨励費	五十嵐

5. 渉外分担

校長会	五十嵐・蓮池		
教頭会	五十嵐	日野市教研	五十嵐・蓮池
教務主任会	五十嵐	都市指導主事会	五十嵐・蓮池
生活指導連絡協議会	五十嵐	第2ブロック連絡会	五十嵐
教育工学研究委員会	五十嵐		

6. 研修分担

学校経営研修会	五十嵐・蓮池	学校図書館研修会	蓮池
新任教諭研修会	五十嵐	教育機器研修会	五十嵐
理科実技研修会	五十嵐	教育工学研修会	五十嵐
音楽実技研修会	蓮池	同和教育研修会	五十嵐
図工実技研修会	蓮池	養護教諭研修会	五十嵐
体育実技研修会	五十嵐	特殊教育研修会	蓮池
小3社会科実技研修会	蓮池	事務職員研修会	蓮池
道德教育研修会	蓮池	幼稚園教諭研修会	蓮池
生活指導研修会	五十嵐		

年間行事計画

□ 全日 □ 学校や先生に
△ 午前 ▲ 関係のない行事
○ 午後 ●

(4 月)

日	曜	市	都
1	①		
2	月		
3	火	□ 新任教諭研修会 ₁ ○ 転入教諭市内巡回検	
4	水		
5	木		
6	金		
7	土		
8	②		
9	月		
10	火	○ 都研研修会説明調整会 (教頭)	■ 担当市教委訪問 (多摩)
11	水		
12	木	○ 特殊教育研修会	△ 都市指導主事会 ₁
13	金	○ 学校経営研修会 ₁ (一般)	
14	土	△ 訪問学級入級選考委員会	
15	③		
16	月	○ 図書館担当打合せ会	
17	火	○ 学校相談係打合せ会	
18	水		△ 生活指導担当指導主事連絡会 ₁
19	木	○ 教務主任会 ₁	
20	金	○ 教育工学研究委員会 (第 1 回) ○ 特殊教育推進委員会 (第 1 回)	
21	土	○ 教育相談研修会 ₁	
22	④		
23	月	○ 生活指導連絡協議会 ₁	○ 教育研究員総会
24	火		
25	水	□ 市教委訪問 (二幼 A)	
26	木		
27	金		
28	土		
29	⑤	(天 皇 誕 生 日)	
30	⑥	(休 日)	
備 考			

(5 月)

日	曜	市	都
1	火		
2	水		△指導主事連絡協議会 ⑤多摩指導主事連絡協議会
3	木	(憲 法 記 念 日)	
4	金		
5	土	(こ ど も の 日)	
6	日		
7	月	○体育実技研修会	
8	火	○新任教諭研修会 ○教育相談研修会 ₂	
9	水	□市教委訪問 (一幼 B)	
10	木	○教務主任会 ○音楽実技研修会	△都市指導主事会 ₃
11	金	△授業研究校連絡会	
12	土	○小学校科学教育センター開講式	
13	日		
14	月	○音楽鑑賞教室事務打合せ会 ₁ ○生活指導連絡協議会 ₂	
15	火		△学校訪問協議会 (全都) ○小中教育現代化委員総会
16	水		園生活指導担当指導主事研究会議
17	木	□5年移動教室 (八) (百) (高)	〃
18	金	□5年移動教室 (潤) (滝) ○特殊学級入級選考委員会	〃
19	土	○教育相談研修会 ₃	
20	日	□一中修学旅行	
21	月	□5年移動教室 (五) (七) □一中修学旅行	
22	火	□5年移動教室 (六) (平) □一中修学旅行 ○教育相談研究研修会 ₁	園新任指導主事研修会
23	水	□市教委訪問 (三幼 A)	園新任指導主事研修会
24	木	○小年間指導計画手びき作成委員会	
25	金		□道德教育助言者研究協議会 ₁
26	土		△都市指導主事会 ₄
27	日		
28	月	○教育機器研修会	○同和教育資料説明会 (市部)
29	火		△幼稚園担当指導主事連絡会 ₁
30	水	○幼稚園教諭研修会 ₁	
31	木		⑤同和教育指導主事推進委員会 ₁
備 考			

(6 月)

日	曜	市	市
1	金	☐ 市教委訪問 (平山小 A) ☐ 5 年移動教室 (三) (四)	○多摩生活指導担当教諭世話人協議会 ₁
2	土	☐ 5 年移動教室 (一) (二)	
3	⑩		
4	月	☐ 市教委訪問 (八小 A)	
5	火		
6	水	☐ 市教委訪問 (四小 B)	
7	木	○新任教諭研修会 ₃ (社会)	▲生活指導担当指導主事連絡会 ₂
8	金		○道德教育助言者研究協議会 ₂
9	土		▲都市指導主事会 ₅
10	⑪		
11	月	○生活指導連絡協議会 ₃	
12	火	○教育相談研究会 ₄	▲心身障害相当指導主事の連絡会 ₁
13	水	☐ 市教委訪問 (四幼 B)	
14	木		
15	金	☐ 教務主任宿泊研修会 (館山市)	☐ 道德教育助言者研究協議会 ₃
16	土	☐ //	
17	⑫		
18	月	☐ 市教委訪問 (七生中 A)	
19	火	○学校経営研修会 ₃ (校長) ○図工実技研修会	
20	水	☐ 市教委訪問 (六小 A) ☐ 一中移動教室	
21	木	☐ 一中移動教室 ○教育工学研修会	▲指導主事連絡協議会 ₂
22	金	☐ 一中移動教室 ☐ 七生中移動教室 ○道德教育研修会 ₁	
23	土	☐ 七生中移動教室 ○教育相談研修会 ₅	▲都市指導主事会 ₆
24	⑬	☐ 七生中移動教室	
25	月	☐ 市教委訪問 (二小 B)	
26	火	○学校経営研修会 ₄ (教頭)	▲同和教育指導主事推進委員会 ₂
27	水	☐ 市教委訪問 (五小 B)	
28	木		○多摩生活指導担当教諭連絡協議会 ₁
29	金	☐ 市教委訪問 (潤徳小 A)	
30	土	☐ 日光移動教室 (一班) (四) (六) (高)	
備	考		

(7 月)

日	曜	市	都
1	日	□日光移動教室（1班） （四）（六）（高）	
2	月	□日光移動教室（1班）（2班） （二）（三）（瀧）（八）（百）	
3	火	□日光移動教室（二班）	区市指導主事研究協議会 中高生活指導主任連絡協議会 ₁
4	水	□日光移動教室（二班）（三班） （一）（五）（七）（平）（滝）	"
5	木	□日光移動教室（三班） ○教育相談研修会 ₆	▲都市指導主事会 ₇
6	金	□日光移動教室（三班） ○新任教諭研修会（国語）	
7	土		
8	日		
9	月	○生活指導連絡協議会 ₄ ○事務職員研修会 ₁	
10	火		○多摩生活指導担当世話人協議会 ₂
11	水		▲指導主事連絡協議会 ₃ ●多摩指導主事連絡協議会 ₂
12	木		
13	金	○学校経営研修会 ₅ （一般） ○教育主任会 ₃	
14	土	○教育相談研修会 ₇	
15	日		
16	月		
17	火		
18	水		
19	木		▲都市指導主事会 ₈
20	金		
21	土		
22	日		
23	月		
24	火	□理科巡検	
25	水	□市内巡検	
26	木	△教育相談研修員研修会 ₂	
27	金		
28	土		
29	日		
30	月	□新任教諭宿泊研修会（御岳）	
31	火	□ "	
備考			

(8 月)

日	曜	市	都
1	水		
2	木		
3	金		
4	土		
5	日		
6	月	☐ 教育相談宿泊研修会 (大成 荘)	
7	火	☐	
8	水		
9	木		
10	金		
11	土	△学校経営研修会 (一般)	
12	日		
13	月		
14	火		
15	水		
16	木	☐ 事務職員宿泊研修会 (越 生)	
17	金	☐ "	
18	土		
19	日		
20	月		
21	火		☐ 教育研究員御岳研究集会
22	水		☐ ↓ (小 幼) "
23	木		☐ ↑ "
24	金		☐ ↓ (中) "
25	土		☐ ↑ "
26	日		☐ " (高)
27	月		☐ " ↓
28	火		
29	水		
30	木		
31	金		
備 考			

(9 月)

日	曜	市	都
1	土		
2	日		
3	月		
4	火		
5	水	○水泳記録会	
6	木	□三中移動教室	△生活指導担当指導主事連絡会 ₃
7	金	□三中移動教室	
8	土	□三中移動教室	△都市指導主事会 ₉
9	日	□二中移動教室	
10	月	□二中移動教室 ○生活指導連絡協議会 ₅	
11	火	□四中移動教室 ○教育相談研修会 ₈ ○体育実技研修会 ₂	
12	水	□四中移動教室	
13	木	□四中移動教室	○多摩生活指導担当教諭連絡協議会 ₂
14	金		
15	(土)	(敬 老 の 日)	
16	(日)		
17	月	○特殊教育研修会	
18	火	○新任教諭研修会 ₅	
19	水		△指導主事連絡協議会 ₄
20	木	○教務主任会 ₄	
21	金	□市教委訪問(一中A)	
22	土	○教育相談研修会 ₉	
23	(日)	(秋 分 の 日)	
24	(月)	(休 日)	
25	火	○教育機器研修会 ₂	△幼稚園担当指導主事連絡会 ₂
26	水	□市教委訪問(二幼B)	
27	木		△都市指導主事会 ₁₀
28	金	□七生中修学旅行	
29	土	□七生中修学旅行	
30	(日)	□七生中修学旅行	
備 考		養護教諭研修会	

(10 月)

日	曜	市	都
1	①月	(都 民 の 日)	
2	火	□市教委訪問(六小B)	
3	水	○幼稚園教諭研修会 ₂	
4	木	○道德教育研修会 ₂	△心身障害担当指導主事連絡会 ₂
5	金	□市教委訪問(二中A)	
6	土		
7	②日		
8	月		
9	火	□三中修学旅行 ○教育相談研修会 ₁₀	
10	③水	□三中修学旅行 (体 育 の 日)	
11	木	□三中修学旅行	△生活指導担当指導主事連絡会 ₄
12	金	□市教委訪問(四中B)	
13	土		△都市指導主事会 ₁₁
14	④日		
15	月	○生活指導連絡協議会 ₆ ○音楽鑑賞教室打合せ会 ₂	
16	火	□市教委訪問(七小A)	
17	水	□市教委訪問(高幡台小B)	
18	木	○教務主任会 ₅ ○事務職員研修会 ₂	
19	金	□市教委訪問(三中A) □四中修学旅行	
20	土	□二中修学旅行 □四中修学旅行 ○教育相談研修会 ₁₁	
21	日	□二中修学旅行 □四中修学旅行	
22	月	○学校図書館研修会	
23	火	□市教委訪問(一幼A) ○交通安全教育実験学校研究発表会(一幼) ○理科実技研修会 ₂	
24	水		
25	木	□生活指導宿泊研修会	△同和教育指導主事推進委員会 ₃
26	金	□	
27	土		△都市指導主事会 ₁₂
28	日		
29	月	○学校経営研修会 ₇ (一般)	
30	火	○新任教諭研修会 ₈	
31	水	□市教委訪問(滝合小A)	
備	考		

(1 1 月)

日	曜	市	都
1	木		
2	金		
3	⊕	(文 化 の 日)	
4	⊖		
5	月		
6	火	○教育相談研修会 _{1 2}	△特・心身障害児就学指導講習会
7	水	□市教委訪問(八小B)	
8	木		△都市指導主事会 ₁₃
9	金		
10	土		
11	⊖		
12	月	○音楽鑑賞教室打合せ会 ₃ ○生活指導連絡協議会 ₇	
13	火		⊕中・高生活指導主任連絡協議会
14	水	△音楽鑑賞教室(小) ○〃〃(中)	
15	木	○教務主任会 ₈	
16	金	□市教委訪問(潤徳小B)	
17	土	○教育相談研修会 _{1 3}	
18	⊖		
19	月	□市教委訪問(三小A)	
20	火	○新任教諭研修会 ₇	
21	水		△指導主事連絡協議会 ₅
22	木	□市教委訪問(百草台小B)	
23	⊕	(勤 労 感 謝 の 日)	
24	土		△都市指導主事会 ₁₄
25	⊖		
26	月	○音楽鑑賞教室反省会	
27	火	○教育工学研修会 ₂	
28	水	□市教委訪問(二小A)	
29	木	○同和教育研究会	
30	金	□市教委訪問(一小A)	
備 考			

(1 2 月)

日	曜	市	都
1	土		
2	⑨		
3	月		
4	火	○教育相談 研修会 ₁₄	
5	水	□市教委訪問 (高幡台小 A)	
6	木	○学校経営研修会 ₈ (一般)	△生活指導担当 指導主事連絡会 ₅
7	金	□市教委訪問 (平山小 B)	
8	土		△都市指導主事会 ₁₅
9	⑨		
10	月	○生活指導連絡協議会 ₈	
11	火	○新任教諭研修会	△同和教育指導主事推進委員会 ₄
12	水	□市教委訪問 (三幼 B)	
13	木	○教務主任会 ₇	
14	金		
15	土		
16	⑨		
17	月		
18	火		○多摩生活指導担当教諭世話人協議会
19	水		△学校訪問協議会 ₂ (多摩)
20	木		△都市指導主事会 ₁₆
21	金		
22	土		
23	⑨		
24	月		
25	火		
26	水		
27	木		
28	金		
29	土		
30	⑨		
31	月		
備 考			

(1 月)

日	曜	市	都
1	火	(元 日)	
2	水		
3	木		
4	金		
5	土		
6	日		
7	月		
8	火		
9	水		
10	木		▲ 都市指導主事会 17
11	金		
12	土	○ 教育相談研修会 ₁₆	
13	日		
14	月	○ 生活指導連絡協議会 ₉	
15	火	(成 人 の 日)	
16	水		
17	木		▲ 指導主事連絡協議会 ₈
18	金	□ 市教委訪問 (三小 B)	
19	土		
20	日		
21	月	□ 市教委訪問 (七生中 B)	
22	火	○ 新任教諭研修会 ₉	
23	水	□ 市教委訪問 (四小 A)	
24	木	○ 教務主任会 ₈	▲ 心身障害担当指導主事連絡会 ₃
25	金	□ 市教委訪問 (五小 A)	
26	土	○ 教育相談研修会 ₁₇	▲ 都市指導主事会 18
27	日		
28	月	○ 理科実技研修会 ₃	
29	火		▲ 生活指導担当指導主事連絡会 ₈
30	水	□ 市教委訪問 (四幼 A)	
31	木		○ 多摩生活指導担当教諭連絡協議会 ₃
備 考			

(2 月)

日	曜	市	都
1	金	□市教委訪問(七小B)	
2	土		
3	⑩	□就学児精密検査	
4	月	□市教委訪問(一中B)	
5	火	○新任教諭研修会 ₁₀	
6	水		△学校訪問協議会 ₃ (全都)
7	木	□市教委訪問(百草台小A)	▲都市指導主事会 ₁₉
8	金	○音楽鑑賞教室打合せ会 ₄	
9	土		
10	⑩		
11	月	(建 国 記 念 の 日)	
12	火	○教育相談研修会 ₁₈	
13	水	□市教委訪問(三中B)	
14	木	○道德教育研修会 ₃	
15	金	□市教委訪問(滝台小B)	
16	土		
17	⑩		
18	月	○生活指導連絡協議会 ₁₀	
19	火	□市教委訪問(一小B)	
20	水		△指導主事連絡協議会 ₇ ◎多摩指導主事連絡協議会 ₃
21	木	○教務主任会 ₉	
22	金	□市教委訪問(二中B)	○道德教育助言者研究協議会 ₄
23	土	○教育相談研修会 ₁₉	▲都市指導主事会 ₂₀
24	日		
25	⑪	□市教委訪問(四中B)	
26	火		△同和教育指導主事推進委員会 ₃
27	水		
28	木		
備 考			

(3月)

日	曜	市	都
1	金		
2	土		△都市指導主事会
3	日		
4	月		
5	火		
6	水		
7	木	○教務主任会 ₁₀	△生活指導担当指導主事連絡会 ₇
8	金		
9	土		
10	日		
11	月	○生活指導連絡協議会 ₁₁	
12	火		●幼稚園担当指導主事連絡会
13	水		
14	木	○特殊入級選考委員会	△都市指導主事会
15	金		
16	土	○教育相談研究発表会	
17	日		
18	月	△中学校卒業式	
19	火		
20	水	△幼稚園卒園式	△指導主事連絡協議会 ₈
21	木	(春 分 の 日)	
22	金		
23	土		
24	日		
25	月	△小学校卒業式	
26	火		
27	水		
28	木		
29	金		
30	土		
31	日		
備 考			

使 用 教 科 書

1. 小 学 校

- 国 語 科 「小学新国語」(光村図書)
「標準書き方」(教育出版)
「標準書き方毛筆」(教育出版)
- 社 会 科 「小学社会」(日本書籍)
「新しい社会科地図」(東京書籍)
- 算 数 科 「標準算数」(教育出版)
- 理 科 「新しい理科」(東京書籍)
- 音 楽 科 「〇年生の音楽」(教育芸術)
- 図画工作科 「図画工作」(開隆堂)
- 家 庭 科 「小学校家庭科」(開隆堂)

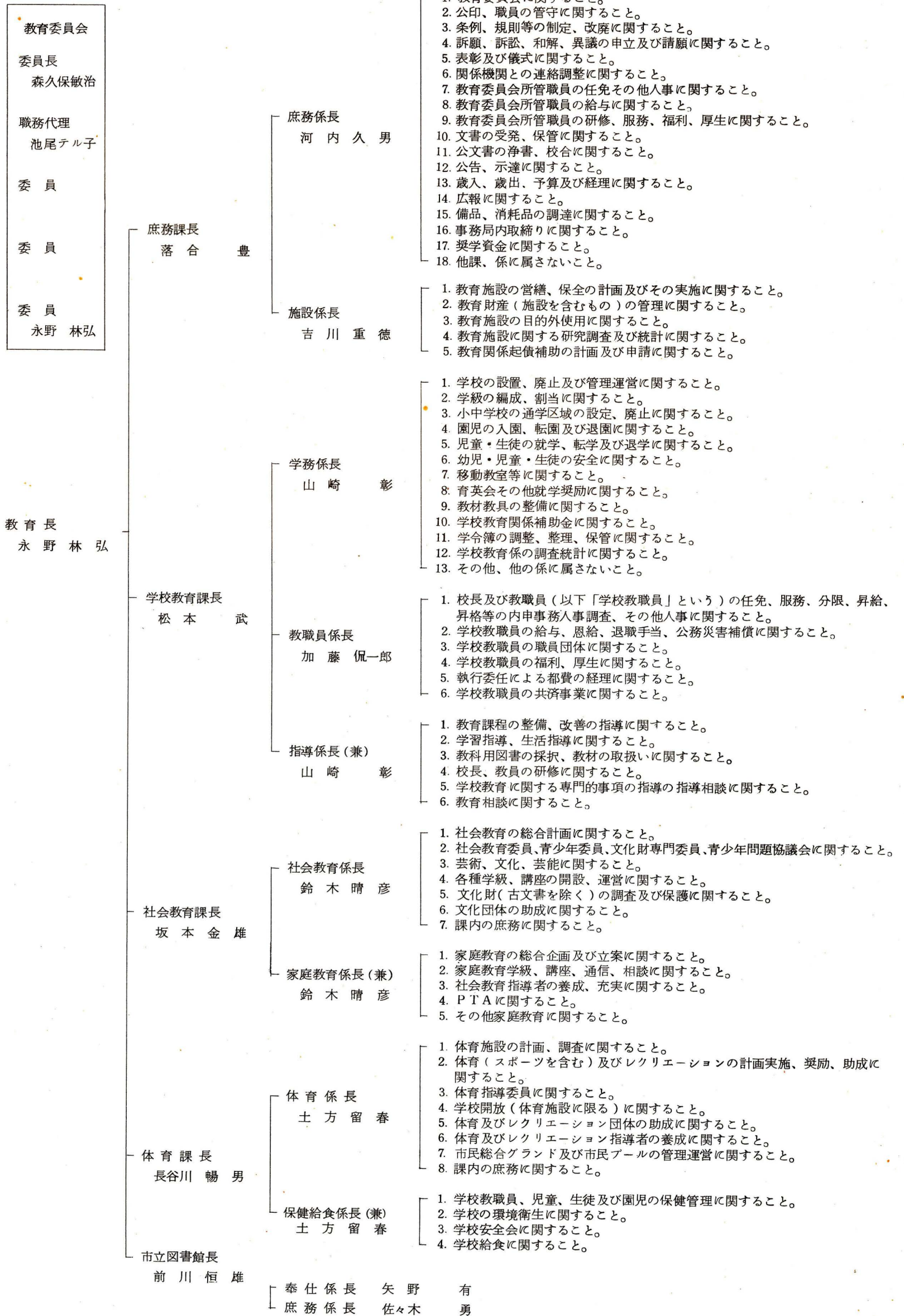
2. 中 学 校

- 国 語 科 「中学校現代の国語」(三省堂)
「新しい習字」(東京書籍)
- 社 会 科 「新しい社会・地理的分野」(東京書籍)
「中学社会 日本の歴史と世界」(清水書院)
「中学社会 公民的分野」(日本書籍)
「中学校社会科地図 最新版」(帝国書院)
- 数 学 科 「中学校数学」(学校図書)
- 理 科 「新しい科学」(東京書籍)
- 音 楽 科 「中学生の音楽」(教育芸術)
「新版標準中学生の器楽」(教育出版)
- 美 術 科 「美術」(日文)
- 保健体育科 「中学校保健体育」(学研)
- 技術家庭科 「技術・家庭 男子用」(開隆堂)
「技術・家庭 女子用」(開隆堂)
- 外国語科 「Everyday English」(中教)

小中学校教科・領域・研究主任一覧表

	日野一小	日野二小	日野三小	日野四小	日野五小	日野六小	潤徳小	平山小	日野七小	日野八小	百草台小	滝合小	高幡台小	日野一中	日野二中	七生中	日野三中	日野四中
教 務	上江州信七	石井三士	松日楽敬治	高倉教行	中川金作	和田周平	天野七郎	堀越邦昌	小坂橋五佐男	飯田幸次	村松徹二	伊藤恵造	末継逸夫	天野義雄	井田武	石井幸男	東郷隆盛	高木宏文
生 活 指 導	土田芳夫	亀山恵之助	戸塚春男	逸見政一	大竹三郎	西條淑子	清水七郎	関恒夫	三浦勝也	佐藤章吾	肥高重男	橋本清	岡善実	星勝	稲川正義	田中憲助	北原景昭	西川利行
研究または研修	村上澄江	研究 松井慶吾 研修 石岡信行	山内春美	杉本英之	福地保	曾我哲夫	古谷孝太	和田文雄	田森諦詮	柳沼敏男	村松徹二	鳥飼政喜	末継逸夫	長谷川忠男		赤木清福	東郷隆盛	田中栄一
国 語	畠中 巽	赤石 亨	本保陽子	和田愛子	前川花子	江口耕一	宮田光義	白川茂一	田森諦詮	近藤正晴	菊池悦子	西田敦子	村越裕子	宇津木十四男	石渡和子	佐藤良枝	星野明	北條義道
社 会	越村清治	亀山恵之助	藤本憲康	色川和代	前川せつ	長田正夫	河野千秋	安達美武	嶋貫博	佐藤章吾	肥高重男	山口武彦	末継逸夫	天野義雄	秦好一	伊藤栄一	志茂知之	黒沢谷五郎
算 数 ・ 数 学	村田麗子	石岡信行	八田博子	仲二見洋子	藤崎健児	乗越邦生	天野七郎	会田尚子	小坂橋五佐男	飯田幸次	幸野嘉子	岩尾照夫	安西利江	岡田文彦	古荘斗糸子	明石敏春	鈴木信一	丸山尚夫
理 科	片野茂夫	倉石 桂	根守優江	鹿島田恭江	福地保	永井一郎	森清晃	堀越邦昌	上田憲二	柳沼敏男	村松徹二	村越正	飯島光子	立川泰司	稲川正義	石井幸男	長島寿平	富士 堯
音 楽	高橋晴彦	大場とみ	森 甫	村田那智子	浜野優子	坪井しづか	村上悦子	内山美和子	池田宏子	森川琉子	稲垣昌子	岡田あつ子	河原田桂子	阿部敬	村上敏雄	大宅 寛	河野裕香	西村美紗子
図 工 ・ 美 術	酒井栄一	鶴田久美子	戸塚春男	渡辺芳之	本荘正雄	長沢和子	小口清一	藤田富治郎	岩崎 正	小島シヅ	佐藤カズ子	鳥飼政喜	辻田六郎	逸見 敏	小林節夫	阿部晃一	佐藤 恒	小畑 亮
体育・保健体育	原田 昭	河島 務	大上琢磨	杉本英之	佐々木守夫	草刈喜一	須藤貞雄	和田文雄	成井朝雄	内藤 康	安田春信	溝口達男	土方邦男	阿藤貞夫	原島 弘	山本矢一	北原景昭	辻 和代
技術家庭(男)														山賀典雄	永谷 豊	田端七郎	菊地貞光	鈴木良身
家庭・技術家庭 (女)	奈良悦子	石川正子	天野正枝	日下部芳子	林 茂子	当間糸子	川原田和子	岩井豊子	斉藤イク	長田裕子	佐久間久美子	馬場昌子	岡江フミ子	筒井ハル	熊本まゆみ	松本節子	佐藤寿枝	萩原典子
外 国 語(英)														内堀範子	橋本紘一	海谷幸子	遠藤 仁	柳沢美澄
道 徳	村上澄江	松井慶吾	高野 浩	杉本英之	松村タケ子	清水しづか	石井和子	川上昇一	舞田章子	平山 毅	村松徹二	清水輝夫	辻田六郎	山浦 宏	秦好一	石井幸男	鈴木信一	田中栄一
特 別 活 動	上山洋一郎	亀山恵之助	大上琢磨	佐々木茂登	赤池正人	藤田孝彦	武内忠雄	白川茂一	三浦勝也		石川耀子	川井龍介	安西利江	長谷川忠男	石田洋子	山辺文男	志茂知之	設楽悦代
学 校 行 事	片野茂夫	石井三士	松日楽敬治	仲二見洋子	福地保	藤田孝彦	森清晃	堀越邦昌	三浦勝也	後藤寿子	村松徹二	伊藤恵次	河原田桂子	天野義雄	井田武	石井幸男	東郷隆盛	高木宏文
学校教育相談	高木映子	石原八重子	落合茂子	古谷二三子	前川せつ	広沢フサ子	川原田和子	樋川万佐子	加藤敦子		肥高重男	小笠原本江	渋谷範子	星 勝	原島 弘	田中憲助	星野明	鈴木良身
進 路 指 導														岡田文彦	渡辺 勉	阿部晃一	東郷隆盛	丸山尚夫
視聴覚または 教育機器	酒井栄一	島田美代子	天野正枝	草間敏江	柴田静枝	清水しづか	和田いさを	吉川郁子	小室 恒	長田裕子	安田春信	溝口達男	河原田桂子	大山正昭	秦好一	明石敏春	持田友宏	黒沢谷五郎
学 校 図 書 館	斎木昭朗	高島和子	井上 保	古谷二三子	河津正幸	広沢フサ子	坂井和子	赤松紀子	田森諦詮	橋本允子	荻沢モト子	川上美穂子	中村笙子	宇津木十四男	安原 実	松本節子	吉田克平	田中栄一
給 食	辻田静江	川崎照子	吉川都子	日下部芳子	関根敦子	来間志信	伊藤清子	長尾節子	斉藤イク	伊藤フサ子	石川耀子	熊谷三起	岡江フミ子	森田寿子	我妻 要	戸川仁美子	長島寿平	柳沢美澄
安 全 教 育	三村礼子	石川正子	高野 浩	中尾奉子	大竹三郎	今野すみ子	清水七郎	関恒夫	三浦勝也	平山 毅	肥高重男	橋本清	岡善実	福島良樹	上田嘉令	山本矢一	北原景昭	鈴木健一
保 健 (主 事)	清雲よ志子	松井慶吾	関口真理	能登久子	中村 大	草刈喜一	須藤貞雄	信夫清彦	舞田章子	近藤正晴	佐々木加津子	鈴木ナヲ	辻田六郎	阿藤貞夫	千田正之	大塚和子		辻 和代
養 護	松井玉江	倉林紀子	関口真理	能登久子	富樫洋子	上山美智子	香坂みどり	広池とよ子	佐藤麻砂子	伊佐弘江	佐々木加津子	田島佳子	細井聖子	釣 澄江	勝部節子	大塚和子	小塚松ゆみ	長峯幸子
管 材		近内信輝	森山 誠	渡辺芳郎	川崎 浩		進 真郎	小島義之	成井朝雄	郷原 敦	浜田洋一		石田義一	武藤 保	中根健五	田端七郎	佐藤博助	大野 馨
事 務	上田博文	伊藤 功	石川聖子	大淵隆夫	川崎 浩	広池 誠	橋田 晟	小島義之	吉村達也	郷原 敦	浜田洋一	藤井悦子	石田義一	武藤 保	中根 五	飯 キミ	佐藤博助	大野 馨

日野市教育委員会事務局組織



（指導主事の事務分担は本文中に示す）



園 名 日野市立第一幼稚園

所在地 日野市多摩平 4-3

電 話 0425-81-4124

順 路 豊田駅より北へ約10分

園長氏名 江 角 正 子

主任氏名 田 中 澄 子

1. 沿革の概要

昭和40. 4. 1 日野市立第一幼稚園として
設置さる。学級7 定員
280名、職員教諭8名、用
務員1名、
園敷地2,700m² 園舎777 m²
プレハブ1棟

昭和40. 4.10 開園 園児280名

5.25 創立記念日とす

5.30 園章制定

昭和41. 3.19 第一回修了児 119名

昭和42.1 2.20 鳥小屋完成

昭和43. 9. 6 プール第一次計画完成
(中庭)

昭和43.1 2.20 ホール増築完成

昭和44. 2.10 プール第二次計画完成
(プールサイド、シャワー)

昭和45. 6. 1 プレハブ園舎、ベランダ増
設工事完成

昭和45. 7.15 運動場拡張完成

昭和45. 7.15 園塀ブロック金網塀に改装
完成

昭和48. 2. 5 本館下水工事完成

昭和48. 3.14 東京都交通安全教育実験学
校研究発表会(第一年次)

2. 歴代園長

氏 名 年月 ~ 年月

江 角 正 子 昭和40.4.1~ 現在

3. 地域の環境

市の一大集団住宅地域である多摩平団地
および周辺住宅の中心にある。近くには公
園もあり、比較的閑静な環境にあったが、
甲州街道と平行してそのバイパスの役割を
なす道路に面しているため近年は交通量も
多くなり危険になってきた。

4. 教育目標

- (1) 健康で元気に遊べることも
- (2) 情操豊かで創造力のあることも
- (3) 基本的な生活習慣を正しく身につけた
ことも

5. 本年度指導の重点

- (1) 健康生活に必要なよい生活態度を身に
つけ明るくのびのびと遊べるこどもの育
成。
- (2) 豊かな心情を育て、ものをよく見、よ
く考え、くふうすることの育成

6. 児童数(生徒数)、幼児数

	5 才 児	計
学 級 数	7	7
男	1 2 3	1 2 3
女	1 2 0	1 2 0
計	2 4 3	2 4 3

7. 教職員

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	研究教材	そ の 他
1	江 角 正 子	53	園 長	昭和40. 4. 1	経 営	
2	田 中 澄 子	47	主 任	昭和47. 4.4.1	社 会	教務、指導研究、庶務
3	甲 野 エ ミ	40	一年々長	昭和40. 4. 1	自 然	営 繕
4	坂 口 嘉津子	33	"	"	言 語	指導研究
5	平 向 邦 江	30	二年々長	"	健 康	保健指導
6	市 川 やす子	25	一年々長	昭和46. 9. 1	絵画製作	教育相談、職員福祉
7	田 中 洋 子	24	二年々長	昭和47. 4. 1	音楽リズム	教材資料整理保管
8	村 木 順 子	21	一年々長	昭和48. 4. 1	言 語	"
9	会 田 美津子	21	"	"	絵画製作	"

8. 本校研究主題の推移

昭和41年度	図書コーナーの利用(1)
昭和42年度	図書コーナーを利用して(2)
昭和43年度	丈夫なからだ(体力づくり)
昭和44年度	「意欲的によく遊べる子」 (1) ひとりひとりの幼児の理解を中心に (2) 指導過程における指導の方法を中心に
昭和45年度	44年度研究「意欲的に遊べる子」について継続研究
昭和46年度	教育課程と指導計画の実践にもとづいた再編成
昭和47年度	母と子のための交通安全教育 —教育機器を活用して—

9. 本校の特色

第一幼稚園交通安全協議会を結成し、地域や父母と協力して、園児の交通安全指導を行なう。

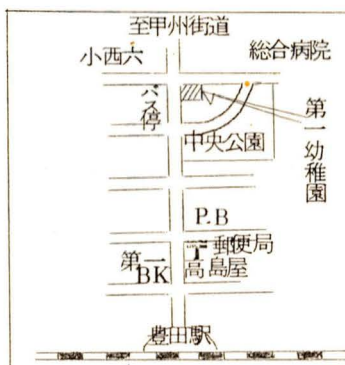
10. 都教育研究員、研究生出身歴

昭和44年度 研究員 坂口 嘉津子

12. 園に至るまでの地図

11. 保護者の職業一覧

職 業	家庭実数	%
1. 会社員	172	71
2. 公務員	18	7
3. 公社員	10	4
4. 教 員	3	1
5. 自営業	29	12
6. その他	11	5





園 名 日野市立第二幼稚園

所在地 日野市平山 4-8-4

電 話 0425-91-4125

順 路 京王線平山城址公園下車徒歩 10 分

園長氏名 小 野 晁

主任氏名 樋 山 欣 子

1. 沿革の概要

昭和 40. 4. 1 日野市立第二幼稚園として平山小学校内に設置。

園児 131名

昭和 40. 5.10 開園記念日と定める。

昭和 40. 5.30 園章制定

昭和 41. 2.23 放送施設完成

昭和 46. 3.10 日野市研究協力園として研究発表を行なう。

昭和 46. 3.10 第二幼稚園の歌制定

昭和 47. 3.15 雨天時の泥粘土コーナー完成

昭和 47. 6.15 園舎園塀完成

2. 歴代園長氏名

氏 名

後藤 正太 昭 40. 4. ~ 昭 42. 3

安積 利治 昭 42. 4 ~ 昭 47. 3

小野 晁 昭 47. 4 ~ 現在

3. 地域の環境

市の南西部にあり、南に多摩丘陵がつらなり、自然に恵まれ景観のよい環境である。近年は宅地造成、住宅団地造成により住宅地と化し、都内に勤務する家庭の子弟が多くなっている。

4. 教育目標

- (1) つよいからだで元気な子ども
- (2) 明るくなかよく遊べる子ども
- (3) ゆたかな心をもつ子ども

5. 本年度指導の重点

- (1) 野外活動に重点をおき、特に体力づくり、情操面の育成に力を注ぐ。
- (2) 野外活動をとおり、特に一年保育児の遊びの発展経過を観察記録し、正しい集団生活に必要な自主性、協調性を養う。

6. 幼児数

学 年	5才児
学級数	3
男 児	59名
女 児	52名
計	111名

7. 教職員

番 号	氏 名	年 令	担 任	本 校 就 任 年月日	研究 教科
1	小野 晁	55	園 長	47.4.1	経営
2	樋山 欣子	50	主 任	47.4.1	経営
3	鶴沼万里子	28	一年年長 ゆり組	40.4.1	社会
4	上野美津枝	33	" ばら組	48.4.1	言語
5	小川 陽子	23	" すみれ	48.4.1	健康

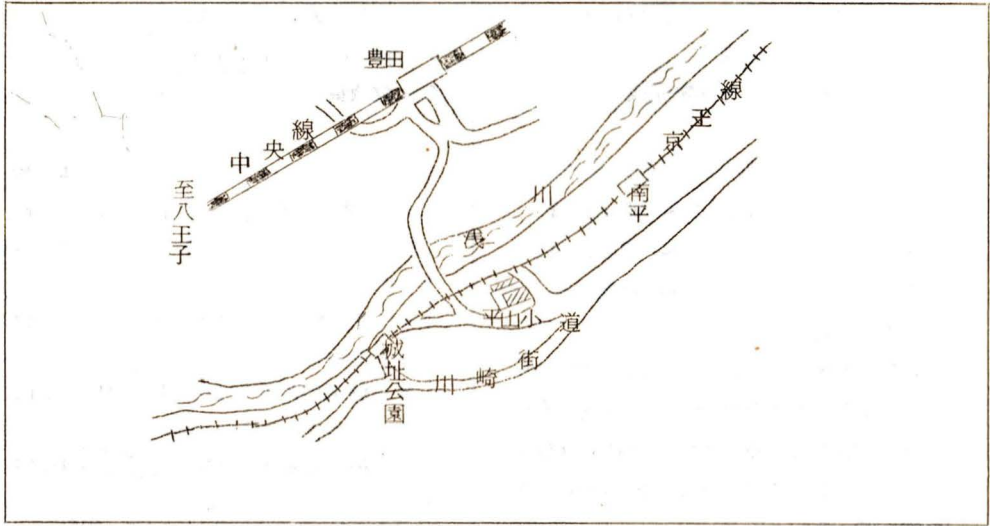
8. 本校研究主題の推移

昭和41年度	遊びと施設
昭和42年度	子どもの健康状態と体力の向上について
昭和43年度	粘土あそび だろ粘土コーナーの利用
昭和44年度	遊具を使用した幼児の体育指導
昭和45年度	地域環境に即した野外指導の年間計画と実践
昭和46年度	45年度の研究継続
昭和47年度	自然を生かした野外指導（考える目を養う）

9. 保護者職業一覧

職 種	%	職 種	%	職 種	%
会 社 員	71	教 員	5	農 業	1
国 鉄 職 員	6	工 員	4	銀 行 員	3
公 務 員	5	商 業	11	そ の 他	5

10. 園に至るまでの地図





園 名 日野市立第三幼稚園

所在地 日野市日野2800

電 話 0425-81-7127

順 路 国電 日野駅下車 徒歩7分

バス 日野市役所前

園長氏名 下 田 忍

主任氏名 鷺 見 照 子

1. 沿革の概要

- 昭和41.2.28 園舎完成
昭和41.4.1 設置認可
昭和41.4.11 開 園
(4学級 園児数143名)
昭和42.2. 園舎東側ブロック塀工事
昭和42.2. 園舎東側ブロック塀工事
昭和42.5. 裏門両袖ブロック塀工事完了
昭和42.10. 花壇完成
昭和42.11. コークス小屋完成
昭和42.11. 観察池完成
昭和44.9. 砂場用足洗(手洗場)場完成
昭和46. 市研究協力園

2. 歴代園長

氏 名	年 月 ~ 年 月
吉 田 辰 次	41.6 ~ 41.5
永 野 林 弘	41.6 ~ 42.3
吉 田 辰 次	42.3 ~ 44.3
下 田 忍	44.3 ~ 現在

3. 地域の環境

- ・田畑(果樹園)、丘、林、川など自然環境に恵まれ、公園、神社、広場など、子ども達のあそび場所もじゅうぶんにある。
- ・通園区域が広くバス通園児もある。
- ・小学校が隣接し、消防署、市役所が近くにある。
- ・甲州街道(国道20号線)、高幡街道が近いので交通事情も急激に変化してきている。

4. 教育目標

- (1) 意欲をもって活動できる子
ア じょうぶで元気な子
イ 自分を表現できる子
ウ いろいろなことに興味や関心を持つ子

- (2) 友だちと遊べる子

- (3) 情操豊かな子

5. 本年度指導の重点

- (1) 教育課程の編成と改善についての重点
園舎外での活動を多くし、また視聴覚の面からも、16ミリなどの教材を計画的に取り入れて幅広い豊かな経験をさせる。
- (2) 環境構成
ア 教材の種類、置場などをくふうして意欲的に活動できるようにする。
イ 図書コーナーの活用方法を身近かな環境として活用できるように検討する。
- (3) 家庭との連絡
紙面によって、園での子どもの状態を知らせ、また参観・懇談などを通して教師との連絡を密にし、幼児教育を理解してもらおうように努める。
- (4) その他
園舎外の自然環境の中での活動を多くする。

6. 幼児数

	一 年 保 育
学 級 数	4
男	6 5 名
女	5 9 名
計	1 2 4 名

7. 教職員

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	研究教科	そ の 他
1	下 田 忍	53	園 長	昭和44.4.1	経 営	
2	鷺 見 照 子	48	主 任	昭和41.4.1	社 会	管理事務・庶務全般 教務事務
3	石 川 紀 子	33	一年保育 (5才)	昭和47.4.1	自 然	
4	石 川 和 子	28	"	"	自 然	
5	石 塚 博 子	25	"	昭和45.1.1	健 康	
6	古 谷 みち子	23	"	昭和47.7.5.1	社 会	

8. 本校研究主題の推進

昭和41年度	自然の領域における教材の選択
昭和42年度	幼、小の関連について
昭和43年度	幼、小の関連
昭和44年度	幼、小の関連「自然の領域についての実践的研究」
昭和45年度	自然の領域における評価の観点について
昭和46年度	科学的思考力の芽生えをつちかう指導法

9. 本校の特色

園外保育を行なって、川や野山などで遊んだり、土を運んで花壇を作ったりして、園児が自然の環境に親しむ機会を多くしている。

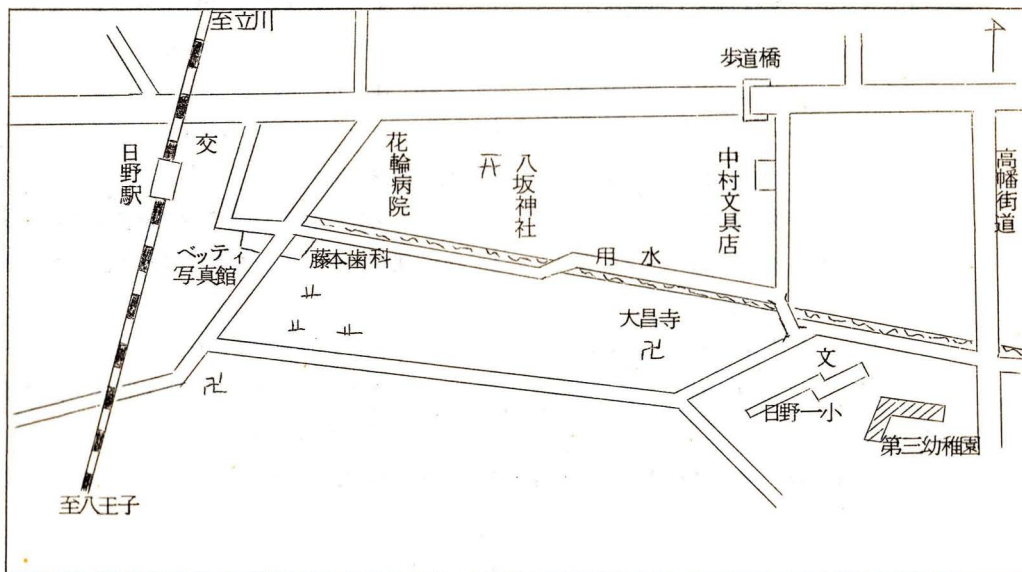
10. 都教育研究員、研究生の出身歴

年 度	氏 名	教科、領域	研究員、研究生別
昭和43年度	鷺 見 照 子	社 会	研 究 員

11. 保護者の職業一覧

職 種	家庭実数	%	職 種	家庭実数	%
1. 会 社 員	86	69	5. 公 社 員	1	1
2. 公 務 員	14	11	6. 農 業	1	1
3. 自 宅 工	7	6	7. 銀 行 員	1	1
4. 自 宅 商	6	5	8. そ の 他	8	6

12. 学校に至るまでの地図





園 名 日野市立第四幼稚園

所在地 日野市石田431-6

電 話 0425-83-3903

順 路 立川 — 多摩動物公園 京王バス
日野四小前下車 徒歩5分

園長氏名 内 藤 達 夫

主任氏名 高 橋 千鶴子

1. 沿革の概要

- 昭和47. 8.11 園舎新築工事起工
昭和48. 1.31 園舎完成
昭和48. 4. 1 日野市立第四幼稚園として開園

学 級 数	2学級
園 児 数	41名
教 諭	3 名
用 務 員	1 名
平屋園舎	495m ²
園 敷 地	2008m ²

2. 歴代園長

初代 内 藤 達 夫 昭和48.4.1 ~現在

3. 地域の環境

農業中心のこの地域は、近年急激に宅地造成が進み、園舎の前には、中央高速道路が東西に走り、西側の都道も交通量がひんぱんである。東側には桑園に続く多摩川の土手があり川の水は汚れているが緑が豊富に残っている。草むらからは、バッタやカマキリが姿を現わし、どぶくさくなった田んぼにもトノサマガエルがゆう然とかまえていたり、梨畑の白い花には大きな梨が実る……。このように教育的環境は自然に恵まれている。

4. 教育目標

- (1) 丈夫なからだで仲良く遊べる子ども
- (2) 意欲的に活動する子ども
- (3) ゆたかな心を持つ子ども

5. 指導の重点

- (1) 園児の健康管理に特に留意していつも元気に楽しく安全に園生活がおくれるようにする。
- (2) どんな場面でも積極的に活動し、進んできまりを守り、みんなと仲良く集団生活ができるようにする。
- (3) 相手の立場を考え、友だちを思いやるやさしい心を育てるようにする。

6. 本年度の研究

テーマ「野外活動の指導をどのように行なったらよいか」

設定理由

自然環境を利用した中で幼児の体力の基礎を養い、するどい観察力とゆたかな情操を育成するため。

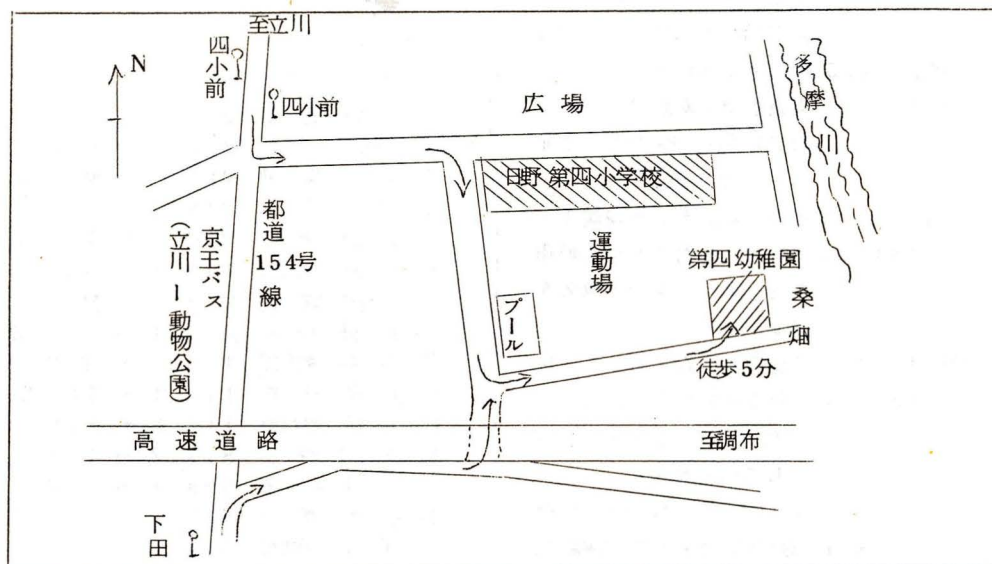
7. 教職員

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	研究教科	そ の 他
1	内 藤 達 夫	52	兼 園長	昭和 48. 4. 1	経 営	
2	高 橋 千鶴子	40	主 任	昭和 48. 4. 1	経 営	
3	沖 山 英 代	35	ばら組	昭和 48. 4. 1	言語・図書	
4	黒 山 彰 子	22	ゆり組	昭和 48. 4. 1	自 然	

8. 保護者の職業一覧

職 業	家庭実数	%
会 社 員	2 7	6 5.8
公 務 員	0	0
公 社 員	0	0
教 員	2	5.0
自 営 業	9	2 1.9
そ の 他	3	7.3

9. 園に至るまでの略図





学校名 日野市立日野第一小学校

所在地 日野市日野2800番地

電話 0425-81-0073・0061

順路 中央線日野駅下車 徒歩6分

校長氏名 下田 忍

教頭氏名 小野寺 東雄

1. 沿革の大要

明治 6. 5. 5 土洲山普門寺の本堂をあて
開校、第一大学区第八中学
区第五十四番小学日野学校
と称す。(現在の中央公民
館のとなりー当時神奈川県)

明治 45. 2. 1 校歌、校章制定、校舎改増
築、校地拡張(現中央公民
館の所)

昭和 11. 4. 29 校旗寄贈(古谷剛次郎氏)

昭和 15 日野2800番地(現在地)
に土地900余坪、新校舎建
築開始。(戦時中軍徴用)

昭和 23. 4. 25 新校舎に移転完了

昭和 25. 4. 1 東京都指定実験学校となり、
教育課程の研究発足27年
3月5日発表

昭和 28. 8. 28 0周年記念プール竣工

昭和 38. 11. 3 日野市制施行により日野市
立日野第一小学校と校名を
変更。

昭和 40. 4. 防音校舎三期をもって完成

昭和 43. 4. 1 日野市研究協力校として
「教育環境の整備」を主題
として研究発足。
44年2月21日に研究発表。

昭和 43. 8. 1 日野市集会場を屋内運動場
兼講堂として移管

昭和 44. 2. 21 日野市研究協力校として
「教育環境の整備について」発表

昭和 44. 5. 1 東京都学校花壇協力校となる

昭和 46. 4. 1 日野市小学校訪問学級(肢
体不自由学級)設置、5月
17日開級。

昭和 47. 2. 都市計画神明上区画整理事
業開始、校庭南側一部縮小、
遊具移動

昭和 47. 5. ビデオ一式購入(ビデオコ
ーダー、ビデオカメラ、ビ
デオモニター等)

昭和 48. 4. 授業研究校

2. 歴代校長

氏 名

1. 日野 義 順 M 6. 5 ~ M 9. 7
2. 国府田 学 M 9. 7 ~ M 11. 3
3. 小川 則 要 M 11. 4 ~ M 15. 3
4. 鈴木 宗 也 M 15. 4 ~ M 16. 8
5. 上野 謙 松 M 16. 9 ~ M 18. 3
6. 二見 友三郎 M 18. 4 ~ M 19. 4
7. 八木岡 寛 制 M 19. 5 ~ M 21. 10
8. 佐野 鶴 松 M 21. 11 ~ T 5. 3
9. 古谷 剛次郎 T 5. 4 ~ T 12. 1
10. 河合 平 作 T 12. 2 ~ T 15. 3
11. 古谷 剛次郎 T 15. 4 ~ S 11. 1
12. 宮川 海 三 S 11. 2 ~ S 18. 3
13. 貫井 半 蔵 S 18. 4 ~ S 23. 8
14. 小池 嘉 一 S 23. 9 ~ S 34. 3
15. 尾崎 半次郎 S 34. 4 ~ S 37. 3
16. 五十嵐 光 S 37. 4 ~ S 38. 3
17. 木村 清 S 38. 4 ~ S 41. 3
18. 吉田 辰 次 S 41. 4 ~ S 44. 3
19. 下田 忍 S 44. 4 ~ 現在

3. 地域の環境

本校は中央線日野駅の南方に位置し、農地、工場、商店、住宅により構成される地域を校区としている。駅より近く交通の便はよいが、甲州、川崎の両街道をかかえ、交通禍の危険をはらんでいる。校区内は区画、地番の整理も十分でなく、近代都市への脱皮の途上にあるようである。最近田畑は宅地造成区画整理などにより宅地化しつつある。しかし今のところは公害におそわれることもほとんどなく、自然の緑の美しい心やすまる環境も残されている。

4. 教育目標

本校の教育は、自主的に人格の完成につとめる児童の育成をめざし、つぎのことがらを中心として展開する。

1. 科学性を身につける子ども
2. 豊かな心情をもつ子ども
3. つよい意志をそだてる子ども
4. じょうぶな体をつくる子ども

年度の重点 「考える力をのばす」

5. 本年度の指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動の指導の重点

- ア 各教科 授業研究を通して深く考えながら学ぶ子どもを育成する。
- イ 道徳 考える子どもの育成について、道徳の時間における指導法の研究をする。
- ウ 特別活動 集団活動を通して児童の自主性を高める。

(2) 生活指導の重点

児童が主体的に受けとめ、よく考えて行動する子どもの育成につとめる。

6. 児童数

	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	特殊学級 (訪問学級)	計
学級数	3	3	4	4	3	4	1	22
男	63	70	79	79	55	71	3年1 5年3 6年1	422
女	59	50	60	57	57	68		351
計	122	120	139	136	112	139		773

7. 教職員

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月	研究教科	そ の 他
1	下 田 忍	53	校 長	44. 4. 1	社 会	経 営
2	小野寺 東 雄	47	教 頭	46. 4. 1	理 科	経 営
3	三 浦 み の り	45	1-1	40. 4. 1	国 語	生活指導
4	高 木 映 子	39	1-2	47. 4. 1	社 会	生活指導
5	辻 田 静 江	44	1-3	43. 4. 1	図 工	給 食
6	畠 中 異	61	2-1	37. 4. 1	国 語	庶 務
7	山 口 和 子	47	2-2	43. 4. 1	図 工	庶 務
8	三 村 礼 子	39	2-3	39. 4. 1	音 楽	生活指導
9	酒 井 実	24	3-1	47. 4. 1	体 育	視 聴 覚

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月	研究教科	そ の 他
10	村 田 麗 子	44	3-2	40. 4. 1	算 数	教 務
11	三 平 恵 子	23	3-3	48. 4. 1	社 会	視 聴 覚
12	清 雲 よ志子	53	3-4	44. 4. 1	理 科	保健主事
13	上江州 信 七	50	4-1	39. 4. 1	道 徳	教務主任
14	吉 崎 幸 枝	36	4-2	38. 4. 1	国 語	教 務
15	清 水 和 恵	26	4-3	45. 4. 1	国 語	給 食
16	土 田 芳 夫	40	4-4	40. 4. 1	算 数	生活指導主任
17	上 山 洋一郎	43	5-1	42. 4. 1	理 科	特別活動
18	武 川 俊 子	23	5-2	48. 4. 1	国 語	保 健
19	越 村 清 治	29	5-3	42. 4. 1	社 会	生活指導
20	村 上 澄 江	47	6-1	45. 4. 1	道 徳	教 務
21	片 野 茂 夫	30	6-2	46. 4. 1	理 科	学校行事
22	原 田 昭	44	6-3	47. 4. 1	体 育	特別活動
23	斎 木 昭 朗	40	6-4	41. 9.16	算 数	図 書
24	高 橋 晴 彦	40	音 楽	39. 9. 1	音 楽	図 書
25	酒 井 栄 一	61	図 工	42. 4. 1	図 工	視 聴 覚
26	奈 良 悦 子	42	家 庭	41. 4. 1	家 庭	学校行事
27	増 田 実	25	体 育	48. 4. 1	体 育	備 品
28	松 井 玉 江	45	養 護	43. 4. 1	養 護	保 健
29	高 瀬 三 郎	58	特 殊	46. 4. 1	特殊教育	特 殊
30	守 屋 ふ み	51	特 殊	46. 4. 1	特殊教育	特 殊
31	上 田 博 文	38	事 務	47. 4. 1	事 務	事 務
32	蓮 池 守 一	41	指導主事	48. 4. 1		市教委勤務

8. 本校研究主題の推移

昭和40年度	不 詳	昭和46年度	考える子どもの育成
昭和41年度	教材の系統制について		(教科・道徳・特別活動を通して)
昭和42年度	学校運営の能率化	昭和47年度	考える子どもの育成
昭和43年度	学校運営の能率化、教育環境の整備		学年経営・学級経営・指導の重点・重点研究の3本柱
昭和44年度	教育環境の整備と活用		
昭和45年度	ひとりひとりを生かす生活指導	昭和48年度	考える力をのばす

9. 本校の特色

- 全職員で授業研究に取り組む。
- 教育環境の整備
 - 学校花壇、教材園、自然園等の充実
- 開校百周年を迎える。

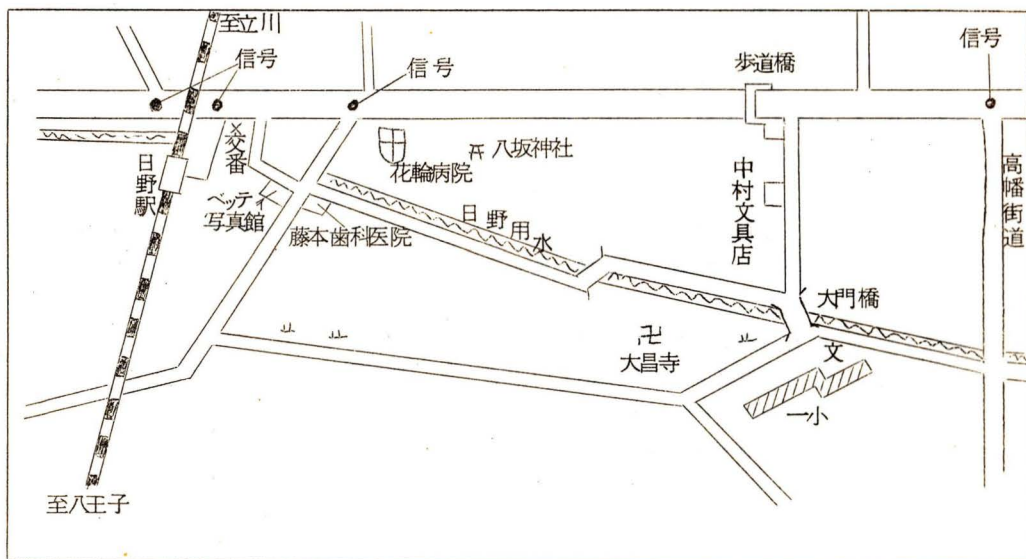
10. 都教育研究員、研究生の出身歴

年 度	氏 名	教科領域	研究員、研究生別
昭和44年度	奈良悦子	家庭科	研究員
昭和45年度	松井玉江	養護	研究員
昭和46年度	青柳俊夫	体育	研究員
昭和47年度	安藤和枝	給食	研究員
昭和48年度	越村清治	社会	研究員

11. 保護者の職業一覧

職 種	家庭実数	%	職 種	家庭実数	%
会 社 員	342	55.7	運 輸 通 信	21	3.4
公 務 員	96	15.6	農 業	14	2.3
自 宅 商	44	7.3	無 職	2	0.3
自 宅 工	40	6.7	自 営 業	2	0.3
サ ー ビ ス 業	25	4.0	そ の 他	3	0.5
自 由 業	24	3.9		614	100

12. 学校に至るまでの地図





学校名 日野市立第二小学校

所在地 日野市豊田218

電話 0425-81-0070・0851

順路 中央線豊田駅下車 徒歩10分

校長氏名 安 積 利 治

教頭氏名 近 内 信 輝

1. 沿革の概要

明治 7. 3 神奈川県 9 大区小 4 区豊田村
尋常小学校として創設、戸長
山口平大夫氏長屋を仮校舎に
する。

年月不詳 善生寺本堂を校舎とし、上下
2 等級に分け、下等小学校は
満 6 才より 9 才、上等小学校
は満 10 才より 13 才までとする。

明治 12. 2 豊田 1 3 2 0 番地善生寺の西
隣に新校舎建築。

明治 26. 4 東京府に編入される。

明治 41. 3 日野小学校豊田分教場となる。

昭和 17. 豊田 218 番地に新校舎建築。

昭和 21. 6 南多摩郡豊田国民学校として
再び独立。

昭和 27. 12 第 1 次増築 2 階建 8 教室 276
坪 拡張工事 569 坪。

昭和 30. 4 日野町日野第二小学校と校名
変更。

昭和 31. 4 第 2 次増築 2 階建 6 教室 168
坪 拡張校地 366 坪。

昭和 38. 11 日野市立日野第二小学校と校
名変更。

昭和 43. 6 防音校築第 1 期工事完成。

昭和 44. 3 防音改築第 2 期工事完成。

昭和 45. 2 日野市指定研究「教材教具の
整備と活用」研究発表をおこ
なう。

昭和 46. 2 体育館工事落成。

昭和 46. 4 プレハブ教室 1 教室設置

昭和 46. 5 全教室テレビ配置

昭和 46. 12 体育倉庫新設

昭和 48. 3 安全のため西側に通用門設置

2. 歴代校長

氏 名	年 月 ~ 年 月
小 山 茂 平	昭 21. 6 ~ 27. 9
増 島 光 一	27. 10 ~ 34. 3
小 池 嘉 一	34. 4 ~ 38. 3
森久保 惣 次	38. 4 ~ 42. 3
後 藤 正 太	42. 4 ~ 47. 3
安 積 利 治	47. 4 ~ 現在

3. 地域の環境

(1) 豊田の里といわれた中央線と浅川に囲
まれた静かな農村も、農家が 4 % と勤労
者住宅地帯と豊田駅付近の小商店街とに
かわった。

(2) 学校前の都道をはじめ、学区内の道路
はどこも交通事情激化の波におされ、通
学路も危険にさらされ、児童の安全な遊
び場がなくなってしまった。

(3) P T A の会員の質も大きく変わり、先
生まかせの学校のこともから、父母参観
のあとなど、相当つまこんだ質問もでる
ようになる。

4. 教育目標

- (1) からだも心も強く明るい子
- (2) みんなと仲よく力をあわせられる子
- (3) よく考え進んで行動する子
- (4) 責任をもって最後までやりぬく子

5. 本年度指導の重点

(1) 各教科・道徳・特別活動の指導の重点

ア 各教科

- (ア) 指導内容を精選重点化し、児童の負担を軽減するとともに適切な配列を考え指導を徹底する。
- (イ) 機器の活用や資料、教具の整備改善を図り、児童みずから考える授業を行い、どの子にも思考力を伸ばさせる指導を徹底する。
- (ウ) 授業研究を行い、よりよい授業のあり方を理論的実践的に指導する。

イ 道徳

学校の教育目標と道徳の指導内容との関連を明確にし、道徳の時間を計画的発展的に進める。特につぎの望ましい生活態度、学習態度を徹底する。

自主自律、自由と責任、創意くふう、進取、愛校心

ウ 特別活動

- (ア) 学級会活動の充実を基本とし合ってよりよい学校生活を築いていこうとする態度を育成する。
- (イ) 児童の実態に即し具体的な問題を重点的に指導する。

(2) 生活指導・進路指導の重点

ア 学校生活における基本的行動様式を身につけさせる。

イ 社会情勢、交通事情の悪化に伴い安全指導を重視し、心のこもった父母との協力をよりいっそう推進する。

ウ 余暇を善用し、個性を伸ばし、生活を豊かにしていこうとする態度を育てる。

(3) その他の配慮事項

ア 40分授業を一部採用し(45分授業と40分授業とを交互に行う)生み出された時間を児童の生活にゆとりとうるおいを与えるために活用する。

イ おちついた学習環境づくり、校舎校庭の美化、整備につとめる。

6. 児童数

	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	計
学級数	3	3	4	3	3	3	19
男	70	60	60	65	61	57	373
女	56	59	76	64	47	43	345
計	126	119	136	129	108	100	718

7. 教職員氏名

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月	研究教科	そ の 他
1	安 積 利 治	56	校 長	47. 4. 1		
2	近 内 信 輝	49	教 頭	47. 4. 1		
3	倉 石 桂	63	理 科	40. 4. 1	理 科	教 務
4	松 井 慶 吾	49	4-1	46. 4. 1	道 徳	保健主事
5	赤 石 享	49	4-1	42. 4. 1	国 語	生活指導
6	石 岡 信 行	48	2-1	45. 4. 1	算 数	研 修
7	高 島 和 子	46	1-3	45. 4. 1	社 会	図 書 館
8	峰 岸 サ ヨ	46	3-2	42. 4. 1	図 工	教 務
9	川 崎 照 子	45	2-3	47. 4. 1	算 数	給 食
10	石 原 八重子	43	3-4	47. 4. 1	道 徳	教育相談
11	石 井 三 士	43	6-1	43. 4. 1	国 語	教務主任
12	亀 山 恵之助	43	5-1	47. 4. 1	社 会	生活指導主任
13	大 場 と み	41	音 楽	48. 4. 1	音 楽	教 務
14	田 村 利 樹	38	3-1	44. 4. 1	国 語	図 書 館
15	河 島 務	38	5-3	46. 4. 1	体 育	研 修
16	鶴 田 久美子	37	図 工	45. 4. 1	図 工	生活指導
17	武 内 和 江	27	6-2	46. 4. 1	社 会	教 務
18	石 川 正 子	26	1-2	45. 4. 1	家 庭	生活指導
19	島 田 美代子	25	3-3	46. 4. 1	家 庭	視 聴 覚
20	芳 賀 アサ子	25	4-2	46. 4. 1	社 会	教 務
21	山 口 洋 子	25	4-3	47. 9.15	算 数	生活指導
22	大神田 久美子	25	6-3	47. 4. 1	算 数	生活指導
23	田 中 容 子	24	2-2	47. 4. 1	国 語	給 食
24	甲 夢 由 美	23	5-2	48. 4. 1	社 会	生活指導
25	伊 藤 功	28	事 務	48. 4. 1		事 務
26	倉 林 紀 子	33	養 護	46. 9. 1	保 健	保 健

8. 本校研究主題の推移

昭和40年度	生活指導の研究
昭和41年度	道徳の指導計画の作製
昭和42年度	道徳の指導計画の作製
昭和43年度	国語科における読解教材の効果的な指導法
昭和44年度	教材教具の効果的な整備と活用
昭和45年度	学級会活動における児童の自主性の育成
昭和46年度	学級会の話し合いの指導、国語科における読速力の指導
昭和47年度	鉄棒運動の段階的指導、数と計算領域の指導

9. 本校の特色

- 児童の体位は標準程度であるが体力に優れる。このことは地域の自然環境および家庭の協力によるものと考えられる。
- また児童の心情はすなおであり、態度もまじめである。

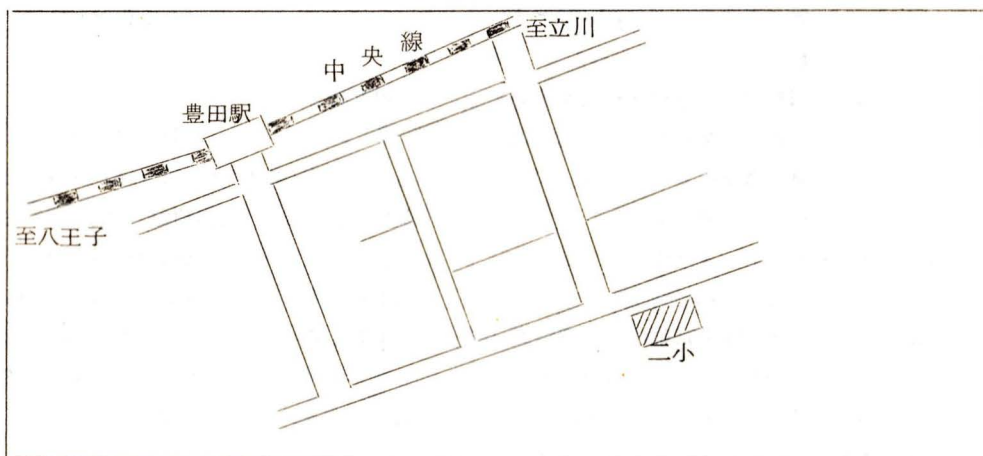
10. 都教育研究員、研究生の出身歴

年 度	氏 名	教科領域	研究員、研究生別
昭和43年度	赤 石 享	給 食	研 給 員
昭和44年度	石 井 三 士	国 語	研 究 員
"	小 林 繁 人	学級経営	研 究 生
昭和46年度	亀 山 恵之助	特別活動	研究員(日野四小)
昭和36年度	近 内 信 輝	社 会	研究生(小平四小)

11. 保護者の職業一覧

職 業	家 庭 数	%	職 種	家 庭 数	%
企 業 経 営 者	12	2	労務的従業者	52	9
専門技術的職業	115	20	サービス従業者	28	5
管 理 的 職 業	51	9	農林漁業従事者	22	4
小 企 業 者	56	10	そ の 他	20	4
事 務 的 職 業	206	37	計	562	100

12. 学校に至るまでの地図





学校名 日野市立第三小学校

所在地 日野市日野台 2丁目1番地 1号

電話 0425-81-0101

順路 中央線 日野-徒歩15分-学校

校長氏名 岩井 庄三

教頭氏名 多 昌直之

1. 沿革の概要

- 昭23. 4. 1 日野小学校日野台分校として設置される。児童1~3年
340名、教室4、全学年2部授業。
- 昭25. 6.10 日野台小学校として独立する。児童数696名、教室9、4年生迄2部授業
- 昭25. 7.18 校章制定
- 昭25. 9.19 4教室増築、教室数13
3年まで2部授業
- 昭27. 4.15 4教室増築、教室数17
2年まで2部授業
- 昭27. 6.10 校歌制定
- 昭28. 6.10 校地850坪拡張、6教室増築、教室数23、2部授業解消される。
- 昭30. 4. 1 日野第三小学校と校名を変更
- 昭32. 3. 4 旧教室4を取除き6教室を増築、教室数25、児童数869名
- 昭32.10. 7 給食調理室完成
- 昭33. 8. 3 大小プール落成
- 昭34. 3. 校地1100坪拡張
- 昭34. 5.11 34年度東京都小学校理科教
育研究協力学校に指定される。
- 昭35. 4. 1 日野町特殊学級が併置される。
- 昭35. 6.10 開校10周年記念日を迎え記念式、祝賀会を催す。

昭37. 4. 5 校門完成

- 昭38.11. 3 日野市制施行に伴い日野市立
日野第三小学校と校名を変更。
- 昭39. 6. 2 放送室、用務員室完成
- 昭42. 4. 7 防音校舎新築起工式
- 昭42. 9. 1 3年以上新校舎使用開始、順次に木造旧校舎解体
- 昭43.11.15 校地地番変更、日野市日野台
2丁目1番地1号
- 昭44.12.20 学校北側の外柵落成
- 昭45. 6 プレハブ2教室落成
- 昭46. 2.16 体育館落成式、校章制定
- 昭46. 4.20 プレハブ2教室増設
- 昭47. 3 プレハブ2教室増設
- 昭48. 3 鉄筋新校舎9教室増築落成
プレハブ4教室撤去

2. 歴代校長

氏名	年月 ~ 年月
高野 忠正(事務取扱)	昭25. 6.10~26. 3.12
高野 忠正(校長)	昭26. 3.13~27. 9.30
尾崎半次郎	昭27.10. 1~34. 3.31
五十嵐 光	昭34. 4. 1~37. 3.31
塚本 正	昭37. 4. 1~41. 3.31
池田 瑞男	昭41. 4. 1~47. 3.31
岩井 庄三	昭47. 4. 1 着任

3. 地域の環境

東京都の南西多摩川の兩岸、甲州街道沿いに位置し、海拔 800 m の日野台地及び多摩川沿いに平地を含む地域である。

日野自動車工場とともに発展した地域であり、台地のため公害も少ない。

日野台地（学区域）の北部は多摩川をへだて立川市、南は多摩丘陵、西部は八王子が眺望できるすぐれた環境に恵まれている。

4. 教育目標

本校の教育は、憲法及び教育基本法 の精神に基づいて、民主的な社会人としての人間形成の基礎作りにある。

- 健康で明るい子ども
- よく考える子ども
- 責任を果たす子ども

5. 本年度指導の重点

学習指導

主体的に学習にとりくむ子どもの育成

- 魅力的な目標や課題をもたせる指導
- 子どもの創意くふうを大事にする指導

生活指導

基本的生活態度の育成をはかる。

- 安全教育を徹底し、健康な生活のよい習慣を養う。
- 責任をはたし、働くことを喜ぶ生活態度を養う。

6. 児童数

	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	特 殊	計
学級数	5	5	4	3	4	3	2	26
男	106	102	77	70	71	67	7	500
女	79	95	92	53	69	59	10	457
計	185	197	169	123	140	126	17	957

3. 教職員

※年令は昭和 49.3 現在

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	研究教科	そ の 他
1	岩 井 庄 三	56	校 長	昭47. 4. 1	学校経営	
2	多 昌 直 之	46	教 頭	48. 4. 1	学校経営	
3	戸 塚 春 男	50	専 科	41. 4. 1	図 工	
4	山 内 春 美	47	1-1	42. 4. 1	算 数	

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	研究教科	そ の 他
5	松 日 楽 敬 治	47	2-5	45. 4. 1	理 科	
6	森 甫	46	専 科	43. 4. 1	音 楽	
7	落 合 茂 子	46	3-3	42. 4. 1	理 科	
8	橋 本 美千代	45	2-2	42. 4. 1	家 庭	
9	井 上 保	44	3-1	44. 4. 1	図 書	
10	藤 本 憲 康	44	5-1	47. 4. 1	社 会	
11	本 保 陽 子	44	6-3	44. 4. 1	道 徳	
12	大 上 琢 磨	42	6-2	40. 4. 1	体 育	
13	高 野 浩	42	4-2	42. 4. 1	国 語	
14	安 斎 満里子	41	4-1	41. 4. 1	体 育	
15	根 守 優 江	31	6-1	45. 4. 1	視 聴 覚	
16	森 山 誠	31	3-4	45. 9. 1	理 科	
17	吉 川 都 子	30	2-1	42. 4. 1	算 数	
18	有 馬 由紀子	29	4-3	48. 4. 1	国 語	
19	飯 田 国 代	28	1-2	48. 4. 1	理 科	
20	西 川 征 矢	28	5-3	48. 4. 1	音 楽	
21	内 田 房 枝	26	2-3	45. 4. 1	算 数	
22	八 田 博 子	25	1-5	46. 4. 1	算 数	
23	佐 藤 良 子	25	5-4	48. 4. 1	算 数	
24	山 田 一 夫	25	5-2	47. 4. 1	音 楽	
25	銀 鏡 明 子	24	2-4	47. 4. 1	図 工	
26	中 村 美 子	24	3-2	47. 4. 1	算 数	
27	清 水 和 子	24	1-4	48. 4. 1	算 数	
28	浜 野 美 広	24	1-3	48. 4. 1	社 会	
29	天 野 正 枝	23	専 科	46. 9. 1	家 庭	
30	森 田 隆 子	27	特 殊	46. 4. 1	特殊教育	
31	八重樫 伸	27	"	48. 4. 1	図 工	
32	渡 辺 静 枝	24	"	48. 4. 1	社 会	
33	関 口 真 理	21	養 護	48. 4. 1	体 育	
34	石 川 聖 子	25	事 務	47. 4. 1	事 務	

8. 本校研究主題の推移

昭和40年度	道 徳
昭和41年度	児童の思考を高めるための授業の進め方を国語科、理科を通して究明し、学力の充実を期す。
昭和42年度	児童の思考を高めるための授業の進め方を究明し、学力の充実を期す。
昭和43年度	情緒の安定をはかり、基礎的生活態度を育成する。
昭和44年度	情緒の安定をはかり、基本生活態度を育成する。
昭和45年度	情緒の安定をはかり、基本生活態度を育成する。
昭和46年度	情緒の安定をはかり、基本生活態度を育成する。
昭和47年度	主体的に勉強や仕事にとりくむことの育成をはかる。
昭和48年度	主体的な学習態度や生活態度の育成をはかる。そのための適切な指導内容・指導方法等について研究を深める。

9. 本校の特色

- 児童は明るくすなおで、決まったことや言われたことはよくするが、やや主体性を欠き、ねばり強くやりぬこうとすたくましさがない。
- 校内研修で、市教委の委託研究を受け、児童の主体性を高める授業研究を実施する。また、特殊学級があり、教育相談の研修に力を入れている。
- 多摩川をのぞみ、たんぼ、はたけ、丘陵などの緑にかこまれた自然環境に恵まれている。
- 父母は、教育に対する関心が深く、PTAは自主的に活発に活動している。住宅は個人住宅が約7割を占め、近年、団地などが建設され、児童数も増加しつつある。

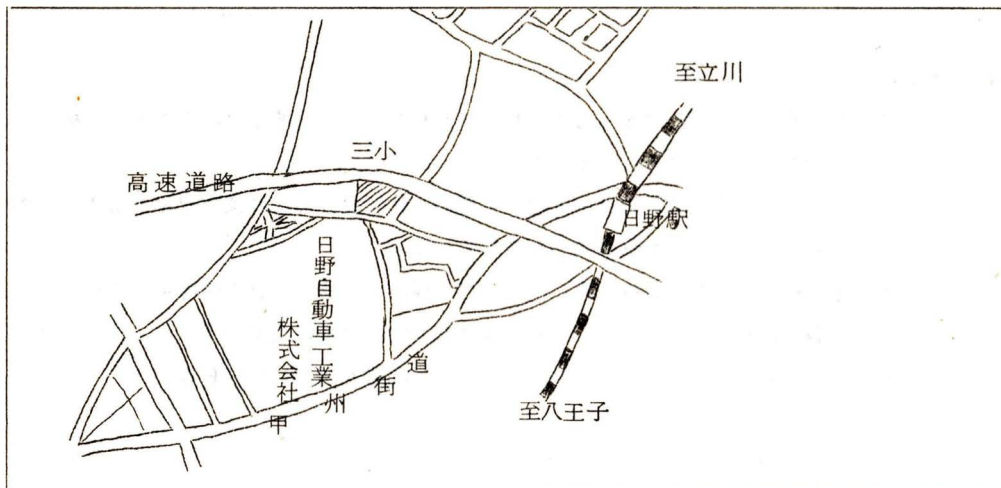
10. 都教育研究員、研究生の出身歴

年 度	氏 名	教科領域	研究員、研究生別
昭和33年度	松 村 典 孝	国 語	研 究 員
昭和37年度	溝呂木 桂 次	理 科	＃
昭和37年度	広 瀬 邦 夫	社 会	研究派遣生
昭和38年度	原 田 成 大	特 殊	研 究 員
昭和41年度	松日楽 敬 治	理 科	＃

11. 保護者の職業一覧

職 種	家庭実数	%	職 種	家庭実数	%
専門的技術的職業	88	11.8	技 能 的 職 業	177	23.7
管 理 的 職 業	52	7.0	運輸通信的職業	42	5.6
事 務 的 職 業	258	34.5	保 守 的 職 業	7	0.9
販 売 的 職 業	63	8.4	サービスの職業	21	2.8
農業・林業等の職業	13	1.7	無 職 そ の 他	27	3.6
漁 業	0	0	計	748	

12. 学校に至るまでの地図





学校名 日野市立第四小学校

所在地 日野市石田430番地

電話 0425-81-0038

順路 日野駅から立川行バス南詰下車徒歩7分
立川駅北口から多摩動物園行バス 四小前
下車 徒歩2分

校長氏名 内藤 達夫

教頭氏名 佐藤 勝次

1. 沿革の大要

明 6. 5. 5 下田学舎

2 1. 1. 1. 下田小学校

4 1. 3. 日野小学校下田分校場

29. 8. 18 校地決定4259.14坪

30. 4. 4 落成式並開校式 この日を開
校記念日とする。

昭30.1 2. 2. 2 校章制定

3 0. 1. 2. 2. 5 第三期校舎竣工

3 1. 3. 5 校旗完成

3 2. 1. 1. 2. 0 学校給食開始

3 5. 7. 20 プール落成式並祝賀会

3 6. 3. 26 第三期校舎落成式

3 6. 1. 1. 1 校歌発表会、以後この日を開
校記念日とする。

3 9. 6. 10 校地拡張及防音校舎に改築が
決定

4 0. 3. 31 防音校舎9教室完成

4 1. 3. 31 防音校舎第2期工事完了
14教室完成

4 1. 7. 9 防音校舎落成、独立11周年
下田学舎創立92周年記念式
典

4 3. 1. 1. 2. 7 統計教育研究指定校として研
究発表会をする。(都、市指
定校)

4 5. 3. 31 体育館落成
防音校舎7教室増築完成

4 6. 7. 5 遊び開放用物置、便所設置

4 6. 8. 31 理科室給排水、配電設備設置

昭47. 6. 30 裏庭花だん新設

47. 9. 30 体育倉庫新設

校長室、保健室移転

印刷室新設

2. 歴代校長

氏 名 年 月 ~ 年 月

浦 上 増太郎 昭30. 3. 29~36. 3. 31

田 中 善 次 36. 4. 1~44. 3. 31

森 厳 44. 4. 1~47. 3. 31

内 藤 達 夫 47. 4. 1~現在

3. 地域の環境

市の東端、多摩川と浅川のおちあう三角
地帯、9地区1900戸である。甲州街道か
ら約1Km南にへだたった多摩川あたりにく
らいし、田畑に囲まれ、前面に中央高速道
路が走っている。米どころ日野の田園地帯
と多摩川梨の産出地域である。

万願荘の集団住宅を始め近年宅地化が漸次
進められ田園地域より住宅地化しつつある。

4. 教育目標

(1) 学校の教育目標

地域社会の特性を活かし、児童の実態
を把握し、個性と能力に即し、児童の日
常生活を基盤として次の事項を目標とす
る。

- | | |
|-------------|------------------------------|
| 1. 丈夫な身体で | 健康安全教育 |
| 2. いつも元気に | 明朗で活動的な人間
の育成 |
| 3. 何事も自分で考え | 真実を求め科学する
心の育成 |
| 4. 仲よく | 人間尊重と協力奉仕
する民主的社会人の
育成 |

5. 学びましよう 自主的学習態度の養成と基礎学力の充実

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

ア 学年会を研究的に進め、教師間の共通理解を深めながら指導性を高め目標の達成を図る。

イ あらゆる生活場面で、教師と児童との心の交流を図りながら児童の自主的な学習意欲を高めていく。

5. 本年度指導の重点

(1) 各教科・道徳・特別活動の指導の重点

ア 各教科

自主的学習態度を重視して学力の向上をはかる。

イ 道徳

(ア) 生命を尊重し健康の増進と安全の保持につとめることができるようにする。

(イ) よいと思ったことは進んで実行し、強い意志と責任感をもって最後までやり通すようにする。

ウ 特別活動

各種の活動計画と実践のくふうをはかり、連帯感、所属感を育てる。

・児童活動……児童の自主的、実践的な態度を育て個性の伸長をはかる。

・学級指導……統一ある指導計画に基づき、学級の実態に即した指導を徹底させる。

・学校行事……行事内容の精選と効果的な運営により集団への連帯感や規律ある行動の実践をはかる。

(2) 生活指導の重点

集団生活をとおして個々の児童の生活態度の向上を図りながら教育課程が能率的、効果的に実施されるように努める。

〔具体目標〕 学校生活を楽しくするために、学級、学校のきまりをたいせつに考え行動する子どもを育てる。

ア 個々の児童の能力、特性に応じた個別指導に力を入れる。

イ 学級、学校集団の質を高めるための集団指導に力を入れる。

(3) その他の配慮事項

ア 日課時程の一単位時間を40分とする。

イ 朝の児童集会活動を充実し、教師と児童、児童間の心の結びつきと体力の向上に努める。

ウ 児童とともに環境の美化につとめる。

エ 本年度の研究主題

子どもが生き生きと学習に参加できる授業の研究

6. 児童数

	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	計
学級数	3	3	3	4	3	3	19
男	67	54	66	78	54	45	364
女	50	69	62	59	55	65	360
計	117	123	128	137	109	110	724

7. 教職員

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月	研 究 教 科	そ の 他
1	内 藤 達 夫	53	校 長	47. 4. 1	経 営	
2	佐 藤 勝 次	49	教 頭	46. 4. 1	経営、理科	
3	志 賀 定 一	24	1-1	48. 4. 1	体 育	
4	遠 藤 綾	48	1-2	48. 4. 1	算 数	
5	和 田 愛 子	24	1-3	47. 4. 1	国 語	
6	窪 田 正 子	28	2-1	43. 4. 1	国 語	
7	堀 内 弘	28	2-2	43. 4. 1	算数、視聴覚	
8	高 倉 救 行	45	2-3	45. 4. 1	国 語	
9	上 野 森 良	43	3-1	43. 4. 1	道德、教育相談	
10	飯 田 竹	30	3-2	48. 4. 1	国 語	
11	斎 藤 弥 生	27	3-3	47. 4. 1	家 庭	
12	杉 本 瑛 之	47	4-1	44. 4. 1	理 科	
13	色 川 和 代	27	4-2	47. 4. 1	社 会	
14	中 尾 奉 子	29	4-3	46.11. 1	音 楽	
15	日下部 芳 子	53	4-4	43. 4. 1	算数、給食	
16	仲二見 洋 子	46	5-1	42. 4. 1	特 活	
17	佐々木 茂 登	49	5-2	48. 4. 1	社会、特活	
18	草 間 敏 江	25	5-3	48. 4. 1	体 育	
19	逸 見 政 一	35	6-1	41. 4. 1	社会、生活	
20	板 谷 敏	45	6-2	46. 4. 1	体育、特活	
21	古 谷 二三子	46	6-3	39. 4. 1	家庭、図書	
22	鹿島田 恭 江	36	理 科	40. 4. 1	理 科	
23	村 田 那智子	35	音 楽	46. 4. 1	音 楽	
24	渡 辺 芳 郎	51	図 工	39. 4. 1	図 工	
25	能 登 久 子	27	養 護	42. 4. 1	保 健	
26	大 淵 隆 夫	28	事 務	48. 4. 1	事 務	
27	高 橋 始 江	24	休 職	46. 4. 1		

8. 本校研究主題の推移

昭和40年度	教育技術の研究（研究授業年8回実施）
昭和41年度	研究授業の励行、指導案作成の研究
昭和42年度	都、市研究協力校、統計教育
昭和43年度	同上
昭和44年度	国語科を中心とした読解力指導の充実をはかる
昭和45年度	読み、解く力をつけるための基礎的指導をどのように進めたらよいか。
昭和46年度	児童の自主性を生かした学習指導
昭和47年度	子どもが生き生きとした学習をするくふう→算数（計算、文章題）

9. 本校の特色

本校は過去数年、統計教育に取り組んできた。その成果を更に深化拡充するため、昭和46年より子どもの自主性を生かす授業の研究を進めている。

10. 都教育研究員、研究生の出身歴

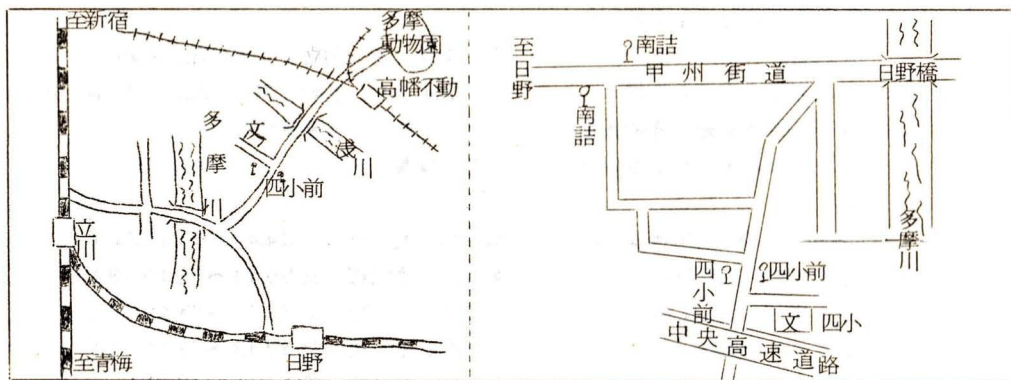
年 度	氏 名	教科領域	研究員、研究生別
昭和32年度	高 瀬 三 郎	算 数	研 究 員
昭和32年度	新 井 忠三郎	音 楽	〃
昭和37年度	井之下 茂	体 育	〃
昭和38年度	加 藤 隆 輔	図 工	〃
昭和42年度	渡 辺 芳 郎	図 工	〃
昭和46年度	亀 山 恵之助	特 活	〃

11. 父母の職業（家庭数）

（昭和48年度5月調）

	工 員	事 務 員	公 務 員	管 理 職	交 運 通 輸	農 業	自 宅 商	自 宅 工	そ の 他	合 計	共 稼 ぎ	留 家 守 庭
1年	21	14	5	1	2	2	3	3	0	51	12	8
2年	29	19	7	1	2	3	5	8	1	75	23	19
3年	26	23	8	4	9	1	5	2	4	82	45	32
4年	34	28	11	5	8	3	7	6	5	107	53	38
5年	28	30	12	8	5	6	4	8	2	103	42	28
6年	34	28	9	4	4	6	7	11	7	110	48	29
計	172	142	52	23	30	21	31	38	19	528	223	154
%	32.2	26.5	9.6	4.2	5.5	4.0	5.5	9.1	3.6	100	42.2	29.1

12. 学校に至るまでの地図





学校名 日野市立日野第五小学校

所在地 日野市多摩平6-21-1

電話 0425-81-0445・0407

順路 豊田駅北口より京王バス、日野駅行き五小前にて下車
甲州街道を通るバス(京王・都)に乗り日野自動車工場前下車

校長氏名 荒井 一 男

教頭氏名 深 沢 真 人

1. 沿革の概要

- 昭34.4. 1 日野市立日野第五小学校開校。初代校長に増島光一就任
- 昭34.4. 6 日野第二小学校の3教室(児童73名)日野第三小学校の5教室(児童169名)を借用して授業開始
- 昭34.6. 8 第1期工事完成(鉄筋コンクリート2階建、普通教室10、特別教室3、管理室5)9学級274名新校舎に移る。
- 昭35.9.13 第2期工事完成(鉄筋コンクリート平家建、普通教室8、小講堂1)2部授業解消
- 昭36.4. 1 増島光一校長定年勇退。浦上増太郎第二代校長に就任
- 昭36.5.31 第3期工事完成(鉄筋コンクリート2階建、普通教室6、特別教室1)
- 昭36.8.28 大プール、小プール竣工
- 昭38.2.20 校章制定
- 昭38.4. 4 仮教室1完成
- 昭39.3.11 校歌発表会
- 昭39.3.25 卒業記念として校旗寄贈を受く
- 昭39.4. 1 浦上増太郎校長定年勇退、福寿文雄第三代校長に就任
- 昭39.4. 6 芝山分校7学級(1~3年)

263名で発足

- 昭40.4. 1 芝山分校は日野市立第六小学校として独立
- 昭41.4. 1 仮教室2完成
- 昭42.2.23 都・市研究協力校発表会
- 昭42.4. 1 福寿文雄校長転出、星野正男校長就任
- 昭43.3.20 校舎改修工事着工
- 昭43.5.20 体育館、新校舎増設(2階建10教室)
- 昭44.3. 3 創立10周年記念式典
- 昭47.4.11 星野正男校長転出、荒井一男校長就任

2. 歴代校長

氏 名

- 増 島 光 一 昭34.4.1~昭36.3.31
- 浦 上 増太郎 昭36.4.1~昭39.3.31
- 福 寿 文 雄 昭39.4.1~昭42.3.31
- 星 野 正 男 昭42.4.1~昭47.3.31
- 荒 井 一 男 昭47.4.1~現在

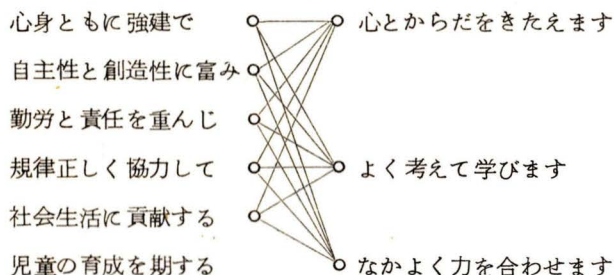
3. 地域の環境

昭和33年日本住宅公団により日野台地が切り開かれ、多摩平団地誕生。この中に第五小学校がある。南は中央線、北は国道20号線(甲州街道)にはさまれ、バス網の発達に伴い交通は便利である。

団地の住宅以外に分譲住宅、都営住宅などをかかえ、付近には日野自動車など4つの大会社があり近代工業地域に接している。

団地内は公園、緑地、広場など整備され、立木、芝生にかこまれた空間は静かな住宅地としてよい教育環境となっている。

4. 教育目標



5. 指導の重点

(1) 各教科・道徳・特別活動の指導の重点

ア. 各教科

昨年度に引き続き、各教科の学習における児童の思考力の伸長を期する。

イ. 道徳

本校の道徳の年間指導計画を、日野市道徳年間指導計画の手びきに照らして改善をはかり、児童の道徳的心情を豊かにし、実践意欲の向上をはかる。

ウ. 特別活動

本校の特別活動の年間計画に基づき、児童の望ましい集団活動を通して実践的態度を育てる。

エ. 養護・訓練

(2) 生活指導の重点

年間指導計画の改善を図り、児童と教師、児童相互の人間関係を深めながら、個々の児童に基本的行動様式を身につけさせる。

6. 児童数

	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	計
学級数	5	5	5	4	5	4	28
男	94	103	102	75	107	65	546
女	88	91	98	86	93	102	558
計	182	194	200	161	200	167	1104

7. 教職員

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月	研 究 教 科	そ の 他
1	荒 井 一 男	55	校 長	47.4.1	学 校 経 営	
2	深 沢 真 人	49	教 頭	46.4.1	学 校 経 営	
3	井 尻 武 子	44	1 - 1	41.4.1	音 楽	互 助 会

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月	研 究 教 科	そ の 他
4	小 林 和 子	3 0	1 - 2	4 4. 4. 1	体 育	保 健
5	福 地 保	4 4	1 - 3	4 1. 4. 1	理 科	教 務
6	白 井 啓 子	2 4	1 - 4	4 7. 4. 1	図 工	給 食
7	西 川 朝 子	2 7	1 - 5	4 6. 4. 1	特 活	生 活 指 導
8	海 野 とし子	2 5	2 - 1	4 6. 4. 1	算 数	図 書
9	前 川 花 子	4 6	2 - 2	3 9. 4. 1	国 語	教 務
1 0	岡 田 充 生	2 8	2 - 3	4 3. 4. 1	理 科	施 設
1 1	中 川 金 作	4 8	2 - 4	4 4. 4. 1	特 活	教 務
1 2	渡 辺 久 子	2 6	2 - 5	4 7. 1. 1	社 会	生 活 指 導
1 3	藤 崎 健 児	4 5	3 - 1	4 5. 4. 1	算 数	教 務
1 4	松 田 貴美子	2 5	3 - 2	4 6. 4. 1	特 活	教 務
1 5	大 竹 三 郎	4 7	3 - 3	4 5. 4. 1	国 語	生 活 指 導
1 6	逸 見 黎 子	3 0	3 - 4	4 7. 4. 1	体 育	保 健
1 7	藤 森 三 治	3 2	3 - 5	4 6. 4. 1	理 科	施 設
1 8	松 村 タケ子	4 7	4 - 1	4 6. 4. 1	道 徳	P・T・A
1 9	中 村 大	4 2	4 - 2	4 5. 4. 1	理 科	保 健
2 0	前 川 せ つ	4 6	4 - 3	4 7. 4. 1	社 会	生 活 指 導
2 1	小 俣 政 治	5 9	4 - 4	4 2. 4. 1	特 活	図 書
2 2	内 藤 まつ代	4 5	5 - 1	4 5. 4. 1	道 徳	生 活 指 導
2 3	河 津 正 幸	2 5	5 - 2	4 6. 4. 1	体 育	図 書
2 4	柴 田 静 枝	3 2	5 - 3	4 4. 4. 1	理 科	視 聴 覚
2 5	赤 池 正 人	3 7	5 - 4	4 3. 4. 1	特 活	教 務
2 6	関 根 敦 子	4 1	5 - 5	4 3. 4. 1	家 庭	給 食
2 7	田 中 博	2 5	6 - 1	4 7. 4. 1	特 活	視 聴 覚
2 8	塩 津 孝 子	2 6	6 - 2	4 7. 4. 1	図 工	給 食
2 9	佐々木 守 夫	4 3	6 - 3	4 6. 4. 1	体 育	生 活 指 導
3 0	中 村 志 美	2 6	6 - 4	4 6. 4. 1	理 科	保 健
3 1	厚 坊 ヒデ子	3 9	音 楽	4 7. 1. 1	音 楽	視 聴 覚
3 2	浜 野 優 子	2 9	音 楽	4 6. 4. 1	音 楽	生 活 指 導
3 3	本 莊 正 雄	6 0	図 工	4 1. 4. 1	図 工	施 設
3 4	林 茂 子	2 8	家 庭	4 3. 4. 1	家 庭	給 食
3 5	富 樫 容 子	2 4	養 護	4 6. 4. 1	養 護	保 健
3 6	川 崎 浩	2 8	事 務	4 6. 4. 1	事 務	事 務

8. 本校研究主題の推移

昭和40年度	自主的生活態度の完成と実践化(市)教材教具資料の収集と活用、基礎学力の充実
昭和41年度	学校と家庭の教育上の協力(都)(市)花壇の整備(都)
昭和42年度	道徳の指導計画の作成、指導内容の精選
昭和43年度	道徳の指導法のくふうと資料整備、基本的行動様式の実践、体力増強のための計画と実践
昭和44年度	生活指導における基本的行動様式の実践指導 特に特別教育活動との関連で計画の再検討と特活の年間計画の作成
昭和45年度	学力の定着をめざした指導法のくふうと指導の実践
昭和46年度	各教科の学習における児童の思考力の伸長をはかるくふうと指導の実践
昭和47年度	特別活動の年間指導計画に基づき児童の望ましい集団生活を通して実践的態度を育てる。
昭和48年度	思考力を伸長するための教材教具の活用法の研究

9. 本校の特色

本校は公団住宅のこの地への進出に伴い設立され、新しい学校建築の様式をとり入れて建てられた学校である。当時の五小は少人数で静かな環境の中で広い校庭を使い理想的教育活動をめざしていた。その後児童の増加にともない、8回にわたる増改築を繰り返えし、創立当時の意図とは違った様相を呈すようになった。しかし校地内には手入れのゆきとどいた樹木が多く、静かな環境の中で学習ができるようにと環境の整備ができている。

児童は身長が高く胸囲が狭いという都市型の体位体格のものが多く、肥満児は最近減少してきている。

学校では地域や児童の実態を考え別掲のような教育目標をたて、この目標を学年相応にかみくだき、学年会を中心にして、創意工夫を凝らした日々の教育実践をして、成果をあげ父母の信頼を得ている。

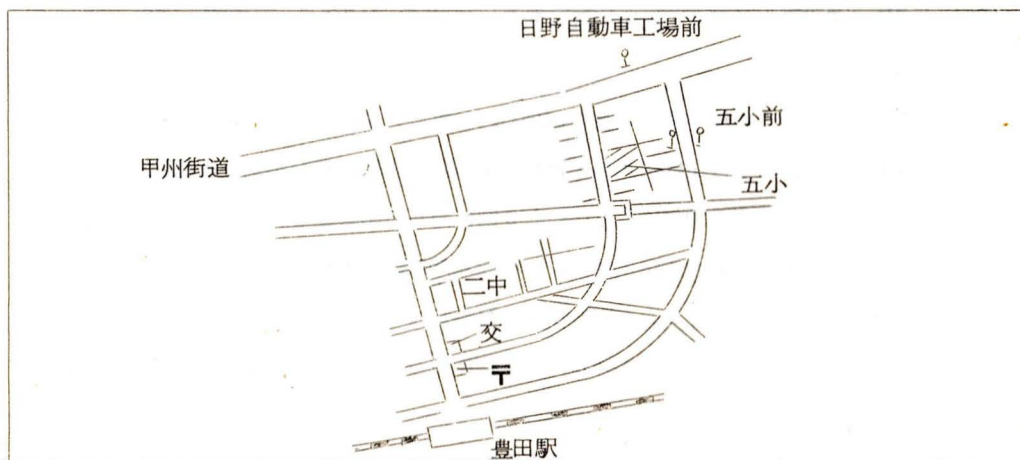
10. 都教育研究員、研究生の出身歴

年 度	氏 名	教科領域	研究員、研究生別
昭和36年度	石 川 実	国 語	研 究 員
昭和39年度	黒 沢 保 雄	社 会	〃
昭和39年度	堀 フサ子	給 食	〃
昭和40年度	関 口 忠 子	家 庭	〃
昭和41年度	渋谷 義 一	理 科	〃
昭和45年度	小坂橋 五佐男	算 数	〃
昭和45年度	三 浦 勝 也	特 活	〃
昭和47年度	藤 崎 健 児	算 数	〃
昭和39年度	大 熊 喜 一	算 数	研 究 員
昭和42年度	渋谷 義 一	理 科	〃

1 1. 保護者の職業一覧

職 種	家庭実数	%	職 種	家庭実数	%
会 社 員	5 1 5	6 1.6	自 宅 商	5 9	7. 0
公 務 員	8 3	9. 9. 9	自 宅 工	1 6	1. 9
教 職 員	6 3	7. 5	無 職	1	0. 1
工 員	1 3	1. 6	そ の 他	6 9	8. 2
運 輸	1 8	2. 2	計	8 3 7	1 0 0. 0

1 2 学校に至るまでの地図





学校名 日野市立日野第六小学校

所在地 日野市多摩平3丁目21番地

電話 0425-81-4868・0366

順路 中央線豊田駅北口下車徒歩12分

校長氏名 新海圭三

教頭氏名 黒沢保雄

1. 沿革の概要

- 昭39. 4. 1 日野第五小学校芝山分校として設置 児童1年～3年7学級263名
- 昭40. 4. 1 日野第六小学校として開校
初代校長として平山小学校長加々美良英就任
14学級 児童数515名
教職員21名
- 昭40. 9. 6 プール完成(6コース25m)
- 昭42. 2. 21 校歌の発表会
- 昭43. 2. 22 児童の体力づくりの研究発表会
- 昭43. 3. 31 校長加々美良英退職
- 昭43. 4. 1 国立市国立第一小学校長峰岸敬次郎2代校長として就任
- 昭43. 6. 19 南校舎(普通教室11.職員室校長室)完成
- 昭43.11. 6 第13回学研教育賞を受ける。
- 昭44. 3. 校地の土どめ工事完成
- 昭45. 2. 28 屋内体育館完成
- 昭45. 3. 16 落成式挙行(学校、PTA共催)
- 昭46. 3. 31 校長峰岸敬治郎滝合小学校長として転出
- 昭46. 4. 1 中野区上高田小学校新海圭三第三代校長として就任
- 昭46. 4. 1 日野市科学センター校

昭昭47. 2. 28 正門前舗装、北西門取付

昭47. 3. 児童の社会性育成の実践指導
(市研究協力校)

昭47. 5. 6 日野市科学センター校

昭47. 6. 10 校庭東側に自然林造成

昭48. 3 「考えさせる授業への手だて」
研究

2. 歴代校長氏名

加々美 良 英 昭40.4.1～昭43.3.31

峰 岸 敬次郎 昭43.4.1～昭46.3.31

新海 圭 三 昭46.4.1～現在

3. 地域の環境

多摩平の台地に位置し、公団住宅と分譲住宅よりなり、近くに小西六、富士電機、帝人、千代田自動車等の工場がある。飛行機の騒音はあるが教育的環境は比較的よい。

4. 教育の目標

本校の教育は法規にもとづき地域社会の特性をふまえ、児童の個性と能力に応じてつぎのことをめざして行なわれる。

- (1) たくましい身体と心をきたえる。
- (2) がんばりぬく心を養う。
- (3) 考えながら学ぶ。
- (4) しっかり働く。
- (5) みんなと仲よく。
- (6) 生き物を育てる。

5. 本年度指導の重点

(1) 各教科・道徳・特別活動の指導の重点

ア. 各教科

- 目標の明確化、内容の精選、指導法のくふうにより「考えさせる授業への手だて」を深める。
- 教育機器等教材、教具、資料の活用により効率的に基礎学力の充実を図る。
- 学習環境をかえ、児童が自然から学びとることにつとめる。

イ. 道 徳

- 児童の心にゆさぶりを深め、人間尊重の精神を計画的に指導する。
- 各教科・領域との連けいを深め、実践化をはかる。

ウ. 特別活動

- 実践活動を通して、児童の自発性、協調性を培い、好ましい集団をつくる活動を積極的に進める。
- 児童活動・学級指導の指導内容の明確化、効率化を図る。

(2) 生活指導、進路指導の重点

- 「学校のきまり」をたいせつにする子どもの指導。
- 「けがのない日」への指導のくふう。

(3) その他の配慮事項

- 40分授業の効率を高めるためのくふう。
- 校舎増築に伴う児童の安全指導の徹底。

6. 児童数 (48, 5, 1)

	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	計
学級数	5	5	5	5	5	5	30
男	94	92	86	111	90	106	585
女	98	90	111	104	92	90	585
計	192	182	197	215	182	196	1164

7. 教職員一覧

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	研究教科	そ の 他
1	新 海 圭 三	54	校 長	46. 4.1	経 営	経 営
2	黒 沢 保 雄	48	教 頭	46. 4.1	経 営	経 営
3	当 間 糸 子	43	1-1	40. 4.1	家 庭	学年主任
4	鶴 留 節 子	27	1-2	48. 4.1	理 科	扶助員
5	草 刈 喜 一	39	1-3	46. 4.1	体 育	保健主任
6	福 田 い ず み	27	1-4	45. 4.1	図 工	P T A

番号	氏 名	年令	担 任	本校 任年月日	研究教科	そ の 他
7	広 澤 フサ子	35	1-5	43. 4.1	道 徳	教育相談 図書館
8	斉 藤 八重子	43	2-1	43. 4.1	体 育	学年主任
9	来 間 志 信	32	2-2	43. 4.1	国 語	給食主任
10	村 西 和 子	24	2-3	47. 4.1	社 会	教科書
11	西 條 淑 子	53	2-4	42. 4.1	社 会	生活指主任
12	和 田 国 平	46	2-5	41. 4.1	道 徳	教務主任
13	長 田 正 夫	33	3-1	45. 4.1	社 会	環境委員長
14	上 條 浩 子	28	3-2	44. 4.1	国 語	転出入
15	小 野 博 子	46	3-3	44. 4.1	図 工	学年主任
16	阪 本 緑	34	3-4	45. 4.1	国 語	給食会計
17	山 添 邦 男	30	3-5	47. 4.1	社 会	くらしづくり委員長
18	乗 越 邦 生	26	4-1	46 4.1	算 数	からだづくり委員
19	高 橋 寿美子	46	4-2	40. 4.1	音 楽	"
20	江 口 耕 一	41	4-3	40. 4.1	国 語	研究しあう会委員
21	横 山 愛 子	26	4-4	45. 4.1	算 数	環境委員
22	原 田 美智子	28	4-5	47. 4.1	算 数	研究しあう会委員
23	藤 田 孝 彦	40	5-1	47. 4.1	特 活	特活主任
24	老 沼 義 晴	24	5-2	47. 4.1	体 育	からだづくり委員
25	清 水 しずか	42	5-3	40. 4.1	道 徳	視聴覚
26	塚 本 喜美子	32	5-4	45. 4.1	図 工	環境委員
27	永 見 明 子	23	5-5	48. 4.1	理 科	くらしづくり委員
28	古 谷 洋 太	47	6-1	47. 4.1	図 工	環境委員
29	高 橋 孝 子	30	6-2	48. 4.1	家 庭	からだづくり委員
30	塩 浦 玲 子	27	6-3	44. 4.1	国 語	研究しあう会委員
31	今 野 すみ子	41	6-4	47. 4.1	社 会	安全主任
32	原 祐 房	28	6-5	45. 4.1	社 会	環境委員
33	永 井 一 郎	37	理 科	44. 4.1	理 科	"
34	曾 我 哲 夫	42	音 楽	43. 4.1	音 楽	研究委員長
35	坪 井 しずか	31	音 楽	48. 4.1	音 楽	くらしづくり委員
36	長 沢 和 子	50	図 工	46. 4.1	図 工	補 教
37	上 山 美智子	37	養 護	40. 4.1	保 健	保 健
38	広 池 誠	31	事 務	41.12.1	事 務	事 務

8. 本校における研究主題の推意

昭和40年度	児童と父母を対象とした実態調査
昭和41年度	児童の「たくましい身体をきたえる」ための実践について
昭和42年度	児童のたくましい身体をきたえるための指導の具体化と実践について 市指定
昭和43年度	各教科道德の教材配列及び教科内容の充実
昭和44年度	自ら考える意欲を高め思考力を伸す学習指導について
昭和45年度	児童の社会性育成の実践指導 学級指導と関連して
昭和46年度	児童の社会性の育成 学校教育目標の達成をめざして(市研究協力校)
昭和47年度	考えさせる授業への手だて
昭和48年度	”(継続研究)

9. 本校の特色

- (1) 多摩平団地の造成に伴って新設された団地校であり、大規模校である。
- (2) 児童は細長型、都会型の体位をしめし、ねばり強さに欠け、父母への依頼心が強い。
- (3) 父母の教育的関心は高く、父母会の出席状況はよい。
- (4) 児童、教職員一体となって、花だん、自然林、情操池を作成し学校緑化と環境整備に効果をあげている。
- (5) 「考えさせる授業への手だて」を主題に、校内研修活動に力を入れている。市協力校を関連的に3年間引受けている。

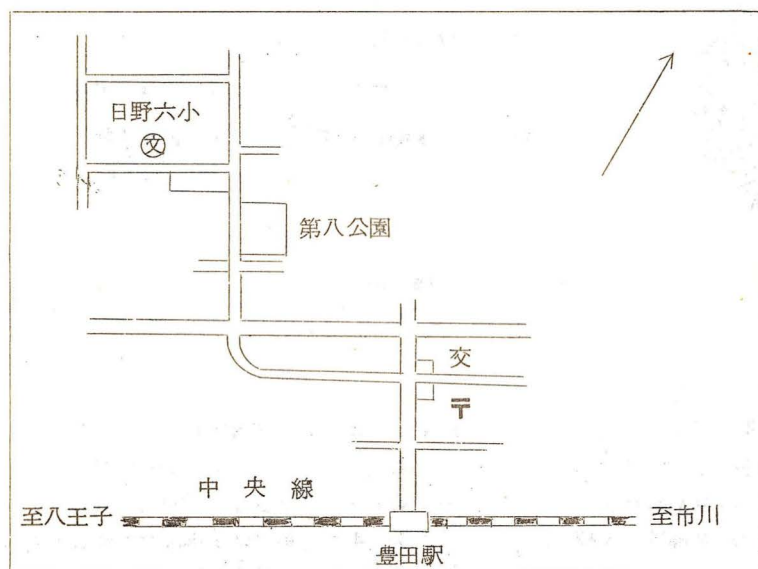
10. 都教育研究員、研究生の出身歴

年 度	氏 名	教科領域	研究員、研究生別
昭和35年度	黒 沢 保 雄	社 会	研究生(教育大)
昭和39年度	”	社 会	研究員
昭和43年度	岩 尾 照 夫	算 数	研 究 生 (学大)
昭和43年度	上 山 美智子	養 護	教育研究員
昭和45年度	高 田 敏	給 食	”
昭和48年度	藤 田 孝 彦	特 活	”

11. 保護者の職業一覧

職 業	家 庭 実 数	%	職 業	家 庭 実 数	%
農 業	0	0	団 体 職 員	43	5.0
工 業	35	4.1	会 社 員	527	62.2
商 業	55	6.4	医 師	5	0.6
運 輸 交 通 業	23	2.7	そ の 他	40	4.7
国 家 公 務 員	35	4.1	無 職	5	0.6
地 方 公 務 員	82	9.6	計	850	100

1 2. 学校に至るまでの地図





学校名 日野市立潤徳小学校

所在地 日野市高幡402番地

電 話 0425-91-0409・0410

順 路 京王線高幡不動駅下車 北へ徒歩4分

校長氏名 星 野 正 男

教頭氏名 梅 田 茂

1. 沿革の大要

- 明 6. 5 三沢医王寺本堂を仮校舎として開校、潤徳学舎と称す。
- 明明1 1.1 1 三沢701番地に移転し、潤徳学校と称し校舎を新築する。
- 明 2 0. 4 校名を潤徳尋常高等小学校と変更
- 明 2 6. 4 校名を潤徳尋常小学校と変更
- 明 3 4. 4 校名を潤徳尋常高等小学校と変更
- 明 4 2. 5 昭栄尋常小学校を廃止し、落川分校とする。
- 昭 1 6. 4 校名を潤徳国民学校と変更
- 昭 2 2. 4 校名を七生村立潤徳小学校と変更
- 昭昭 2 7. 5 創立80周年記念として、白鳥省吾作詩、信時潔作曲の校歌を作成す。
- 昭昭 3 0.1 0 学校保健委員会が都教委及び都学校保健会より表彰さる。
- 昭 3 3. 2 校名を日野町立潤徳小学校と変更
- 昭 3 8.1 1 校名を日野市立潤徳小学校と変更（90周年記念式典挙行、記念事業として水棲動物園、河川模型完成）
- 昭 4 0.1 2 安全教育優良校として都教委及び都学校保健会より表彰さる。
- 昭 4 1. 3 現在地に鉄筋コンクリート三階建防音校舎完成、落川分校

廃止

- 昭 4 4. 2 屋内体育館落成
- 昭 4 4. 9 日野市立第八小学校分離
- 昭 4 4.1 0 百草台分校併設
- 昭 4 5. 4 百草台分校独立日野市立百草台小学校となる。
- 昭 4 6. 2 日野市研究協力校として「学級指導の計画と実践」の主題のもとに研究発表協議会を開催。
- 昭 4 6. 4 普通教室9教室、学校図書館2教室分）増築
- 昭 4 7. 4 プレハブ教室増築
- 昭 4 8. 4 プレハブ教室増築（4教室）
- 昭 4 8. 5 開校百年記念式典挙行記念碑・植樹完成

2. 歴代校長

- | 氏 名 | 年 月 |
|-------------|----------------|
| 初代 大塚四郎右衛門 | 創 立 |
| 2代 覚 井 諦 暁 | 明19.12～明11.11 |
| 3代 和 田 作太郎 | 明1.1.11～明15.11 |
| 4代 土方 喜久太郎 | 明15.11～明17. 2 |
| 5代 宮 倉 保五郎 | 明17. 2～明19.10 |
| 6代 小 宮 太之助 | 明19.10～明20.10 |
| 7代 須 崎 和 蔵 | 明20.10～明31. 2 |
| 8代 小 宮 彌一郎 | 明31. 2～明34. 4 |
| 9代 加 藤 菊次郎 | 明34. 4～明36. 1 |
| 10代 佐 藤 良 輔 | 明36. 1～明42. 4 |
| 11代 沖 倉 与 一 | 明42. 4～明43. 4 |

12代 荒 木 田大夫 明43.5～明45.3
 13代 小 宮 彌一郎 明45.4～大12.3
 14代 平 杉 蔵 犬12.4～大13.3
 15代 矢 沢 久 司 大13.3～大14.9
 16代 小 泉 栄 一 大14.10～昭 3.3
 17代 広 井 博 昭 3.4～昭 7.9
 18代 重 松 正 顕 昭 7.9～昭14.7
 19代 鈴 木 慶 蔵 昭14.7～昭22.2
 20代 赤 坂 元 春 昭22.2～昭27.9
 21代 塚 本 正 昭27.10～昭37.3
 22代 尾 崎 半次郎 昭37.4～昭41.3
 23代 塚 本 正 昭41.4～昭43.3
 24代 溝呂木 桂 次 昭43.4～昭47.3
 25代 星 野 正 男 昭47.4～ 現在

3. 地域の環境

南に多摩丘陵が連なり、北には浅川が流れ、東西に田園が広がり、自然環境には恵まれていたが、最近急激に丘陵地帯には公団住宅や分譲住宅の造成が盛んに行なわれ、田園にも都営団地や住宅がふえ、過密化の傾向にあり、農業に従事する保護者の割合は約3%である。東西に走る川崎街道の交通量も激増し、交通事故もふえている。休日には、高幡不動尊、多摩動物公園、多摩テック等に行楽客も多い。

4. 教育目標

敬 愛	健康・安全	・心とからだをきたえます。
	自由・責任	
自 由	明朗・快活	・仲よく力を合わせます。
	不撓・不屈	
勤 労	創意・くふう	・よく考えて学びます。

5. 指導の重点

(1) 各教科・道徳・特別活動の指導の重点

ア. 各教科

指導内容を精選し、学習の効果を高める。

- ・学習過程を重視し、児童の思考力を伸ばす。
- ・教材・教具の活用をはかる。

イ. 道 徳

児童の実態に応じて、道徳性を高める。

- ・公共心を培い、協力し合う心情を高める。
- ・進んで、物事をやりぬく態度の育成をはかる。

ウ. 特別活動

組織と運営を確立する。

- ・代表委員会と各種委員会の常時活動をととして、児童の自主性を高める。
- ・学校行事を精選し、児童の心身の健全な発達を図る。
- ・学級指導をととして、好ましい人間関係を育てる。

(2) 生活指導・進路指導の重点

学年・学級における生活指導の充実と徹底をはかる。

- ・児童ひとりひとりを見つめ教師と児童との心の交流をはかる。
- ・学校生活のきまりなどの規律を守る習慣をつける。
- ・安全教育の徹底をはかる。

(3) その他の配慮事項

1. 40分授業を考慮し、教育課程全体の充実をはかり、ゆとりのある生活時程を設定する。
2. 環境整備に留意し、望ましい学習環境づくりに努力する。

6. 児童数

	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	計
学級数	7	7	5	5	5	4	33
男	151	159	140	103	113	125	791
女	140	129	148	126	99	89	734
計	291	288	291	229	212	214	1525

7. 教職員

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	研究教科	そ の 他
1	星 野 正 男	58	校 長	4 7. 4. 1	経営 国語	
2	梅 田 茂	47	教 頭	4 7. 4. 1	道 徳	
3	青 木 良 子	51	1-1	4 8. 4. 1	給 食	
4	渡 辺 みち子	23	2	4 8. 4. 1	国 語	
5	竹 内 ふ み	50	3	4 8. 4. 1	算 数	PTA会計
6	小 山 節 子	30	4	4 6. 4. 1	国 語	
7	小笠原 康 夫	27	5	4 4. 9. 1	体 育	
8	小 村 満紀子	35	6	4 8. 4. 1	音 楽	
9	高 井 くめ子	31	7	4 8. 4. 1	国 語	
10	石 井 和 子	46	2-1	4 4. 4. 1	道 徳	教務事務・道徳主任
11	石 原 美 代	27	2	4 7. 4. 1	体 育	
12	河 野 千 秋	36	3	4 8. 4. 1	社 会	社会主任
13	力 丸 としえ	24	4	4 7. 4. 1	理 科	
14	佐 藤 ユ ウ	39	5	4 2. 4. 1	社 会	
15	間 瀬 悦 子	24	6	4 7. 4. 1	国 語	

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	研究教科	そ の 他
16	石 川 成 子	34	2-7	45.9.16	家 庭	
17	和 田 いさを	31	3-1	40.4.1	視 聴 覚	視聴覚主任
18	坂 井 和 子	49	2	40.4.1	図 書 館	図書主任
19	後 藤 楚 子	36	3	45.4.1	算 数	
20	後 藤 貞 雄	48	4	44.4.1	体 育	保健主事
21	大 浦 真知子	27	5	44.9.1	算 数	
22	土 方 子	27	6	45.4.1	理 科	
23	河 村 令 子	25	7	46.4.1	算 数	
24	進 真 郎	46	4-1	41.4.1	算 数	財務主任
25	吉 野 美和子	29	2	43.4.1	算 数	
26	小 川 雪 子	47	3	47.4.1	図 工	
27	中 野 弥 生	27	4	47.1.1	国 語	
28	茅 野 とめ子	28	5	46.4.1	算 数	
29	天 野 七 郎	49	6	45.4.1	算 数	教務主任 算数主任
30	伊 藤 清 子	44	5-1	45.4.1	算 数	給食主任
31	古 谷 孝 太	44	2	48.4.1	社 会	研究推進委(主任)
32	川 井 子	32	3	48.4.1	体 育	
33	中 島 ちよ子	23	4	48.4.1	算 数	
34	宮 田 光 義	24	5	47.4.1	国 語	
35	清 水 七 郎	42	6-1	40.4.1	特 活	生活指導主任
36	小山田 穰	26	2	45.9.1	理 科	P T A 庶務
37	川 上 卓 一	26	3	45.4.1	理 科	
38	秋 間 美恵子	24	4	47.4.1	理 科	
39	武 内 忠 雄	27	5	44.4.1	特 活	特活主任
40	森 清 晃	47	理 科	47.4.1	理 科	理科主任 学校行事
41	村 上 悦 子	37	音 楽	41.4.1	音 楽	音楽主任
42	小 堀 こうこ	24	音 楽	47.4.1	音 楽	
43	小 口 清 一	36	図 工	47.4.1	図 工	図工主任
44	川原田 和 子	29	家 庭	46.4.1	家 庭	家庭主任 教育相談
45	香 坂 みどり	22	養 護	47.4.1	保 健	
46	橘 田 晟	36	事 務	46.4.1		庶務 会計主任
47	森 本 建 二	30	事 務	48.4.1		

8. 本校研究主題の推移

昭和40年度	学校における望ましい習慣形成のあり方
昭和41年度	基礎学力の充実 授業研究をととしての教材研究
昭和42年度	徒手体操の系統的指導法の研究
昭和43年度	体育の効果的な指導法 器械運動について
昭和44年度	系統性を重視したボール運動 社会的態度の育成をめざした集団行動
昭和45年度	学校生活における基本的行動様式の実践 学級指導を通して
昭和46年度	学級指導の計画化に基づく指導実践
昭和47年度	学習効果をたかめるための教材教具の整備と活用

9. 都教育研究員、研究生の出身歴

年 度	氏 名	教科領域	研究員、研究生別
昭和35年度	斉 藤 宏	社 会	研 究 員
昭和38年度	斉 藤 イ ク	学校給食	"
昭和38年度	天 野 七 郎	"	"
昭和42年度	天 野 七 郎	算 数	"
昭和43年度	坂 井 和 子	教育方法	"
昭和45年度	村 上 悦 子	音 楽	"
昭和46年度	な し		
昭和47年度	清 水 七 郎	教育方法	"
"	新 沼 英 樹	理 科	"

10. 本校の特色

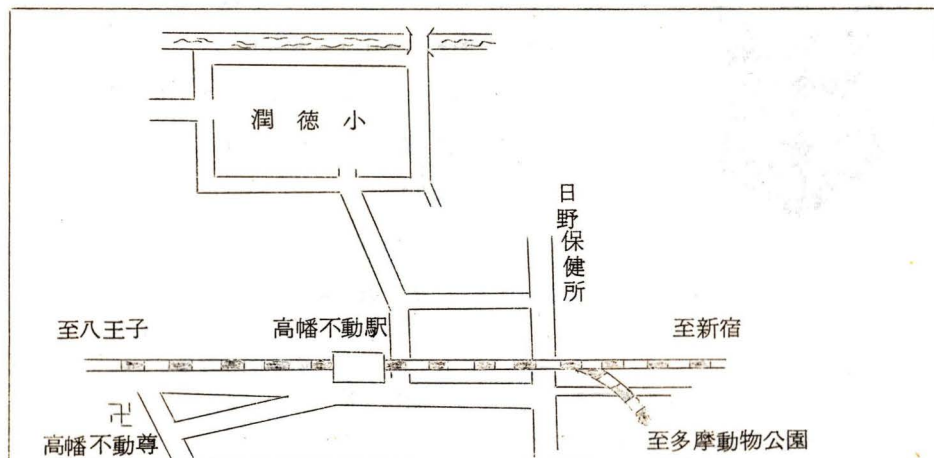
本校は明治6年5月12日に開校以来本年をもって百周年を迎え輝かしい伝統と歴史にはぐくまれ、また多摩丘陵の宅地造成にともなうベッドタウンとしての新興住宅地として転入の児童・父母との融和のなかに、新しい時代に即応した社会人の育成にあたっている。

本市第一の大規模校として、さまざまな困難な条件のなかで全職員一丸となって真の教育の理念達成をめざし邁進している。

11. 保護者の職業一覧

職 業	家庭実数	%	職 業	家庭実数	%
専門的・技術的職業	250	21.7	サービス従事者	49	4.2
管理的職業	112	9.7	農林、漁業従事者	35	3.1
事務的職業	315	27.2	そ の 他	62	5.4
自 営 業	83	7.1			
労 務 従 事 者	251	21.7	計	1157	100

1 2. 学校に至るまでの地図





学校名 日野市立平山小学校

所在地 日野市平山4-8-6

電話 0425-91-4123・0512

順路 京王線 平山城址公園下車 徒歩8分

〒191

校長氏名 小 野 晃

教頭氏名 石 井 富 蔵

1. 沿革の概要

- 明 6. 5 宗印寺を仮校舎として開校
(真心学舎といい修業年限は
8カ年)
- 明 1 7. 平山 598 番地に新築移転
- 明 2 0. 校名を平山尋常小学校と改める
- 明 3 5. 5 校名を平山尋常高等小学校と
改める。
- 明 4 1 尋常科を6カ年、高等科を2
カ年とする。
- 昭 1 6. 4 国民学校令の施行により七生
村立平山国民学校と改める。
- 昭 2 2. 4 新学校教育制度の実施により
七生村立平山小学校と改める。
- 昭 3 2. 2 日野町、七生村合併により日
野町立平山小学校と改める。
- 昭 3 7. 2 東京都給食研究協力校として
研究発表
- 昭 3 8. 1 1 市制施行により日野市立平山
小学校と改める。
- 昭 4 2. 5 鉄筋防音校舎および屋内体育
館の落成により、平山4-8
-6に移転する。
- 昭 4 4 日野市研究協力校として「児
童の体力の向上」について研
究発表。
- 昭 4 5. 3 防音鉄筋校舎9教室および機
械室工事完成。
- 昭 4 6. 3 滝合小の新設に伴う学区変
更、平山小学区は浅川の南側

の地区となる。

2. 歴代校長

氏氏 名名

- 梁 義 伯 明 6. 5 ~ 明 12. 1
- 大 沢 教之助 明 12. 1 ~ 明 20. 3
- 石 井 芳 丸 明 20. 4 ~ 明 30. 5. 5
- 吉 永 信 丸 明 30. 6 ~ 明 35. 5
- 小 宮 彌一郎 明 35. 6 ~ 明 45. 3
- 古 谷 障 司 明 45. 4 ~ 大 2. 5
- 勝 又 房太郎 大 2. 5 ~ 大 4. 5
- 平 杉 蔵 大 4. 6 ~ 大 9. 3
- 上 田 富 彌 大 9. 4 ~ 大 15. 3
- 杉山 喜知太郎 大 15. 4 ~ 昭 6. 3
- 石 川 雄 丸 昭 6. 4 ~ 昭 11. 2
- 鳥 羽 照 司 昭 11. 2 ~ 昭 13. 3
- 石 谷 倉太郎 昭 13. 4 ~ 昭 21. 3
- 飯 塚 節 三 昭 21. 3 ~ 昭 22. 3
- 田宮五郎右衛門 昭 22. 4 ~ 昭 28. 3
- 森久保 惣 次 昭 28. 4 ~ 昭 34. 3
- 高 橋 本 義 昭 34. 4 ~ 昭 37. 3
- 加々美 良 英 昭 37. 4 ~ 昭 40. 3
- 後 藤 正 太 昭 40. 4 ~ 昭 42. 3
- 安 積 利 治 昭 42. 4 ~ 昭 47. 3
- 小 野 晃 昭 47. 4 ~ 現 在

3. 地域の環境

- (1) 浅川と多摩丘陵に挟まれた西は八王子
市に接する平地、田んぼ、畑等の農地も
残っており、自然に恵まれた環境である。
- (2) 近年、団地、都営住宅、造成地住宅等
市街化されつつあり、他地域からの転入

者が多く、児童数も急激に増加しつつある。

4. 教育目標

- | | |
|-------------|----------------------|
| ① 健康安全教育の徹底 | (1) 健康で 明るい子ども |
| ② 学力の充実 | (2) よく考えて さいごまでやりぬく子 |
| ③ 自主性の育成 | (3) 進んでよいことをする子ども |
| | (4) 力を合わせて働く子ども |

5. 本年度指導の重点

(1) 各教科・道徳・特別活動の指導の重点

ア. 各 教 科

- 指導の効率を高めるため、指導内容の精選、教材教具のくふう、指導事例の交換等を重視し、学年会に研修活動を中心にすすめる。

イ. 道 徳

- 日常生活の望ましい行動様式を育てる。
- 自主性の育成につとめ、教材教具を整備し、機器を活用して実態に即した徳目を精選して指導する。
- ゆたかな心を培うため環境構成、美化につとめる。

ウ. 特別活動

- 児童会活動・係活動を通して自主性や協力のしかたを学ばせる。

(2) 生活指導・進路指導の重点

- 日々の学校生活を通して、教師対児童・児童対児童がひとりひとりを理解し、尊重し合うようつとめる。
- 安全教育にとくに留意して、児童ひとりひとりが自覚するよう指導する。

(3) その他の配慮事項

- 児童にゆとりある生活をさせ、教師・児童がともに遊びながら心の交流をはかる時間を得るため40分授業を導入した。
- 週の放課後の時間をくふうし、研修その他に計画的に生かす。
月（各種委員会） 火（教材研究，研究日） 水（職員会議）
木（委員会・クラブ活動） 金（学年会）
- 創立百周年の記念行事や特殊学級創設に伴う教育的配慮を重視する。

6. 児童数

	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	特 殊	計
学級数	3	3	3	3	3	3	1	19
男	60	55	66	55	50	40	1	327
女	50	53	58	38	42	57	9	307
計	110	108	124	93	92	97	10	634

7. 教職員

本校就任

(年令は昭49.3月末現在)

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	研究教科	そ の 他
1	小 野 晃	55	校 長	47.4.1	経 営	
2	石 井 富 蔵	57	教 頭	46.4.1	経 営	
3	関 恒 夫	45	1-1	45.4.1	体 育	生活指導主任
4	赤 松 紀 子	32	1-2	44.4.1	音 楽	図書館 指導
5	樋 川 万 佐子	26	1-3	45.4.1	算 数	教育相談
6	岩 井 豊 子	53	2-1	41.4.1	家 庭	渉外部主任
7	会 田 尚 子	36	2-2	44.4.1	算 数	安全教育
8	雨 宮 政 子	26	2-3	45.4.1	図 工	生活校内指導
9	長 尾 節 子	54	3-1	45.4.1	図 工	給食事務
10	信 夫 清 彦	29	3-2	48.4.1	体 育	保健部主任
11	落 合 陽 子	25	3-3	48.4.1	図 工	給食指導
12	溝 江 恵 美子	32	4-1	39.4.1	社 会	代表委指導
13	川 上 昇 一	29	4-2	45.4.1	道 徳	視聴覚
14	月 成 カズ子	24	4-3	47.4.1	算 数	図書館
15	白 川 茂 一	38	5-1	44.4.1	国 語	児童活動指導
16	河 野 珠 恵恵	26	5-2	47.4.1	家 庭	教務, 学籍
17	柳 英 司	27	5-3	47.4.1	理 科	部活動係
18	安 達 美 武	28	6-1	44.4.1	社 会	生活校外指導
19	吉 川 郁 子	38	6-2	44.4.1	理 科	視聴覚指導
20	和 田 文 雄	40	6-3	43.4.1	体 育	研究部主任
21	大 島 ルミ子	36	特 殊	48.4.1	音 楽	特殊教育
22	高 橋 史 郎	25	特 殊	48.4.1	体 育	特殊教育
23	堀 越 邦 昌	46	理 科	44.4.1	理 科	教務主任
24	内 山 美 知子	42	音 楽	39.4.1	音 楽	給食事務
25	藤 田 富 治郎	28	図 工	48.4.1	図 工	教務, 補教等
26	広 池 とよ子	29	養 護	42.4.1	養 護	保健, 養護
27	小 島 義 之	27	事主事	44.4.1	事 務	庶務, 経理主任

8. 本校研究主題の推移

昭和40年度	理科(すじ道をたてて考える学習)
昭和41年度	全 上
昭和42年度	道徳(道徳指導計画の改訂)
昭和43年度	道徳、体育(道徳、体育を中心に資料の充実と視聴覚教材の活用)
昭和44年度	体育(体育活動を中心に体力の向上をはかる) 市研究協力校
昭和45年度	体育(体力の向上をはかる体育学習)
昭和46年度	生活指導(自主性を育てる)
昭和47年度	全 上
昭和48年度	全 上

9. 本校の特色

- 自主性の育成に重点をおき、体育的行事への児童の参加や、その他の児童会活動が活発である。環境は約131㎡の大花壇・教材園、約100㎡の芝生園があり、児童の心情を暖める場を形成している。また、職員の手になる、タイヤの山・電柱利用の固定平均台等の遊具施設がある。なお、本年度から特殊学級1学級が併設された。

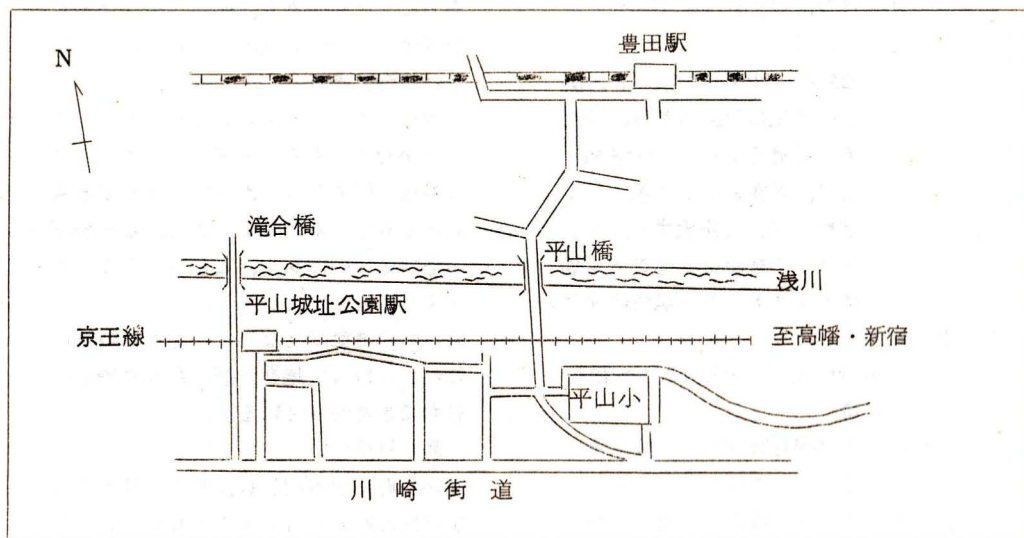
10. 都教育研究員、研究生の出身歴

年 度	氏 名	教科領域	研究員、研究生別
昭和40年度	堀 越 邦 昌	学校給食	都研究員
昭和40年度	小 野 晃	道 徳	都研究員

11. 保護者の職業一覧

職 業	家庭実数	%	職 業	家庭実数	%
企 業 経 営 者	14	3	労 務 従 事 者	81	17
専 門・技 術 的 職 業	53	11	サ ー ビ ス 従 事 者	77	16
管 理 的 職 業	29	6	農 林 漁 業	18	4
小 企 業 者	33	7	そ の 他	13	3
事 務 的 職 業	158	33	無 職	5	1

12. 学校に至るまでの地図





学校名 日野市立日野第七小学校

所在地 日野市神明上区画整理地域内106街区

電話 0425-83-3907→3908

順路 国電中央線日野駅下車 徒歩10分

〒191

校長氏名 星野武之

教頭氏名 大熊喜一

1. 沿革の概要

昭46.12. 七小開校促進委員会を、第五小学校PTAを母体として発足。以後、小委員会を14回にわたって開催し、七小開校に伴う諸問題について協議。

昭47. 3 市議会において、七小建設に伴う案件承認。

昭47. 8 現在地（日野市神明上区画整理地域内106）に建設着工。

昭48. 4 日野市立日野第七小学校として開校。
日野第一小学校および日野第五小学校の学区域から、新たに日野第七小学校の学区域を定め、児童数354名 12学級の規模で開校する。
トラックをのぞく運動場全面にティフトン芝の植付け完了。

2. 歴代校長

初代 星野武之 昭和48.4～現在

3. 地域の環境

本校は、中央線日野駅から、線路ぞいに徒歩10分。2つの坂を登りつめた高台に位置している。坂を登りながら眺められる校舎は、周囲にさえぎられることなく自然と調和して、環境のよさに心をひかれる。

本校所在地の、日野市神明上区画整理地域内の呼称が示すように、校舎の北側

に少々住宅がたちはじめたほかは、東側、そして、南側には、樹木・雑草・畑作物の緑が広がっている。

屋上に登ると、学区全体をくまなく見渡すことができる。本校児童の95%は、中央線の鉄路でへだてられた西側の台地に居住している。この地域はここ10余年の間に旧甲州街道ぞいに発達した新興住宅地帯である。都営住宅、さらに、分譲地住宅という順に急速にふんらんできた町である。あちこちに村があり、樹木が散在するこの地域は、児童の成長にとってすこぶる好ましい状況にある。

現在、本校の南側0.5kmのところ、日野消防署がある。将来、日野市の庁舎がこの地に建てられ、市の中心街とする青写真ができていくと聞く。また、現在整理中の宅地造成の作業が、ここ数年のうちに完了するとも聞いている。

仮仮設の運動場となっている東側の校地に、これからの入口増を予想した校舎増築の構想もできあがっている。

4. 教育目標

生命の尊重を基調とし、仲よく健康で豊かな個性と能力をもったこどもを育成する。

- みんな仲よく、がんばります。
- 心とからだを、きたえます。
- 深く考えて、学びます。
- いきものを、だいじにそだてます。

5. 本年度指導の重点

(1) 各教科・道徳・特別活動の指導の重点

ア. 各教科

- 指導内容を精選し、40分授業の指導法を確立する。
- 教材・教具の整備と、教育機器の活用をはかる。

イ. 道 徳

指導法にくふうを加えながら、児童の道徳的心情と態度の向上をはかる。特に、本校児童の実態から、自主自律の心、動物愛護の心、向上心、努力心の三点に重点を置く。

ウ. 特別活動

- 集団活動に積極的に参加する態度を育てる。
- ひとりひとりの児童が、それぞれの個性を伸ばし、互いに協力し合って向上する集団の育成に努める。

(2) 生活指導の重点

- 安全指導の徹底をはかる。
- 望ましい生活習慣の育成に努める。
- 望ましい友だち関係の育成に努める。

6. 児童数

	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	計
学級数	2	2	2	2	2	2	12
男	37	29	33	26	30	24	180
女	25	41	26	29	32	22	174
計	62	70	59	55	62	46	354

7. 教職員

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	研究教科	そ の 他
1	星 野 武 之	49	校 長	48. 4. 1	経営国語	
2	大 熊 喜 一	45	教 頭	"	経 営	
3	栄 久 子	26	1-1	"	算 数	
4	成 井 朝 雄	45	1-2	"	体 育	施設部主任
5	斉 藤 イ グ	64	2-1	"	家 庭	給食部主任
6	上 田 憲 二	26	2-2	"	理 科	
7	嶋 貫 博	27	3-1	"	社 会	
8	舞 田 章 子	44	3-2	"	道 徳	保健主任
9	小坂橋 五佐男	45	4-1	"	算 数	教務主任
10	堀 内 美恵子	28	4-2	"	国 語	
11	田 森 詮	45	5-1	"	国 語	研究部主任

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	研究科目	そ の 他
1 2	加 藤 美知子	2 3	5－2	4 8. 4. 1	算 数	
1 3	小 室 恒	2 8	6－1	"	体 育	視聴覚主任
1 4	三 浦 勝 也	4 4	6－2	"	特 活	生活指導主任
1 5	池 田 宏 子	2 8	音 楽	"	音 楽	
1 6	岩 崎 正	3 3	図 工	"	図 工	
1 7	佐 藤 麻砂子	2 3	養 護	"	養 護	
1 8	吉 村 達 也	2 6	主 事	"	主 事	

8. 本校研究主題の推意

昭和48年度 学習環境の整備 ～学級経営の創意くふう～

9. 本校の特色

1 学級の児童数35名以下、全児童数35.4名、12学級の本校は、日野市における最小規模の学校である。

小規模校の特性を生かした学校づくりをめざして、日々の教育活動を続けている。

新設校のため、施設・設備は完備していないが、5月現在、プール建設が着工され、屋内体育館も年内しゅん工の予定である。

(1) 自然環境に恵まれている。

学校周辺は、区画整理進行中のため住民が少なく、畑地も点在し、灌木の群れも見られ、緑が多い。

南には多摩丘陵、西には奥多摩の山並、富士山等も眺められる、すぐれた自然環境である。

(2) 学校緑化の一環として、校庭に芝が植えられている。

この芝は、ティフトン芝といって、校庭用としてきわめて適切な芝だといわれている。5月現在、ほぼ活着し、緑の芽を伸ばしはじめている。将来、校庭一面芝の上で、自由に活動する児童の姿に思いを馳せている。

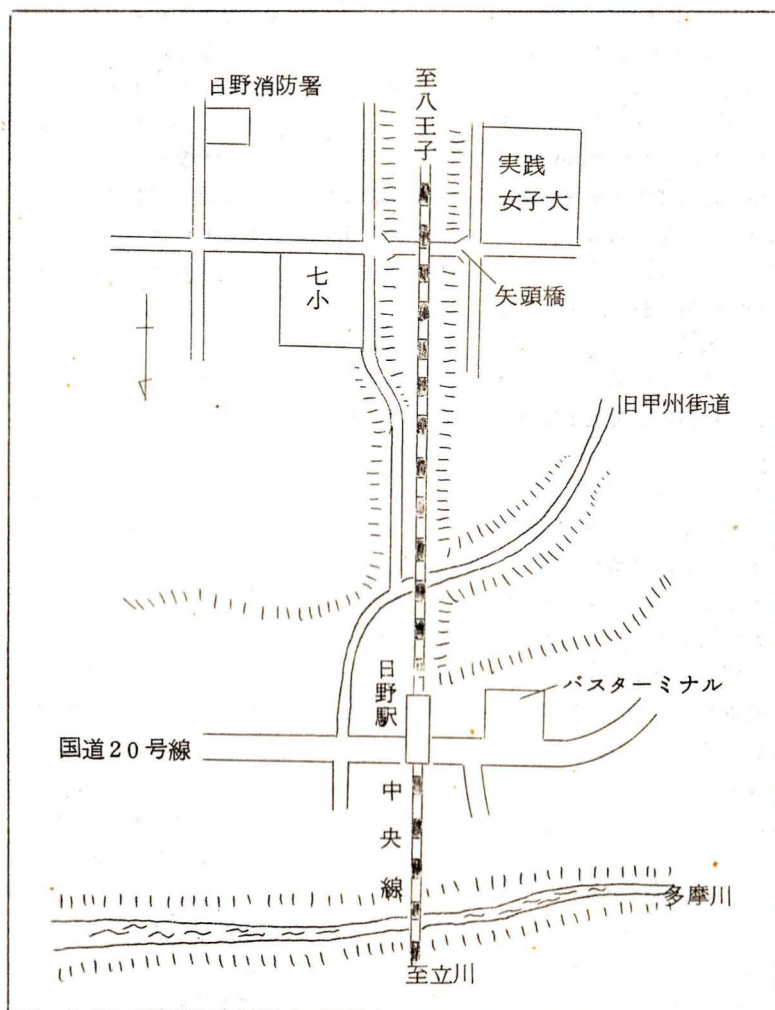
10. 都教育研究員、研究生出身歴

年 度	氏 名	教科領域	研究員、研究生別
昭和48年度	田 森 詮	国 語	研究員
" 4 5 "	小坂橋 五佐男	算 数	"
" 4 5 "	三 浦 勝 也	特別活動	"
" 3 8 "	斉 藤 イ ク	学校給食	"
" 3 6 "	星 野 武 之	生活指導	研究生(東大)
" 3 9 "	大 熊 喜 一	生活指導	" (")

1 1. 保護者の職業一覧

職 業	家庭実数	%	職 業	家庭実数	%
企 業 経 営 者	2	0.7	労 務 従 事 者	59	20.6
専 門・技 術 的 職 業	61	21.3	サ ー ビ ス 業 従 事 者	21	7.3
管 理 的 職 業	33	11.5	農 林 漁 業	0	0
小 企 業 者	28	9.8	そ の 他	9	3.1
事 務 的 職 業	74	25.4	無 職	1	0.3

1 2. 学校に至るまでの地図





学校名 日野市立日野第八小学校

所在地 日野市三沢200

電 話 0425-91-2411・2412

順 路 京王線高幡不動駅より東へ15分

校長氏名 岡 本 省 吾

教頭氏名 長 井 新次郎

1. 沿革の概要

昭和44年度

44. 1. 2 潤徳小学校の児童激増に伴い第八小学校開設が決定し、工事に着手した。

44. 4. 1 第八小学校の開設を9月1日と予定し、潤徳小学校において八小関係の教員並に児童を分離して編成し授業を開始した。

44. 8. 1 日野第八小学校が開設され金子武夫初代校長と長井新次郎教頭の二名が着任した。

44. 8.16 教員16名と事務職員1名が八小教諭ならびに事務主事に補せられた。

44. 9. 1 日野第八小学校が開校となり、八小関係児童に入学通知が出され、415名の児童が潤徳小より転入した。しかし校舎未完成のため移転できず、そのまま潤徳小で授業を行なう。

44.11. 1 開校式挙行 11月1日開校記念日と決定。

44.11.25 第八小学校落成式祝賀式挙行。

45. 1.15 公募により八小の校章決定

45. 3.25 第一回卒業式挙行
56名の卒業生を送る。

昭和45年度

45. 4. 1 1学級増の14学級となりプレハブ2教室増築。

45. 4. 6 第1回入学式を挙行し、94名の一年生を迎えた。

45. 5.28 PTA奉仕により校庭の植樹作業を行なう。

45. 6.15 今年度の校内研究の重点教科を体育と定め、毎月研究授業並びに研究会を行なった。

45. 7.15 日野第八小学校の校旗ができた。

47. 7.16 25m6コースの新プールが完成し、落成式並びにプール開きを行なう。

45. 9. 7 新校歌が完成し秋の大運動会で披露した。なお作詩は米津千之、作曲は渡辺浦人によるものである。

45.12.20 校地のまわりの棚が完成した。

46. 3.25 第2回卒業式挙行
67名の卒業生を送る。

昭和46年度

46. 4. 6 第2回入学式を挙行し、109名の一年生が入学した。

学校全体では1学級増の15学級となり、教師は1名増員となった。教室不足のため校舎東側にプレハブの教室を増築した。

46. 4.10 本年度より水、木の2日間を40分授業とし、業間体育並びに集会を行なうことにした。

46. 6. 4 本年度中に校舎施設、体育研究等に関する他県よりの本校参観

は7件にのぼった。

- 4 6. 7. 2 1 市の社会教育のための校庭解放が本年度より実施されることになった。
- 4 6. 9. 1 5 体育館工事が開始され、4 7 年 1 月 3 1 日に完成した。
- 4 6. 1 2. 3 日野市教育委員会研究協力校として「授業の効率を高める体育指導」というテーマで、練習カードの活用を中心に体育研究発表会を行なう。市及び市外の参加者約 1 0 0 名で盛会裡に終了した。
- 4 7. 2. 1 5 体育館落成式並びに祝賀会を挙行了した。
- 4 7. 3. 6 来年度の学級増に伴うプレハブ 2 教室が完成した。
- 4 7. 3. 2 5 第 3 回卒業式を新体育館において挙行し、五学年以上が参加した。5 9 名の卒業生を送る。

昭和 4 7 年度

- 4 7. 4. 6 第 3 回入学式を行ない、1 5 9 名の一年生が入学した。1 学級増の 4 学級となる。全校児童数は 6 8 1 名で、昨年より 3 学級増の 1 8 学級となった。プレハブ 5 教室使用。
- 4 7. 5. 9 今年度の研究テーマに「教材教具の活用」と「体育の練習カードの利用」をとりあげ、年間 1 5 回の研究会をもった。
- 4 7. 6. 2 0 南側丘陵地に 6 0 0 世帯の西武百草園団地ができたため、児童数が急増、年間約 2 5 0 名の転入者があった。
- 4 7. 9. 1 本校舎 8 教室の増築工事が開始され 4 8 年 3 月に完成した。
- 4 7. 1 0. 2 0 本校南側の程久保川(4 m)の改修工事がはじまり、4 8 年 5 月に完成した。
(巾 1 3. 5 m)

- 4 8. 3. 2 4 第 4 回卒業式を挙行し、9 4 名の卒業生を送る。

2. 歴代校長

氏 名

金 子 武 夫 昭和 4 4. 8. ~ 昭和 4 8. 3

岡 本 省 吾 昭和 4 8. 4 ~ 現 在

3. 地域の環境

- ・本校は京王線の高幡不動駅と百草駅のほぼ中間の北側にある。校舎は田園の真中にあり、大自然の中で子どもたちは自由にはばたいている。
通学区の最も遠いところは学校まで 4 0 分以上もかかる。
- ・4 ケ所の京王線踏切、年々交通量の増す川崎街道をかかえ、交通禍の危険にさらされているため、特に交通指導に力を入れ、地域でも事故防止に全力をあげている。
- ・父母の 7 0 % がサラリーマンで学校に協力的である。

4. 教育目標

個性が豊かで調和と統一のとれた人間形成をめざして、つぎのような子どもを育成する。

1. 健康でたくましい子
 2. 美しく、ゆたかな心の子
 3. 深く考え、やりぬく子
 4. 力を合わせ、はげみあう子
5. 本年度の努力点
- (1) きれいな学校
 - (2) 明るいあいさつ
 - (3) 正しいことば
6. 本年度指導の重点
- ・ 学習指導
 - (1) 教材教具を効果的に活用しながら授業研究を積み重ね、指導法、指導技術の向上をはかる。
 - ・ 生活指導
 - (1) 学校生活全体を通じて基本的な生活習慣を身につけさせる。
 - (2) 安全な生活態度の育成をはかる。
7. 児童数

	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	計
学級数	4	4	4	3	3	3	21
男	76	88	77	59	68	50	418
女	70	81	72	64	58	52	397
計	146	169	149	123	126	102	815

8. 教職員一覧

番号	氏 名	年令	担 当	本校就任年月日	教 科	そ の 他
1	岡 本 省 吾	53	校 長	s 4 8. 4. 1	経 営	
2	長 井 新次郎	50	教 頭	s 4 4. 8. 1	経営視聴覚	
3	飯 田 幸 次	51	1 の 1	s 4 4. 8. 1 6	算 数	教務主任
4	窪 田 千恵子	26	1 の 2	s 4 8. 4. 1	算 数	校外生活指導
5	秋 山 照 子	31	1 の 3	s 4 6. 4. 1	理 科	校外生活指導
6	渡 辺 和 子	31	1 の 4	s 4 8. 4. 1	家 庭	庶務係
7	市 川 子	44	2 の 1	s 4 7. 4. 1	教育相談	庶務主任
8	間 瀬 静 夫	26	2 の 2	s 4 8. 4. 1	社 会	児童会 クラブ活動
9	松 本 道 子	24	2 の 3	s 4 8. 4. 1	音 楽	教務 就学
10	中 川 元 美	31	2 の 4	s 4 7. 4. 1	理 科	給食 清掃
11	平 山 毅	40	3 の 1	s 4 5. 4. 1	道 徳	道徳主任 安全

番号	氏 名	年令	担 当	本校就任年月日	教 科	そ の 他
12	高 野 博 子	23	3-2	s 4 8. 4. 1	社 会	校内放送
13	後 藤 寿 子	30	3-3	s 4 8. 4. 1	体 育	図書 教材
14	小 島 由 子	25	3-4	s 4 7. 4. 1	算 数	安全教育
15	柳 沼 敏 男	47	4-1	s 4 4. 8.16	理 科	研究主任
16	伊 藤 フサ子	34	4-2	s 4 8. 4. 1	国 語	給食主任
17	三 浦 光 子	30	4-3	s 4 8. 4. 1	国 語	清掃美化
18	近 藤 正 晴	44	5-1	s 4 4. 8.16	国 語	保健主事
19	橋 本 允 子	32	5-2	s 4 5. 4. 1	体 育	図書主任
20	安 室 清 治	25	5-3	s 4 6. 4. 1	図 工	庶務 備品
21	佐 藤 章 吾	48	6-1	s 4 4. 8.16	社 会	生活指導主任
22	長 浜 和 子	31	6-2	s 4 4. 8.16	教育相談	教育相談 要保護
23	内 藤 康	39	6-3	s 4 4. 8.16	体 育	体育主任
24	小 島 シズ	60	図 工	s 4 4. 8.16	図 工	環境整備
25	池 田 康 雄	23	体 育	s 4 8. 4. 1	体 育	給食保健
26	森 川 琉 子	35	音 楽	s 4 4. 8.16	音 楽	校内放送
27	長 田 裕 子	37	家 庭	s 4 4. 8.16	家 庭	視聴覚主任
28	伊 佐 弘 江	39	養 護	s 4 4. 8.16	保 健	保健 出欠
29	郷 原 敦	29	事務主事	s 4 4. 8.16	学校事務	財務 経理

9. 本校研究主題の推移

昭和44年度	体育科の効果的指導法の研究
昭和45年度	授業の効率を高める体育指導
昭和46年度	日野市研究協力校をうけ、45年度の研究のまとめを行う。 研究テーマ 「授業の効率を高める体育指導」 〃 機械運動を中心にカードの作成と活用 〃
昭和47年度	○教材教具の効果的な活用 ○授業の効率を高める体育指導 練習カードの作成と活用
昭和48年度	○教材教具を効果的に活用する授業研究

10. 本校の特色

- (1) 「きれいな学校」これが本校の努力目標である。「環境は人をつくる」といわれるが、特に環境づくりに力を入れている。校章をかたどった花壇、顔がうつるくらいに磨きあ

げられた床などは自慢できる特色である。

- (2) みどりに包まれたすばらしい環境の中にありながら、体位体力は全国平均より劣っていた。そこで創立以来、「たくましいからだづくり」を目標にかかげ、体育の授業、業間体育などの研究に力を入れ、年々向上している。
- (3) 600世帯の西武団地の完成に伴ない、年間200名あまりの転入生があった。児童数は創立当時の2倍になり、なお増加中である。

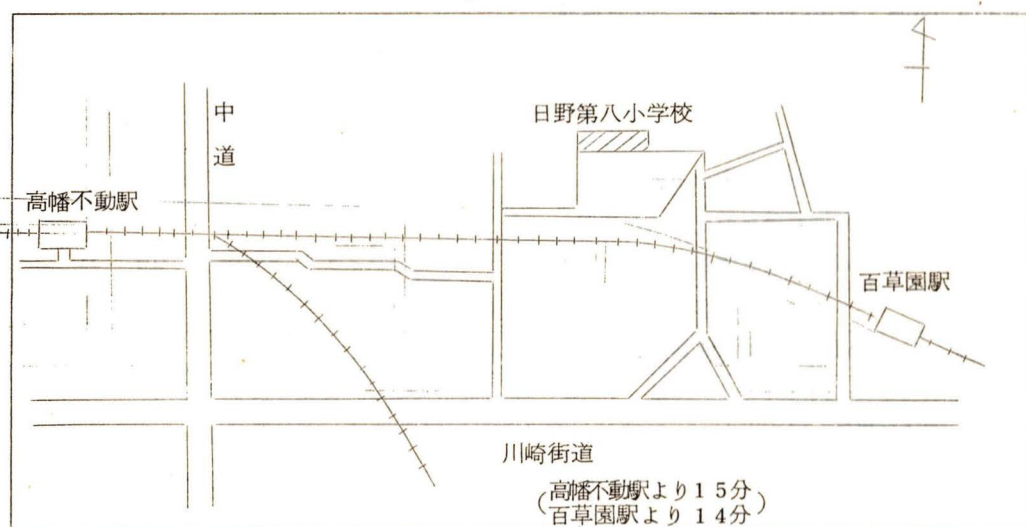
1 1. 都教育研究員

45年度	内 藤 康	「授業の効率を高める体育指導」
47年度	近 藤 正 晴	「疑問をもちながら読む読書指導」
48年度	平 山 毅	道 徳

1 2. 保護者の職業一覧

職 業 分 類	家庭実数	%	職 業 分 類	家庭実数	%
専 門 的 技 術 者	32	5	商 工 業 従 事 者	39	6
経 営 管 理 者	34	6	農 林 漁 業 従 事 者	16	3
一 般 事 務 従 事 者	319	51	サ ー ビ ス 業	10	2
公 務 員	51	9	そ の 他	12	2
保 安 サ ー ビ ス 業	9	1	無 職	5	1
運 輸 業	25	4			
技 術 従 事 者	66	10	計	618	100

1 3. 学校に至るまでの地図





学校名 日野市立百草台小学校

所在地 日野市百草 9 9 9

電 話 0 4 2 5 - 9 1 - 0 9 9 8

順 路 京王線高幡不動駅より百草団地行きバスにて
5 分 百草センター下車

校長氏名 村 田 安 正

教頭氏名 寺 崎 秋 光

1. 沿革の概要

- 4 4. 8. 校舎新築起工
- 4 4. 1 2. 1 日野市立潤徳小学校百草台分校として潤徳小校内で授業開始。
- 4 5. 4. 1 日野市立百草台小学校として新校舎に移転開校する。
学級数 8 . 児童数 1 1 8 .
教職員 1 6 . 市職員 3 .
- 4 5. 6. 1 開校式挙行、6 月 1 日を開校記念日とする。
- 4 5. 9. 1 高幡台団地の入居により児童数増加 2 9 6 名となり、
学級数 1 1 . 教職員 1 7 となる。
- 4 6. 3. 8 校旗、校歌発表会を開き 3 月 8 日を制定記念日とする。
- 4 6. 3. 2 5 第一回卒業式挙行
卒業生 3 4 名
- 4 6. 4. 1 社会増による教室不足のためプレハブ 6 教室増設
- 4 6. 4. 6 児童数 6 0 4 . 学級数 1 6 .
教職員 2 3 . 市職員 3 となる。
- 4 6. 4. 3 0 校地北側の埋立工事完了
- 4 6. 7. 3 1 プール工事完了、大プール
小プール、シャワー、更衣室、機械室等竣工
- 4 6. 1 2. 1 5 体育館新築工事着工
- 4 7. 1. 3 1 給食調理室および周辺の舗装工事竣工

- 4 7. 2. 1 2 調理室火入れ式挙行、
調理開始
- 4 7. 3. 2 5 第二回卒業式挙行
卒業生 4 4 名
- 4 7. 3. 3 1 高幡台小学校の新設にともなう学区変更により高幡台団地および周辺の児童は高幡台小学校へ転校。
- 4 7. 4. 1 高幡台小学校の新設により
児童数 4 1 6 . 学級数 1 2 .
教職員 1 8 となる。
- 4 7. 6. 1 7 体育館落成式挙行
- 4 8. 1. 3 1 図工室南側と北側に花だん竣工
- 4 8. 2. 1 投てき板が完成
- 4 8. 3. 1 7 校庭南の土手につつじ園が完成
- 4 8. 3. 2 4 第三回卒業式挙行
卒業生 4 3 名
- 4 8. 4. 6 児童数 4 6 3 . 学級数 1 3 .
教職員数 2 0

2. 歴代校長

氏 名	年 月	～	年 月
初代 岡 本 省 吾	4 5 年 4 月	～	4 8 年 3 月
2 代 村 田 安 正	4 8 年 4 月	～	現 在

3. 地域の環境

日野市の南東部にあって多摩丘陵に造成された百草団地がおもな学区域である。団地の内外とも起伏が多く、まわりはまだ緑が多く、静かで変化に富んだ高台である。

眼下には浅川がゆっくりと流れ、その向うには日野の市街に続いて立川まで一望に見渡すことができる。近くには多摩動物公園や百草園等があり、日曜日などは都塵をさけたリクリエーションの人々でにぎわう。

自然にいだかれたよい環境といえよう。

4. 教育目標

- 元気で じょうぶなこども
- 進進んで 働くこども
- よく考え 正しいことをやりぬくこども
- 思いやりがあり 助け合っていくこども

5. 指導の重点

各教科

考える力をつけるための授業に重点をおく。

道 徳

利己的なせまい考えをすてて、他人のことを思いやる精神を養い、その実践化をはかる。

特別活動

学習指導に重点をおき、指導計画の実践につとめる。

生活指導

集団生活のエチケットをきびしく教え、社会生活の秩序と協力の精神を養う。

6. 児童数

	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	計
学級数	3	3	2	2	2	1	13
男	52	67	38	38	25	19	239
女	47	46	45	27	26	21	212
計	99	113	83	65	51	40	451

7. 教職員

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	研究教科	そ の 他
1	村 田 安 正	51	校 長	48.4.1	経 営	
2	寺 崎 秋 光	49	教 頭	45.4.1	経 営	
3	阿 部 二三子	25	1-1	46.4.1	国 語	給 食
4	田 中 鈴 子	25	1-2	48.4.1	国 語	庶 務
5	村 松 徹 二	46	1-3	46.4.1	理 科	教 務
6	菊 池 悦 子	32	2-1	45.9.1	国 語	庶 務
7	荻 沢 モト子	46	2-2	45.4.1	図 工	庶 務
8	幸 野 嘉 子	47	2-3	46.4.1	算 数	環 境

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	研究教科	そ の 他
9	肥 高 重 男	46	3-2	46.4.1	社 会	給 食
10	信 夫 頼 子	28	3-3	46.4.1	図 工	庶 務
11	安 田 春 信	29	4-1	48.4.1	体 育	給 食
12	中 川 和 代	24	4-2	46.4.1	体 育	庶 務
13	石 川 輝 子	40	5-1	45.4.1	体 育	給 食
14	根 上 節 子	26	5-2	45.4.1	国 語	環 境
15	佐久間 久美子	42	6-1	45.4.1	家 庭	教 務
16	稲 垣 昌 子	31	音 楽	45.4.1	音 楽	環 境
17	佐 藤 カズ子	27	図 工	45.4.1	図 工	庶 務
18	斉 藤 茂	42	組合専役	45.4.1		
19	佐々木 加津子	41	養 護	45.4.1	保 健	庶 務
20	浜 田 洋 一	32	事 務	48.4.1		事 務

8. 本校研究主題の推移

昭和46年度………作文指導の系統

昭和47年度………作文の力をのばす指導

昭和48年度………考える力をつけるための授業

9. 本校の特色

在学児童のおよそ95パーセントが住宅公団百草団地から通学する児童であり、いわゆる団地学校である。そのため通学路は整備され、専用の遊歩道が通学路となり、安全性は極めて高い。しかし反面学区域がせまく、変化をもとめ、土のにおいに無限の魅力を感じているのが本校児童の実態である。

開校以来3年を経過したが、児童数の増加がはげしく、すでに高幡台小を分離し、さらに毎年3学級増の見込みで、数年先には、30学級から36学級で、児童数1300人をこえる大規模校となる見通しである。激変する本校では、教育上の内容、環境ともに数年先を見こした教育計画（長期計画とよんでいる）の充実が急務となっている。

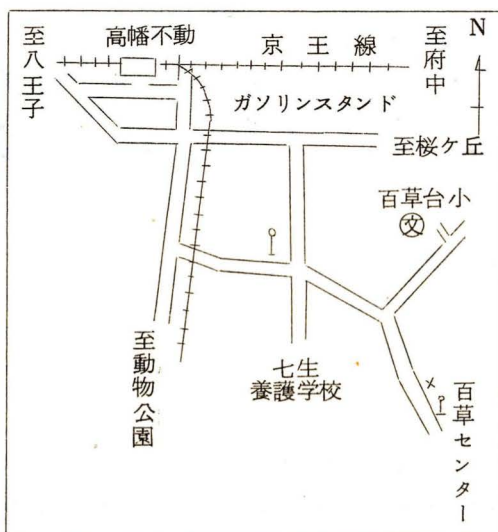
10. 都教育研究員、研究生歴

区 分	年 度	教 科	氏 名	学 校
		(本校での該当なし)		
研究員	41年度	理 科	村 松 徹 二	調布一小

1 1. 保護者の職業一覧

職 業	自 由 業				勤 め 人				無 職
	商 業	工 業	自由業	その他	会社員	公務員	各種法人	その他	
%	1.2	0.6	3.3	0.9	67.6	15.4	6.0	4.7	0.3

1 2. 学校に至るまでの地図





学校名 日野市立滝合小学校

所在地 日野市西平山2の3の1

電話 0425-83-5172・5173

順路 京王線 平山城址公園駅下車徒歩10分

校長氏名 峰 岸 敬次郎

教頭氏名 磯 川 豊 一

1. 沿革の概要

昭46. 4. 1 平山2720番地に開校

(学校長 峰岸敬次郎

児童728人 20学級)

46. 6. 1 開校記念日

46.12. 1 校章、校歌制定

47. 2.25 落成式挙行

2. 歴代校長

峰 岸 敬次郎 昭46.4.~現在

3. 地域の環境

(1) 浅川の北側に点在する静かな農家をはさんで浅川より平山団地、中央線沿いに鉄道官舎が並び、新旧入りみだれた景観をもっているのが本校の学区である。

(2) 中央線北側の住宅地域も1部分学区域に加わり、田んぼに囲まれた学校付近とは相対した様相をなしている。しかし、学校西側には宅地造成も始まり、やがて住宅に囲まれた学校に生まれ変わるであろう。

4. 教育目標

(1) 健康でたくましい子ども

(2) 勉強に努力する子ども

(3) 進んで協力し実行する子ども

(4) 生きものをたいせつにする子ども

5. 指導の重点

(1) 各教科

ア. 特別教室、資料室等の利用を有効に

教材教具を効果的に使用する指導法の研究をする。

イ. 授業研究を自主的におし進め、児童ひとりひとりに理解と愛情のゆきとどいた質の高い授業をめざす。

(2) 道 徳

ア. 人命はもちろん、動植物の生命を尊重し、それに基づく、健康の増進と安全教育に努力する。

イ. たがいに信頼し、協力し合い、実践活動を重視する。

ウ. やさしい心をもって、動物や植物を愛護する。

(3) 特別活動

ア. 生活指導、保健、給食指導等と密接な連絡のもと、本活動を進める。

イ. 「生きものをたいせつにすることも」「健康でたくましい子ども」の教育目標を達成するための活動を行なう。

(4) 生活指導の重点

ア. 特別活動、保健、給食指導等と緊密な連絡をとり、指導計画を立てる。

イ. 学校と家庭の連絡を密にして、安全対策、生活指導を進める。

ウ. 自分の所有物から学校の建築物等にいたるまで、ものをたいせつにする

習慣の形成をはかる。

6. 児童数

	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	計
学級数	5	5	5	4	3	3	25
男	105	104	94	88	63	56	519
女	96	100	91	62	64	55	468
計	201	204	185	150	127	111	978

7. 教職員

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	研究教科	そ の 他
1	峰 岸 敬次郎	59	校 長	46.4.1	経 営	
2	磯 川 豊 一	59	教 頭	46.4.1	経 営	
3	鈴 木 ナ オ	53	1-1	47.4.1	算 数	保 健
4	野 村 るり子	23	1-2	48.4.1	算 数	生 活 指 導
5	内 藤 洋 子	30	1-3	48.4.1	算 数	児 童 活 動
6	熊 谷 三 起	50	1-4	46.4.1	図 工	給 食
7	榎 圭 子	27	1-5	48.4.1	国 語	保 健
8	伊 礼 道 子	32	2-1	46.4.1	図 工	給 食
9	岩 尾 照 夫	45	2-2	48.4.1	算 数	指 導 要 録
10	小笠原本 江	32	2-3	46.4.1	国 語	教 育 相 談
11	小 林 桂 子	23	2-4	48.4.1	算 数	給 食
12	塚 本 純 子	29	2-5	46.4.1	図 工	教 科 書
13	橋 本 清	48	3-1	46.4.1	体 育	生 活 指 導
14	赤 松 昭 子	30	3-2	46.4.1	理 科	児 童 厚 生
15	渡 辺 か ほ	38	3-3	46.4.1	国 語	図 書 館
16	柿 沢 鎮 子	44	3-4	46.4.1	道 徳	転 出 入
17	村 越 正	38	3-5	46.4.1	理 科	児 童 活 動
18	清 水 輝 夫	57	4-1	46.4.1	道 徳	教 務
19	小 原 都	25	4-2	46.4.1	体 育	出 席 統 計
20	秋 野 美都子	27	4-3	46.4.1	音 楽	児 童 活 動
21	西 田 敦 子	35	4-4	46.4.1	国 語	図 書 館
22	山 口 武 彦	42	5-1	46.4.1	社 会	補 教
23	溝 口 達 男	26	5-2	46.4.1	体 育	視 聴 覚
24	川 井 龍 介	30	5-3	46.4.1	理 科	児 童 活 動
25	伊 藤 恵 次	48	6-1	46.4.1	社 会	教 務

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	研究教科	そ の 他
26	愛 甲 秀 人	26	6-2	47.4.1	体 育	視 聴 覚
27	川 上 美穂子	37	6-3	46.4.1	国 語	学 校 だ よ り
28	鳥 飼 改 喜	50	図 工	46.4.1	図 工	職 員 研 修
29	岡 田 あつ子	24	音 楽	47.4.1	音 楽	公 文 書
30	馬 場 昌 子	54	家 庭	46.4.1	家 庭	教 科 書
31	田 島 佳 子	32	保 健	46.4.1	養 護	保 健
32	藤 井 悦 子	26	事 務	47.4.1	事 務	会 計

8. 本校研究主題の推意

昭和46年度

教材教具を授業にもっとも有効適切に生かすには、その整備及び活用をどうしたらよいか。

昭和47年度

特別教室、資料室等の利用を有効に、教材教具を有効的に使用するよう指導法の研究をする。

昭和48年度

授業研究を自主的におし進め、児童ひとりひとりに理解と愛情のゆきとどいた質の高い授業をめざす。

9. 本校の特色

- (1) 校地面積21.391 m^2 という中学校なみの広さに、二の字型のA棟B棟と音楽、図工室は各2を備え、市のモデル校的存在になっている。
- (2) 健康でたくましい子ども、生きものをたいせつにする子ども、の二つを重点教育目標としてとりあげ、前年度体力測定2回、全児童1鉢栽培等を行ない、本年度もこの線にそって研究を進めようとしている。
- (3) 児童は全般的に素朴、純情、素直さ等の美点をもつ反面、粗野、粗雑な面があり、物をこわしたり、草花をいためたりすることをあまり気にしない児童もいる。

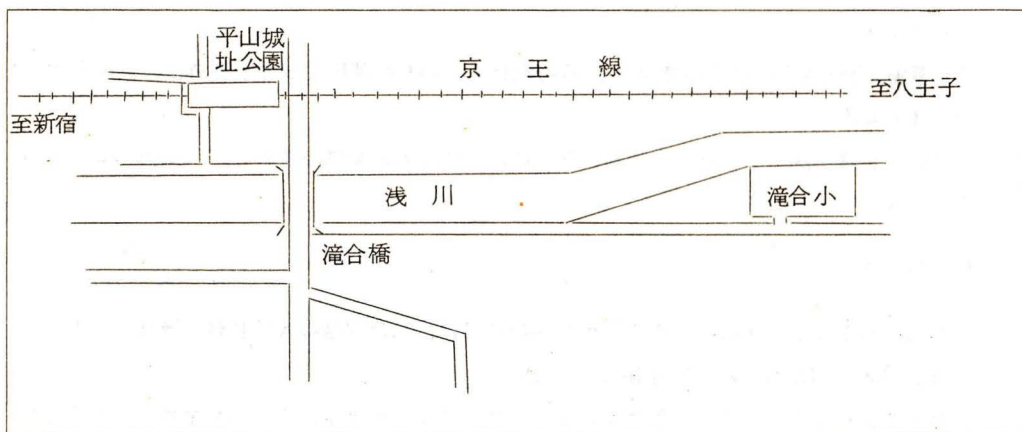
10. 都教育研究員、研究生の出身歴

年 度	氏 名	教科領域	研究員、研究生別
昭和46年度	山 口 武 彦	社 会	都研究員
昭和47年度	山 口 武 彦	社 会	都研究生
昭和43年度	岩 尾 照 夫	算 数	都研究生(学芸大)

1 1. 保護者の一覧表

職 業	家 庭 数	%	職 業	家 庭 数	%
農 業	3	0.4	会 社 員	491	61.8
工 業	11	1.4	医 師	5	0.6
商 業	35	4.4	公 社 職 員	79	10.0
運 輸 交 通 業	36	4.5	そ の 他	39	4.9
国 家 公 務 員	12	1.5	無 職	8	1.0
地 方 公 務 員	75	1.4	計	794	99.9

1 2. 学校に至るまでの地図





学校名 日野市立高幡台小学校

所在地 日野市程久保550

電話 0425-91-7011

順路 京王線高幡不動駅より百草団地行きバスにて
5分 高幡台団地下車

校長氏名 平 松 健太郎

教頭氏名 渋谷 義一

1. 沿革の概要

昭46. 8. 7 校舎新築工事起工

47. 3.10 校舎完成

47. 4. 1 日野市立高幡台小学校として
開校。

鉄筋三階建校舎 普通教室12

特別教室4 特別室9

学級数12 児童数402名

教職18名 市職員2名

47. 5.27 高幡台小学校PTA設立総会

47. 6.24 開校式

本日を開校記念日とする。

47. 8. 1 プール完成プール開き挙行

48. 2.24 校旗、校歌制定

2. 歴代校長

氏 名

平 松 健太郎 昭47.4.1～現在

3. 地域の環境

日野市の南東部の多摩丘陵に造成された高幡台団地がおもな学区である。高幡台団地は5階～11階の高層鉄筋住宅で、歩行者通路と車道が分けられていたり、郵便局、ショッピングセンターが住宅内にあるなど住み良く作られている。団地のまわりには緑の森林をめぐらし、西方には丹沢、関関東山地の山々を越えて富士が望まれ、北西方には日野市街、日野台、八王子市街から遠く秩父の山々が連っている。学校およ

び団地から眺められる景観はまことに美しくかつ壮大である。

近くには、多摩動物園、百草園、高幡不動があり、都民に親しまれている。住宅街の近くには田畑も残っていて、農耕にいそしむ農家の人々もあり、静かなよい環境といえる。

4. 教育目標

(1) 学校の教育目標

個性豊かで調和と統一のとれた人間形成をめざしてつぎのような子どもを育成する。

- ・よく考え、自分からやりぬくこども
- ・あたたかい心で 助け合うこども
- ・働くことのすばらしさを身につけたこども
- ・健康で明るいこども

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

学校の教育目標を児童の発達段階にあわせて、学年（学級）目標におろし、日々の学習が学校の教育目標に効果的に結びつくよう計画実践する。

指導の重点を「あたたかい心で助け合う子ども」とし、特別委員会を組織し研究実践につとめる。

事務の合理化をはかり、職員研修につとめる。

5. 指導の重点

教 科

ひとりひとりがわかる学習をするために指導法をくふうする。

みんなが助け合って楽しく学習できるよう学級経営をくふうする。

道 徳

「あたたかい心で助け合う子ども」をつくる主題に重点をおき指導する。

特別活動

クラブ活動、児童会活動等の児童活動において、他学年と交流し、助け合う心を育てる。

学級会活動および学級指導で協調性を育てるようくふうをする。

生活指導

情操豊かな子どもを育てるための方法を検討し、実践につとめる。

休み時間、放課後などの集団の遊びの中で、助け合う子どもをつくる方法を考え実践する。

6. 児童数

	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	計
学級数	4	3	3	2	2	2	16
男	65	49	55	32	30	19	250
女	71	47	48	30	26	27	249
計	136	96	103	62	56	46	499

7. 教職員

*年令は49.3.31現在

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	研究教科	校 務 分 掌
1	平 松 健太郎	49	校 長	47.4.1	社 会	
2	渋谷 義 一	46	教 頭	47.4.1	理 科	
3	末 継 逸 夫	48	1-1	47.4.1	社 会	教務主任
4	江 川 真知子	23	1-2	48.4.1	図 工	給食
5	本 間 幸 子	24	1-3	48.4.1	道 徳	教育相談
6	青 柳 佳 子	28	1-4	47.4.1	体 育	行事
7	中 村 笙 子	31	2-1	47.4.1	音 楽	図書館
8	早 福 愛 子	25	2-2	47.4.1	算 数	教科書
9	渋谷 範 子	26	2-3	47.4.1	国 語	教育相談
10	平 川 園 子	24	3-1	47.4.1	国 語	教務
11	増 田 静 香	24	3-2	47.4.1	国 語	教科書
12	安 西 利 江	30	3-3	47.4.1	算 数	特別活動
13	佐 藤 慎 一	23	4-1	48.4.1	体 育	給食

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	研究教科	校 務 分 掌
14	村 越 裕 子	37	4 - 2	47. 4. 1	国 語	給 食
15	土 方 邦 男	28	5 - 1	47. 4. 1	体 育	行 事
16	岡 江 フミ子	24	5 - 2	47. 4. 1	社 会	給 食 主 任
17	岡 善 実	43	6 - 1	48. 4. 1	社 会	生 活 指 導 主 任
18	赤 井 光 子	27	6 - 2	47. 4. 1	理 科	庶 務
19	飯 島 光 子	24	理 科	48. 4. 1	理 科	庶 務
20	河原田 桂 子	41	音 楽	47. 4. 1	音 楽	視 聴 覚
21	辻 田 六 郎	59	図 工	47. 4. 1	図 工	給 食
22	細 井 聖 子	48	養 護	47. 4. 1	保 健	保 健
23	石 田 義 一	39	事 務	47. 4. 1	事 務	事 務

8. 研究主題の推意

47年度 資料の整備と活用

48年度 「あたたかい心で助け合う子ども」の育成について

9. 本校の特色

- ・団地校であることから、家庭の生活程度が平均していて、児童の知能程度も比較的高い。
反面に閉鎖的で協力的な面が欠けるので「あたたかい心で助け合う子ども」の育成を目ざして研究を進めようとしている。
- ・開校二年目で整備されていない面が多く、将来の校舎増築などとも関連して、継続的、計画的な校内の環境整備が望まれている。一つずつ整備につとめている。

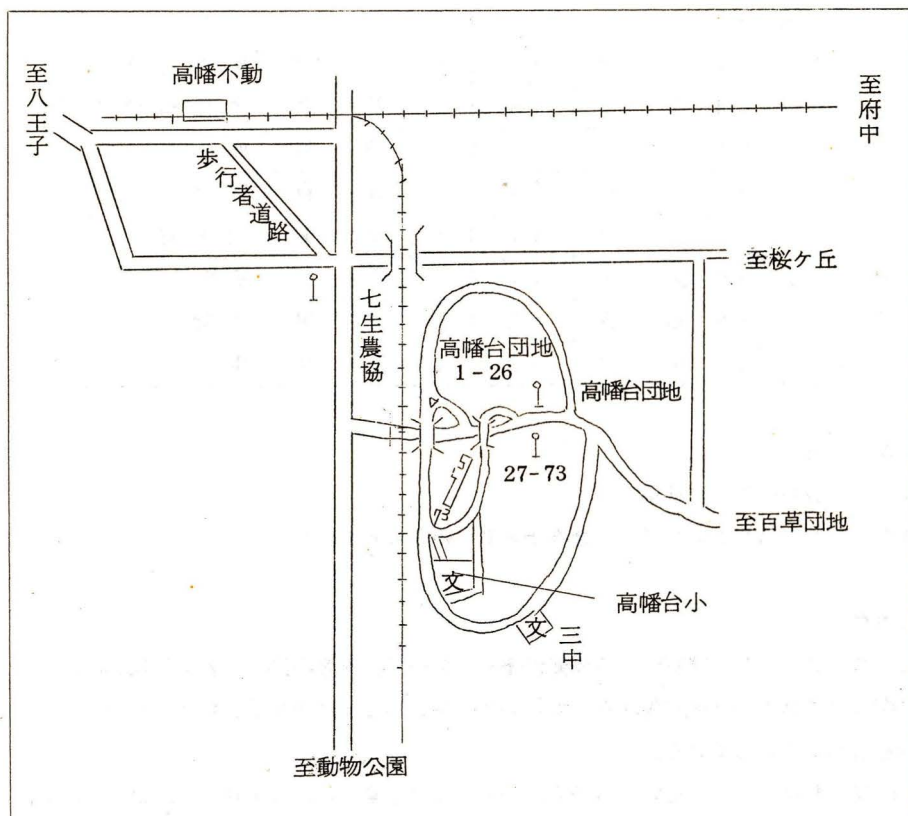
10. 都教育研究員、研究生の出身歴

年 度	氏 名	教科領域	研究員、研究生別
昭和40年度	末 継 逸 夫	特殊教育	研究員
昭和41年度	渋谷 義 一	理 科	研究員
昭和42年度	渋谷 義 一	理 科	研究生

11. 保護者の職業一覧

職 業	家 庭 数	%	職 業	家 庭 数	%
会 社 員	282	68	各 種 技 師	14	3
公 務 員	42	10	会 社 役 員	11	3
教 員	12	3	団 体 職 員	3	1
運 輸	11	3	そ の 他	11	3
工 員	4	1	計	413	100
自宅商・自宅工	13	3			
報道道関係	10	2			

1 2. 学校に至るまでの地図





学校名 日野市立日野第一中学校

所在地 日野市日野2614

電話 0425-81-0009

順路 国電日野駅下車徒歩10分

校長氏名 安部 達郎

教頭氏名 佐野 和夫

1. 沿革の概要

- 昭22. 4.30 公立中学校として設置認可、
日野中学校と称する。
23. 3.24 第一回卒業式挙行（卒業生
43名）
24. 4. 1 校歌制定
29. 4. 1 校名を日野第一中学校と改称
30. 9. 1 校舎裏田園4,000坪買収、運
動場拡張
32. 3.22 校旗制定
37. 1.17 標準服実施の決定、37年度
より実施
37. 9.17 新校舎（鉄筋防音）落成
38. 9. 9 プール落成
- 38.11. 3 日野市制施行、市立日野第一
中学校となる。
39. 5. 1 特別教室完成
41. 7. 1 体育館落成
- 42.11. 4 二十周年記念式典挙行
- 44.10.19 救助袋5個取付
- 44.10.23 プレハブ校舎完成
46. 6.30 校庭夜間照明灯設置
（社会教育）
47. 2. 4 井戸水を市水道に切替え
47. 2.29 体育館への渡り廊下建設
48. 3.10 校舎増築（普3特別2）完成
特別教室への渡り廊下完成
48. 3.17 第26回卒業式挙行
（卒業生274名、通算6838名）

2. 歴代校長

- 初代 町田勘之助 昭22. 4~昭25.9.（死去）
- 2代 飯塚 節三 25.10~ 37.3.
- 3代 大沢 彰 37. 4~ 40.3.
- 4代 大沢 量作 40. 4~ 45.3.
- 5代 安部 達郎 45. 4~ 現在

3. 地域の環境

日野市の東部、多摩川と浅川の合流する
第四紀沖積層の低地に当り、水の便よく水
田が発達し甲州街道ぞいの宿場町として栄
えて来た。近年郊外の住宅、工場（羽田ヒ
ューム管、雪印乳業、オリエント時計）、
特に中小企業、家内工業、商業が多く、近郊
郊農業もみられる。

なお、日野市の中心地区として、市役所
警察署、郵便局、消防署等が置かれ、他に
農林省、水産（淡水）研究所、蚕業研究所
がある。

4. 教育目標

わたしたちは、ひとりひとりを尊重し、
真理と平和を求める人間となるために学び、
希望に満ちた社会をめざしてつぎの目標を
定めます。

1. よく考え、やりぬく人（主体性）
2. 協力し、全体につくす人（連帯性）
3. 心豊かで、思いやりのある人（人間性）
4. 進んで、心身をきたえる人（健康）

5. 教育目標達成のための基本方針と指導の重点

(1) 基本方針

教育内容の組織 思考力や創造力の育成をめざし、基本事項の精選、集約化をはかる。

授業時数の配当 自主的な態度、社会連帯の精神、豊かな心情と積極的な体力の育成をめざし、特別活動、音楽、美術は、標準時数以上を実施する。

指導方法 自発的態度を助長し、思考力を育成するため、表現や発表の機会を常にとり入れる。

諸 諸 条 件 の 整 備 教育内容の組織化と効率化をめざし、教育機器の活用を検討する。

(2) 指導の重点

① 各教科

積極的に学習する姿勢を育てる。

発表の場や表現の機会を多くする。

学習の計画を立てさせ、復習、予習の習慣をつける。

よく考える態度を養い、学力伸長をはかる。

指導内容の精選、指導法の改善に努める。

② 道 徳

ひとりひとりを尊重する態度を養う。

きまりを守り行動する態度を伸ばす。

感謝する気持を育てる。

③ 特別活動 教師の指導態勢を十分整え、自発的、自律的活動を伸ばす。

生徒活動 ○ クラブ活動に参加し、自主的な活動を伸長する。

○ 学級の基盤に立った生徒会活動、委員会活動を重視し、自主的な活動を伸長する。

学級活動 ○ 望ましい人間関係を育て、健全な生活態度を形成する。

学校行事 ○ 活動の場を明確にし、自主性を育てる。

6. 生徒数

	1 年	2 年	3 年	し あ わ せ 学 級			計
				1 年	2 年	3 年	
学級数	7	7	7	1		1	23
男	137	156	147	4	7	5	456
女	160	118	129	3	1	5	416
計	297	274	276	7	8	10	872

7. 教職員

番号	氏 名	年令	担 任	本 就 任 年 月 日	校 担任教科	分 掌 ・ そ の 他
1	安 部 達 郎	53	校 長	45. 4. 1		
2	佐 野 和 夫	46	教 頭	47. 4. 1	技 術	
3	星 勝	36	1 A	46. 4. 1	音 楽	生活指導主任
4	内 堀 範 子	28	1 B	47. 4. 1	英 語	教務部時間割係
5	大 山 裕 子	27	1 C	46. 4. 1	社 会	生活指導部生徒会係
6	萩 原 晃	37	1 D	48. 4. 1	理 科	生徒指導部生活係
7	長谷川 忠 男	41	1 E	48. 4. 1	数 学	研究部主任
8	五十嵐 公 恵	42	1 F	38. 4. 1	国 語	図書視聴覚部図書係
9	簡 井 ハ ル	53	1 G	45. 4. 1	家 庭	教務部教務企画係
10	羽 生 幸 一	41	1 年 所 属	45. 4. 1	国 語	1年主任,生徒指導部生徒会係
11	望 月 慎 吾	43	"	42. 4. 1	社 会	保健給食部
12	山 本 節 子	34	"	41. 4. 1	数 学	教養部学籍記録係
13	伊 藤 利 子	29	"	46. 4. 1	保健体育	生徒指導部安全係
14	黒 木 利 武	47	"	45. 4. 1	英 語	事務部主任
15	山 田 茂 徳	27	1年しあわせ学級	48. 4. 1	特殊教育	生徒指導部生徒会係
16	阿 藤 貞 夫	37	2 A	44. 4. 1	保健体育	保健主事、保健部主任
17	宮 田 和 子	43	2 B	48. 4. 1	理 科	生徒指導部クラブ係
18	市 塚 正 史	42	2 C	42. 4. 1	数 学	2年学年主任、研究部
19	阿 部 敬	46	2 D	43. 4. 1	音 楽	教務部教務庶務係
20	渡 辺 礼 子	38	2 E	41.10. 1	英 語	保健給食部
21	福 島 良 樹	26	2 F	47. 4. 1	理 科	生徒指導部安全係
22	大 貫 米 子	42	2 G	44. 4. 1	国 語	教務部学籍記録係
23	宇津木 十四男	48	2 年 所 属	47. 4. 1	国 語	図書視聴覚部図書係
24	天 野 義 雄	41	"	46. 4. 1	社 会	教務部主任
25	逸 見 敏	37	"	46. 4. 1	美 術	教務部教務庶務係
26	山 賀 典 雄	45	"	47. 4. 1	技 術	教務部時間割係
27	笠 井 素 子	38	2年しあわせ学級	43. 4. 1	特殊教育	事務部
28	大 山 正 昭	44	3 A	47. 4. 1	英 語	図書視聴覚部主任
29	土 屋 智恵子	26	3 B	47. 4. 1	美 術	図書視聴覚部視聴覚係
30	宮 田 隆	25	3 C	48. 4. 1	保健体育	生活指導部クラブ係
31	星 貞 裕	24	3 D	48. 4. 1	理 科	教務部時間割係
32	福 井 温 子	47	3 E	42. 4. 1	国 語	教務部教務企画係
33	岡 田 文 彦	34	3 F	44. 4. 1	数 学	教務部時間割係

番号	氏 名	年令	担 任	本 校 就任年月日	教科担任	分 掌 ・ そ の 他
34	立 川 泰 司	46	3 G	47. 4. 1	理 科	保健給食部
35	山 浦 宏	49	3 年 所 属	45. 4. 1	社 会	3 年学年主任, 研究部
36	真 船 治 美	39	"	45. 4. 1	保健体育	生徒指導部美化係
37	蓑 輪 博 美	26	"	48. 4. 1	家 庭	事務部
38	釣 澄 江	25	"	45. 4. 1		養護担当教諭
39	森 田 寿 子	54	3 年しあわせ学級	43. 4. 1	特殊教育	特殊学級主任, 保健給食部
40	長 沢 三 郎	48		27. 4. 16	数 学	
41	武 藤 保	58	主 査	45. 4. 1		事務室主任
42	神 田 長 美	41		4. 1	数 学	産休補助教員
43	五十嵐 邦 享	42		46. 4. 1		充当指導主事
44	後 藤 春 樹	67		48. 4. 1	技 術	非常勤講師
45	佐々木 玲 子	31		48. 4. 1	社 会	"
46	村 上 英 樹	29		48. 4. 1	音 楽	"
47	藤 崎 隆 司	23		48. 4. 1	保健体育	"
48	北 村 推 子	26		48. 4. 1	保健体育	"
49	田 本 徹	36		48. 4. 1	音 楽	特殊学級非常勤講師

8. 本校研究主題の推移

昭和41年度	本校生徒の学力と学習適応性
昭和42年度	基礎学力の充実とその効果的指導法
昭和43年度	小集団活動を通しての学級づくり
昭和44年度	小集団活動を通しての学級づくり
昭和45年度	新指導要領はどのように変わるか(教科について)
昭和46年度	新指導要領はどのように変わるか(教科以外について)
昭和47年度	特別教育活動の指導のありかた
昭和48年度	教科における指導法の改善について

9. 本校の特色

かけられた教育目標の具現化の一つとして、昨年度来、次の二点に特に意を用いている。

- (1) 教科における指導法の改善について 学習の意欲を高め、よく考える態度を養う
をテーマに授業研究にとりくんで二年目。他校参観や校内での授業研究をもとに、
資料の収集や整理につとめている。
- (2) 情操の育成を図るために、教室・廊下などの掲示指導に意を用い、また、校舎内外の美化のために全校いっせいに清掃を実施している。登下校時間の厳守には、教師・生徒会が一体となってつとめている。

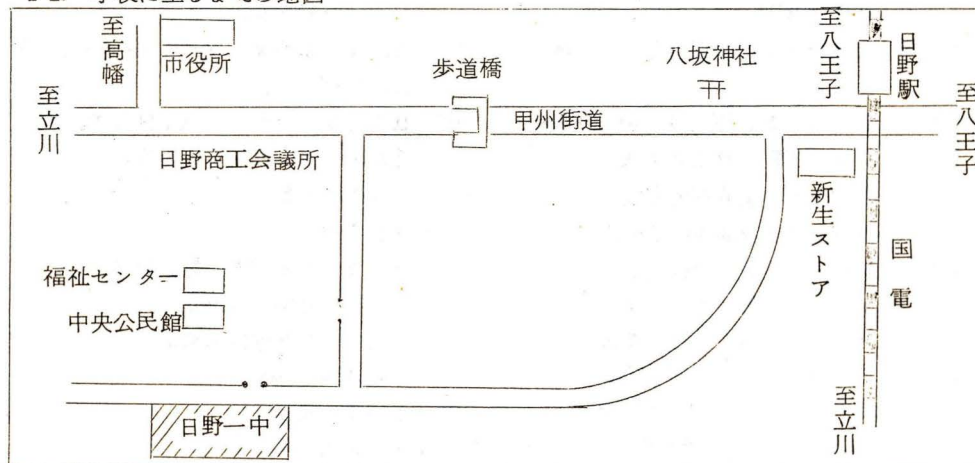
1 0. 都教育研究員・研究生の出身歴

年 度	氏 名	教科領域	研究員・研究生別
昭和32年度	御子柴 昭 治	社 会	研究員
昭和42年度	河 野 寿 忠	理 科	"
昭和42年度	富 士 堯	特 活	"
昭和44年度	市 塚 正 史	数 学	"
昭和46年度	飯 島 利 三	技 術	"
昭和46年度	岡 田 文 彦	進路指導	"
昭和46年度	富 士 堯	理 科	研究生（都研）
昭和47年度	市 塚 正 史	教育方法	研究員
昭和48年度	阿 藤 貞 夫	保 体	"
昭和35年度	佐 野 和 夫	職 業	研究員（豊島区高田中）
昭和43年度	立 川 泰 司	特 活	"（八王子市横山中）
昭和43年度	長谷川 忠 男	数 学	"（福生市福生一中）
昭和46年度	萩 原 晃	特 活	"（墨田区両国中）

1 1. 保護者の職業一覧

職 業	人 数	%	職 業	人 数	%
専門的，技術的職業	59	6.8	技 能 的 職 業	288	3.3
管 理 的 職 業	75	8.6	運 輸 ・ 通 信 の 職 業	82	9.4
事 務 的 職 業	188	21.6	サ ー ビ ス 的 職 業	50	5.7
販 売 的 職 業	43	4.9	無 職 そ の 他	29	3.3
農 業 ・ 漁 業	58	6.7	計	872	100

1 2. 学校に至るまでの地図





学校名 日野市立日野第二中学校

所在地 日野市多摩平4丁目5の2

電話 0425-81-0056

順路 中央線豊田駅下車 徒歩10分

校長氏名 飯田 卯吉

教頭氏名 長谷川 辰美

1. 沿革の概要

- 昭29年 設立認可、開校式、入学式
(生徒200名)
第二期工事八教室増築落成
- 昭31年 第三期工事竣工落成
- 昭32年 第一回卒業式(卒業生204名)
- 昭33年 校旗、校歌制定
- 昭34年 産業教育研究校に指定される。
- 昭35年 特別教室(工作、調理、理科)
竣工落成
- 昭36年 第二期特別教室竣工
産業教育研究発表会、修学旅行
研究発表会
- 昭37年 プール竣工落成
- 昭38年 保健体育研究発表会
- 昭39年 普通教室3教室竣工、創立10
周年記念式典挙行
- 昭40年 体育館竣工
- 昭41年 防音校舎第一期工事完成(6教室
室)
- 昭42年 防音校舎第二期工事完成(18教室
プール用更衣室工事完成)
- 昭43年 南校舎前、境栽花壇完成
体育倉庫と校庭用便所完成
- 昭44年 プール専用便所一棟完成
プレハブ一棟(2室)増設
- 昭45年 プレハブ一棟(2室)増設
- 昭46年 プレハブ一棟(2室)増設
- 昭47年 プレハブ二棟(10室)増設
- 昭48年 四中新設のため34学級より
25学級に縮小

2. 歴代校長

- 初代 橋本 貫一 昭29. 331~30. 930
- 二代 増山 恒昭 30.10. 1~41. 3. 1
- 三代 飯田 栄一 昭41. 4. 1~46. 3.31
- 四代 河村 俊一郎 昭46. 4. 1~48. 3.31
- 五代 飯田 卯吉 昭48. 4. 1~現在

3. 地域の環境

学区は3000世帯を収容する多摩平公団住宅を中心に日野五社勤務者の居住する住宅がこれを取りまき、東南部になお農業地域を残し、本校は多摩平公団住宅のほぼ中央に位置している。

4. 教育目標

教育基本法第一条の精神にのっとり

- (1) 自ら進んで計画し、実践する自主自立の人間を育成する。
- (2) 自分自身を尊ぶと共に、他人を尊重する敬愛の精神を養う。
- (3) 進んで学ぶ態度を伸長し高い知能と情操豊かな精神を養う。
- (4) 仕事を愛し、ねばり強く健康で、責任を重んずる社会人を育成する。

5. 本年度指導の重点

・学習指導

自ら学びとる学習の態度を育成し、基礎学力の充実をはかる。

○自主的学習態度の育成

○指導法の研究

○教材の精選

・生活指導

組織、集団を通して自主的に判断し、行動する生活態度を養う。

○基本的習慣の確立

○生徒との交流

○生徒との交流

・進路指導

系統的指導計画の実践を通して、自己を理解し、将来の進路を選択する能力を育成する。

○教育相談の推進

○諸検査、諸調査の活用

・その他

以上の目標を達成するため

(1) 生徒の実態を十分に把握する。

(2) 家庭との連絡を密にする。

(3) 環境整備と美化に積極的に取り組む。

(4) 健康安全の保持について十分な配慮をする。

(5) 教師相互の共通理解と指導態勢など具体的な機能を確立する。

6. 生徒数

	1 年	2 年	3 年	計
学級数	8	9	8	25
男	156	190	154	500
女	167	171	162	500
計	323	361	316	1000

7. 教職員

番号	氏 名	年令	担 任	本 校 就任年月日	研究教科	校 務 分 掌
1	飯 田 卯 吉	58	校長	48. 4. 1		経営管理
2	長谷川 辰 美	46	教頭	48. 4. 1	英 語	校務一般
3	我 妻 要	49	1年主任	42. 4. 1	国 語	庶 務 部
4	村 上 敏 雄	38	1－1	47. 4. 1	音 楽	教 務 部
5	柳 井 佐和子	33	1－2	42. 4. 1	保・体	学習指導部（視聴覚・進路）
6	武 藤 光 哉	46	1－3	47. 4. 1	社 会	教 務 部
7	古 莊 斗糸子	34	1－4	45. 4. 1	数 学	学習指導部（道徳・図書）
8	千 田 正 之	35	1－5	43. 4. 1	保・体	生徒指導部 保健主事
9	渡 辺 恵 敏	38	1－6	46. 4. 1	理 科	生徒指導部（生徒会指）
10	北 野 義 昭	27	1－7	48. 4. 1	美 術	生徒指導部（清 掃）
11	西 村 敦 子	34	1－8	47. 4. 1	家 庭	学習指導部（学活・図書）
12	市 川 史 子	25	1 年	46. 4. 1	英 語	生徒指導部（H R長会）

番号	氏 名	年令	担 任	本校 就任年月日	研究教科	校 務 分 掌
13	大 須 寿美子	35	1 年	37.4.1	数 学	教 務 部
14	永 谷 豊	40	1 年	47.4.1	技 術	生徒指導部(生徒指導)
15	秦 好 一	49	2年主任	42.4.1	社 会	学校指導部長
16	石 垣 豊 子	31	2-1	47.4.1	国 語	生徒指導部
17	広 瀬 昭	42	2-2	48.4.1	英 語	庶 務 部
18	森 紀 子	32	2-3	45.4.1	社 会	生徒指導部(清掃)
19	原 島 弘	41	2-4	46.4.1	保・体	生徒指導部(教
20	福 地 和 子	34	2-5	47.4.1	理 科	教 務 部
21	飯 島 利 三	34	2-6	48.4.1	技 術	学習指導部(進路・視聴覚)
22	和 田 啄 子	36	2-7	47.4.1	保・体	生徒指導部(HR長会)
23	内 田 耕一郎	42	2-8	48.4.1	数 学	生徒指導部(クラブ)
24	石 田 洋 子	27	2-9	46.4.1	英 語	学習指導部(図書・学活)
25	稲 川 正 義	45	2 年	44.4.1	理 科	生徒指導部長
26	神 保 美智子	27	2 年	48.4.1	音 楽	生徒指導部(生徒会指)
27	井 村 初 子	36	2 年	46.4.1	美 術	教 務 部
28	井 田 武	44	2 年	41.4.1	国 語	教務部長
29	渡 辺 勉	48	3年主任	44.4.1	数 学	学習指導部(進路・視聴覚)
30	橋 本 紘 一	32	3-1	43.4.1	英 語	教 務 部
31	佐 藤 美枝子	51	3-2	48.4.1	英 語	生徒指導部(HR長会)
32	北 田 昇 司	25	3-3	47.4.1	理 科	生徒指導部(生徒会指)
33	森 川 亮	42	3-4	48.4.1	数 学	生徒指導部(生徒指導)
34	上 田 嘉 金	28	3-5	47.4.1	音 楽	生徒指導部(調査・統計・安全教育)
35	高 崎 雅 子	38	3-6	46.4.1	国 語	教 務 部
36	山 林 泉 二	46	3-7	44.4.1	社 会	生徒指導部(清掃)
37	大 石 幸 雄	34	3-8	46.4.1	保・体	学習指導部(道徳・視聴覚)
38	安 原 実	26	3 年	48.4.1	社 会	学習指導部(学習・図書)
39	熊 本 まゆみ	25	3 年	44.4.1	家 庭	教 務 部
40	小 林 節 夫	44	3 年	46.4.1	美 術	庶務部長
41	石 渡 和 子	45	3 年	47.4.1	国 語	生徒指導部(専門書)
42	中 野 草太郎	45		48.4.1	理 科	(非常勤講師)
43	田 中 徳 松	44		48.4.1	理 科	〃
44	原 登茂子	24		48.4.1	理 科	〃
45	高 橋 光 子	44		48.4.1	国 語	〃
46	鈴 木 由利江	27		48.5.1	数 学	〃

番号	氏 名	年令	担 任	本 校 就任年月日	研究教科	校 務 分 掌
47	中 根 健 五	42		40. 7. 1		庶務部・事務
48	本 間 慶 子	36		36.10. 1		事 務
49	衣 袋 節 子	25		40. 2. 1		事 務

8. 本校研究主題の推意

昭和40年度	教科の経営について	昭和44年度	環境美化について（継続）
昭和41年度	目標と評価（初年度）	昭和45年度	基本的生活習慣の具体的指導 について
昭和42年度	目標と評価（継続）		
昭和43年度	環境整備について	昭和46年度	性教育について
	㊦美術教育研究協力校	昭和47年度	
		昭和48年度	

9. 都教育研究員、研究生の出身歴

年 度	氏 名	教科領域	研究員、研究生別
昭和36年度	松 本 利 雄	社 会	研 究 員
昭和36年度	中 村 忠 男	数 学	〃
昭和37年度	照 山 宗一郎	技術・家庭	〃
昭和37年度	榎 本 健 三	学校行事	〃
昭和38年度	本 間 ト ヨ	保健体育	〃
昭和39年度	松 本 利 雄	学校行事	〃
昭和39年度	原 島 弘	保健体育	〃
昭和39年度	村 上 利 雄	音 楽	〃
昭和38年度	小 林 節 夫	美 術	〃
昭和39年度	〃	美 術	〃
昭和40年度	〃	美 術	〃
昭和40年度	福 田 慶 閑	英 語	〃
昭和44年度	小 林 節 夫	美 術	〃
昭和45年度	西 村 美沙子	音 楽	〃
昭和46年度	高 木 宏 文	数 学	〃
昭和46年度	中 村 功	理 科	〃
昭和47年度	成 瀬 二 郎	理 科	〃
昭和47年度	橋 本 紘 一	英 語	〃
昭和48年度	原 島 弘	道 徳	〃

10. 保護者の職業一覧

職 業	家 庭 数	%	職 業	家 庭 数	%
技 術 的 職 業	176	17.6	運 輸 通 信 従 事 者	72	7.2
管 理 "	87	8.7	サ ー ビ ス 業 従 事 者	48	4.8
生 産 工 程 作 業 者	129	12.9	販 売 従 事 者	94	9.4
事 務 従 事 者	306	30.6	農 林 業	13	1.3
単 純 労 働 者	7	0.7	そ の 他	43	4.3
保 安 職 業 従 事 者	48	4.8	計	1000	

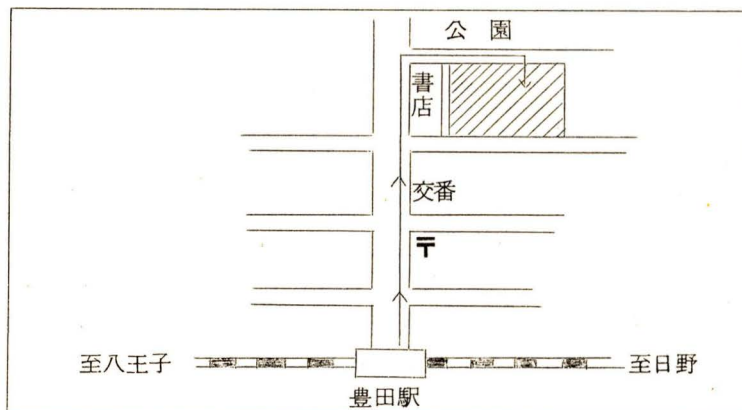
11. 本校の特色

46年度 30学級 47年度 34学級（都内最大級）の中で新教育課程実施を含め、標準学級にもどす努力もした結果、48年度から、ようやく新設四中が設置する運びとなった。しかし、末だ25学級で増大の傾向がある。＊中学校として大規模校に属す。約300世帯を収容する多摩平団地のほぼ中央に位置す。

- 生徒数 約1000名
- 出身小学校 5小、2小、3小、6小一部。
- 進路 進学多数 就職 ごく少数
- 校舎等施設 郊外特有の毎年の人口増加により、特別教室の普通教室転用の移動等により、図書室蔵書等不足

47年度34学級から25学級への縮少により、学区域もほぼ楕円形になる。

12. 学校に至るまでの地図





学校名 日野市立七生中学校

所在地 日野市豊田1944

電話 0425-91-0174 → 0157

順路 南平駅(京王線)下車 徒歩7分

校長氏名 高橋 太一

主任氏名 田代 拳

1. 沿革の概要

- 昭22.4.1. 学制改革により七生村立中学校を役場庁舎内に設置
- 昭22.5.15 七生村役場庁舎を仮校舎として開校式挙行2部授業で発足
- 昭23.2.15 七生村南平1944番地に七生中学校敷地決定、地鎮祭を挙行
- 昭23.9.4 新校舎完成、本日より授業開始
- 昭32.12.1 PTA結成第1回総会を挙行
- 昭32.12.1 創立十周年の記念式典及び校歌制定の発表会を挙行
- 昭36.7.15 プール新設工事着工(東京都費による)
- 昭37.7.31 プール開きを挙行
- 昭41.7.1 体育館落成
- 昭41.1.31 鉄筋コンクリート防音校舎改築はじまり現在にいたる。
- 昭45.3.31 鉄筋コンクリート防音校舎九教室完成する。
- 昭45.4.1 七生中学校三三分校設置
- 昭45.9.30 日野第三中学校開校につき七生中学校三三分校廃止
- 昭46.3.31 第二期防音鉄筋校舎完成
- 昭46.5.27 防音校舎落成記念式典挙行
- 昭46.8.24 プール浄化装置、更衣室完成
- 昭47.3.20 観察用水槽完成

2. 昭歴代校長

氏名 年月～年月
飯塚 節三 昭22.4.～昭25.9.

氏名 年月～年月

増山 恒 昭25.10～昭30.10
飯島 一吉 昭30.10～昭37.3
木村 巧 昭37.4～昭40.3
芳西 幸三 昭40.4～昭44.3
羽崎 一男 昭44.4～昭47.3
高橋 太一 昭47.4～現在

3. 地域の環境

学校は京王線より徒歩7分、中央線豊田駅より南へ20分、浅川にそう静かな位置にある。学区は京王線に沿って東西に長く、平坦部と多摩丘陵からなり、急速に都市化が進みつつある。生活環境がよく、生活指導には恵まれている。

学区内に百草園、高幡不動等があり、また多摩動物園、平山城址等の文化施設がある。

4. 教育目標

教育基本法および学校教育法の定めるところに基づき、自主、敬愛、勤勉、責任、健康の五つの教育目標を定め、これを身につけた人間の育成に努める。

5. 本年度指導の重点

- 学習指導
基礎学力の向上
自主的学習態度の養成
- 生活指導
上記教育目標を身につけた中学生らしい生活態度の育成。生徒の非行化防止と善導、道徳、特別教育活動の効果的運営。

・進路指導

進学・就職の両面にわたり、自己の適性を考えて進路を決定するよう指導する。

・その他

健康の保持増進、交通に対する安全教育の推進。

6. 生徒数

	1 年	2 年	3 年	計
学級数	6	6	6	18
男	144	114	113	401
女	118	118	115	341
計	252	262	228	742

7. 職員数

番号	氏 氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	研究教科	そ の 他
1	高 橋 太 一	54	校 長	47. 4. 1	理 科	
2	田 代 拳	50	教 頭	45. 4. 1	社 会	
3	大 宅 寛	39	1 - A	38. 4. 1	音 楽	
4	志 村 嘉 信	39	1 - B	48. 4. 1	技 術	
5	海 谷 幸 子	33	1 - C	47. 4. 1	英 語	
6	荒 井 武 子	42	1 - D	48. 4. 1	社 会	
7	中 村 剛 紀	31	1 - E	46. 4. 1	美 術	
8	山 川 昭 子	41	1 - F	48. 4. 1	数 学	
9	赤 木 清 福	49	1年主任	39. 4. 1	国 語	
10	田 中 憲 助	46	1年所属	37. 4. 1	理 科	
11	戸 川 二美子	26	1年所属	45. 4. 1	国 語	
12	大 塚 和 子	26	養 護 1年所属	44. 5. 1	保 健	
13	松 本 節 子	34	2 - A	42. 4. 1	家 庭	
14	内 藤 柳 子	24	2 - B	47. 4. 1	音 楽	
15	山 田 葉 子	24	2 - C	47. 9. 1	英 語	
16	鈴 木 達 夫	24	2 - D	47. 4. 1	保 健	
17	小 松 文 木	42	2 - E	48. 4. 1	理 科	
18	田 端 七 郎	36	2 - F	45. 4. 1	技 術	
19	明 石 敏 春	44	2年主任	41. 4. 1	数 学	
20	佐 藤 良 枝	51	2年所属	42. 4. 1	国 語	

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	研究教科	そ の 他
2 1	木 下 満 子	4 2	2年所属	4 5. 4. 1	社 会	
2 2	石 井 幸 男	4 1	3 - A	4 1. 4. 1	理 科	
2 3	山 本 矢 一	3 5	3 - B	3 6. 4. 1	保 体	
2 4	猪 井 詔 子	2 8	3 - C	4 3. 4. 1	英 語	
2 5	新 井 教 且	3 6	3 - D	4 6. 4. 1	数 学	
2 6	伊 藤 栄 一	2 4	3 - E	4 7. 4. 1	社 会	
2 7	阿 部 晃 一	4 1	3年主任	4 2. 4. 1	美 術	
2 8	山 辺 文 男	5 1	3年所属	4 3. 4. 1	国 語	
2 9	成 舞 京 子	3 8	3年所属	4 6. 4. 1	理 科	
3 0	加 藤 邦 子	3 4	3年所属	4 1. 4. 1	保 体	
3 1	御子柴 昭 治	4 7	訪問学級	4 7. 4. 1	特 殊	
3 2	檀 浦 洋 美	3 0	訪問学級	4 7. 4. 1	特 殊	
3 3	飯 キ ミ	6 1	事務主事	2 2. 4. 3 0	事 務	

8. 本校研究主題の推移

昭和40年度	学校行事等の基本的考え方について	
昭和41年度	学校行事等の調査検討	
昭和42年度	学校行事等の指導計画作成について	㊦
昭和43年度	学校と家庭の協力について(特に家庭訪問)	㊦
昭和44年度	効率を高める学級経営のすすめ方について	㊦
昭和45年度	生徒の自主性を高めるための生徒会活動のあり方について	㊦
昭和46年度	効率をたかめるための指導のあり方について	
昭和47年度	学級経営の効果的運営について	
昭和48年度	ひとりひとりを生かす学級経営について	

9. 本校の特色につい

本校は浅川と四季それぞれ変化を見せる多摩丘陵にはさまれ、自然環境には恵まれた位置にある。昭和35年頃までは、純農村であったが、現在は農業経営の子弟は4.4%、ほとんどがサラリーマンの子弟で、急速に生徒数も激増しつつある。

生徒は明かるく、素直であり、父母も教育熱心である。PTA活動も、伝統と新しさをうまく調和して建設的で意欲的である。

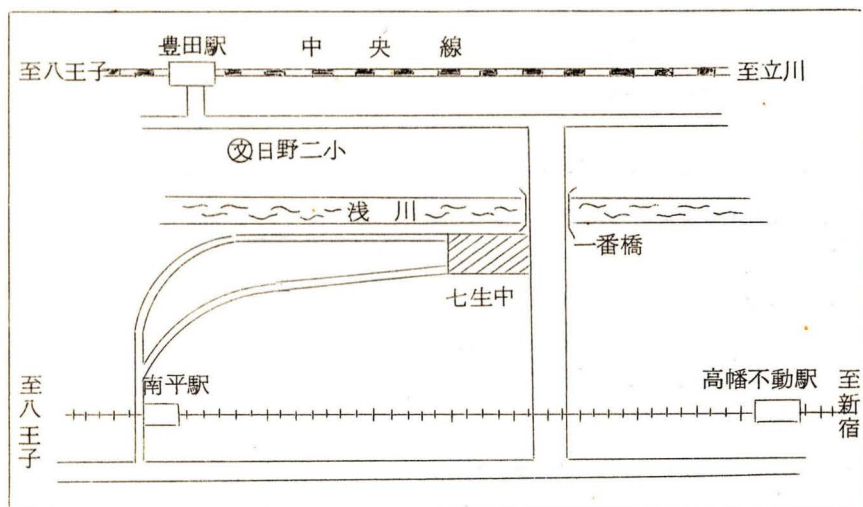
10. 都教育研究員、研究生の出身歴

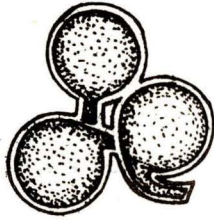
年 度	氏 名	教科領域	研究員、研究生別
昭和34年度	出 水 操	美 術	研 究 員
昭和41年度	城 所 富 子	技術家庭	"
昭和43年度	阿 部 晃 一	美 術	"

11. 保護者の職業一覧

職 業 名	%	職 業 名	%
会 社 員	395	自 営 商 業	50
公 務 員	76	" 農 業	33
学 校 職 員	22	自 由 業	32
鉄 道 関 係 職 員	41	無 職	14
公 団 職 員	8	そ の 他	21
自 営 工 業	50	計	742

12. 学校に至るまでの地図





学校名 日野市立日野第三中学校

所在地 日野市程久保 6 5 0

電 話 0 4 2 5 - 9 1 - 2 2 2 8 (代)

順 路 京王線高幡不動駅より百草団地行バスにて
高幡台団地下車徒歩 5 分

校長氏名 松 延 耕 作

教頭氏名 鈴 木 邦 男

1. 沿革の概要

昭 4 5. 4. 1 日野市立七生中学校日野第三
中分校として、七生中学校内
で授業開始。生徒数 2 6 名
教職員数 1 2 名。

昭 4 5. 7. 7 プール建設工事着工
(日野市程久保 6 5 0)

昭 4 5. 9. 4 校舎新築工事着工。(同上)

昭 4 5. 10. 1 日野市立日野第三中学校開校、
七生中学校内で授業。生徒数
4 4 名、教職員 1 4 名、百草
団地、高幡台団地を学区と
する。

昭 4 5. 10. 2 8 プール工事竣工。

昭 4 6. 3. 2 7 校舎新築工事竣工。

昭 4 6. 4. 1 学区変更、程久保地区全部
三沢地区上中を加える。生徒
数 2 2 8 名、学級数 7、教職
員 1 6 名、市職員 3 名。日野
市程久保 6 5 0 番地の新校舎
に移転。

昭 4 6. 7. 1 学区変更、西武百草園団地
を加える。

昭 4 6. 10. 2 開校式挙行。1 0 月 2 日を開
校記念日とする。校章、校歌
を発表、制定記念日とする。

昭 4 7. 4. 1 生徒数 3 6 3 名、学級数 1 0、
教職員 1 9 名、市職員 4 名。

昭 4 7. 8. 1 1 体育館建設工事着工。

昭 4 8. 1. 3 1 体育館工事竣工。

昭 4 8. 3. 1 7 第 2 回卒業式挙行。卒業生
1 0 5 名。(累計 1 2 8 名)

昭 4 8. 4. 1 生徒数 4 5 5 名、学級数 1 2
教職員 2 2 名。社会増による
教室不足のためプレハブ 2 教
室増設。

2. 歴代校長

初代 橋 本 敏 一 昭 4 5. 9 ~ 4 8. 3

二代 松 延 耕 作 昭 4 8. 4 ~ 現 在

3. 地域の環境

本校の学区は、日野市南部の多摩丘陵
地帯に位置し、日本住宅公団の百草団地、
高幡台団地と民間分譲地の三井団地、電建
団地、西武百草園団地および在来の集落で
ある程久保、三沢をふくんだ人口急増のベ
ットタウンである。

起伏が多く林に囲まれた静かな高台で、
眼下には浅川が流れ、はるかに武蔵野台地
を一望に見渡すことができる。学区内に
都立多摩動物公園、明星大学があり、よい
環境である。住民の多くは各地より最近移
住した者で、その大半は都心へ通勤するサ
ラリーマンである。

4. 教育目標

自ら判断し、責任をもって実行する人
となる。

(1) 基礎学力を充実し、文化を創造する人
となろう。

(2) 豊かな心を養い、力を合わせて進もう。

(3) 若人らしい気力、体力を養おう。

5. 本年度指導の重点

(1) 各教科・道徳・特別活動の指導の重点

ア・各教科

教材を精選するとともに、自主的学習を促進し、学習の効率化をはかる。

イ・他領域との関連をはかりながら、豊かな心を養い、自主的判断のもとに責任ある行動ができるよう指導内容をくふうする。

ウ・特別活動

① 小集団における個人の自発的活動をうながし、学級集団の質を高める。

② 生徒会活動を母体としての学級活動の充実をはかる。

(2) 生活指導・進路指導の重点

① 生活指導においては、学級の基礎の上に立った生徒会活動を伸長させ、組織を通して自律ある生活態度を身につけさせる。

② 進路指導においては、教師・生徒・保護者の緊密な交流をはかり、各学年に応じた系統的指導を実践する。

6. 生徒数

	1 年	2 年	3 年	計
学級数	4	4	4	12
男	100	79	69	248
女	75	61	72	208
計	175	140	141	456

7. 教職員

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	研究教科	校 務 分 掌
1	松 延 耕 作	52	校 長	48. 4. 1	社 会	
2	鈴 木 邦 男	48	教 頭	45. 9.16	理 科	
3	高見沢 文 男	23	1 - 1	48. 4. 1	数 学	生活指導、道徳
4	星 野 明	54	1 - 2	48. 4. 1	国 語	生活指導、進路指導
5	菊 地 貞 光	34	1 - 3	48. 4. 1	技 術	教務、庶務
6	志 茂 知 之	42	1 - 4	47. 4. 1	社 会	庶務、学級活動
7	北 原 景 昭	40	1年所属	45.10. 1	保 体	生活指導主任
8	佐 藤 寿 枝	34	"	45.10. 1	家 庭	保健指導
9	東 郷 隆 盛	47	2 - 1	45.10. 1	国 語	教務、進路指導
10	遠 藤 仁	40	2 - 2	45.10. 1	英 語	生活指導
11	桜 井 絢 子	36	2 - 3	46. 4. 1	保 体	生活指導
12	鈴 木 信 一	47	2 - 4	47. 4. 1	数 学	教務、道徳

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	研究教科	校 務 分 掌
13	長 島 寿 平	50	2年所属	45.10.1	理 科	情報センター、PTA
14	小屋松 ゆ み	23	"	47.4.1	保 健	保健指導、事務
15	佐 藤 恒	42	3 - 1	45.10.1	美 術	生活指導、PTA
16	持 田 友 宏	39	3 - 2	45.10.1	社 会	教務、情報センター
17	河 野 裕 香	40	3 - 3	45.10.1	音 楽	生活指導、道徳
18	細 谷 洋 三	40	3 - 4	48.4.1	理 科	教務、情報センター
19	吉 田 克 己	50	3年所属	46.4.1	国 語	情報センター進路指導
20	鈴 木 幸 子	43	"	45.10.1	数 学	生活指導、情報センター
21	内 藤 由紀子	36	"	45.10.1	英 語	生活指導、学級指導
22	佐 藤 博 助	53	事務主査	45.10.1		事務
23	鈴 木 正 美	45	非常勤講師	48.4.1	社 会	
24	丸 山 久 子	42	"	48.4.1	社 会	
25	山 岸 香	24	"	48.4.1	音 楽	
26	細 水 清 司	40	"	48.4.1	美 術	
27	矢ヶ崎 和 子	41	"	48.4.1	英 語	
28	古 川 善 夫	23	"	48.5.1	保 体	

8. 本校研究主題の推移

評価の改善について
 昭和46年度 学級活動の組織的研究
 評価について
 昭和47年度 教育活動（特活を中心としたもの）年間計画の検討

9. 本校の特色

本校は多摩丘陵の高台に位置し、南には雑木林が接し、四季おりおりの樹木、小鳥のさえずりを楽しむことができる。校舎落成3年目であるが、施設、設備は一応整って、その活用につとめている。

開校以来、「自ら判断し、責任をもって実行する人となる」の教育目標の具現をめざし、全教育活動を通じて、生徒の自主性の育成につとめている。

10. 都教育研究員、研究生出身歴

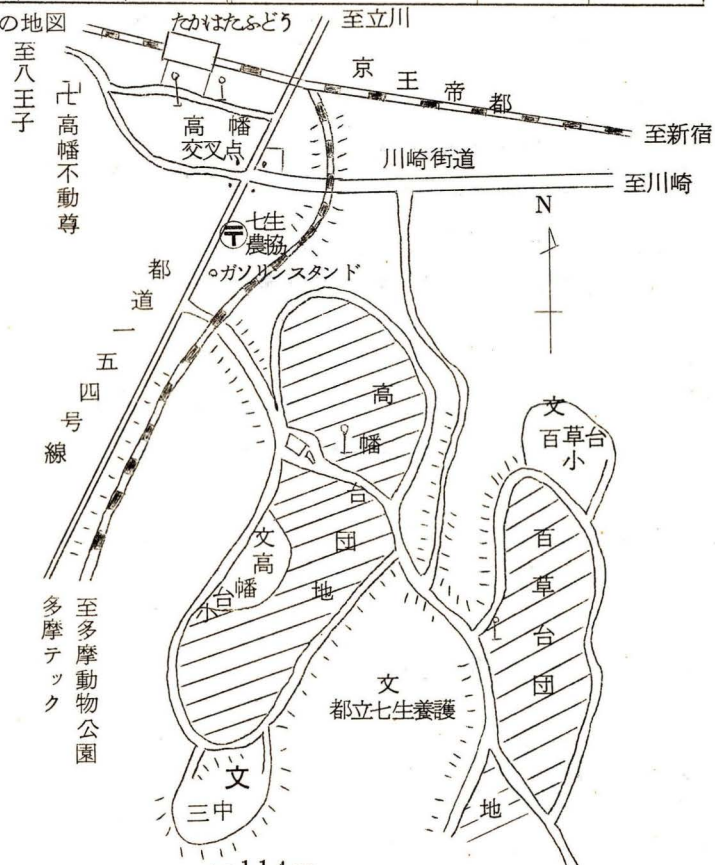
年 度	氏 名	教材領域	研究員、研究生別
昭和46年度	東 郷 隆 盛	国 語	研 究 員
昭和47年度	持 田 友 宏	社 会	"

年 度	氏 名	教材領域	研究員、研究生別
昭和48年度	志 茂 知 之	教育経営	研 究 員
昭和26年度	松 延 耕 作	社 会	研 究 生
昭和36年度	”	”	研 究 員
昭和32年度	吉 田 克 己	国 語	”
昭和33年度	”	”	研 究 生
昭和43年度	志 茂 知 之	安全教育	研 究 員

1 1. 保護者の職業一覧

職 業	家庭実数	%	職 業	家庭実数	%
専門的、技術的職業	67	15.6	運輸通信などの職業	19	4.4
管 理 的 職 業	47	10.9	保 安 的 職 業	5	1.2
事 務 的 職 業	216	50.1	サービシ的職業	10	2.3
販 売 的 職 業	20	4.6	無 職 ・ そ の 他	16	3.7
農林漁業などの職業	8	1.9			
技 能 的 職 業	23	5.4	計	431	100.0

1 2. 学校に至るまでの地図



学校名 日野市立日野第四中学校

所在地 日野市旭ガ丘2-42

電話 0425-83-3905

順路 中央線豊田駅下車 徒歩17分

校長氏名 河村 俊一郎

教頭氏名 河野 寿忠

1. 沿革の概要

- 昭46.12. 市議会全員協議会で四中建設について協議した。
- 昭47. 3.26 市議会は四中建築予算を議決した。
- 昭47. 5.10 市教育委員会は四中準備委員会をつくった。
- 昭47. 8.21 四中校舎起工式(工費約1.9億円。施工小田急建設)
- 昭47.10. 7 市教育委員会は父母対象に学区説明会を開いた。
- 昭47.12. 7 市教育委員会は四中の学区を決定した。
- 昭47.12.25 市議会は四中の屋内体育館の予算を議決した。
- 昭48. 1.18 屋内体育館着工(工費約4千6百万円。施工小田急建設)
- 昭48. 2.10 14 学級(1年5. 2年5. 3年4.)との認可通知がきた。
- 昭48. 3.26 都から第四中学校の設立認可の通知がきた。
- 昭48. 4. 1 初代校長 河村俊一郎以下教員24名発令された。
- 昭48. 4. 6 始業式(2年193名 3年152名)
- 昭48. 4. 9 第一回入学式
(1年192名 全校生徒537名となる。)
- 昭48. 5.13 プール着工(工費約2,700万円 施工)

2. 歴代校長

代氏名 期間

初代 河村 俊一郎 昭48.4.1～現在

3. 地域の環境

本校の学区は、地形的・地質的には北半の洪積台地(日野台)と南半の浅川ぞいの沖積低地に2分されている。台地部は2～3段の段丘状になっており、その境界は高低差10～20mの急崖になっている。

この地域の開発は日野市の中でもっともおくれていたところのひとつであり、人家はほとんどなかったが昭和12年小西六写真工業(株)(六桜社)、昭和18年富士電機製造(株)の進出まではほとんど見るべきものはなかった。

しかし戦後はここも近代化の波が押しよせ、昭和33年多摩平団地入居をきっかけに人口は急増をはじめた。

その他、平山工業団地、国鉄豊田電車区なども畑や雑木林をつぶして設置され、学区内の様相は最近10年間でいちじるしく変化している。

4. 教育目標

教育基本法第一条にのっとり、人間尊重の精神を基本とし、民主的社会の形成者をめざし、

一、進んで計画し、実行する人間

(自主・自律)

一、自他を尊重し、責任を重んずる人間

(協同・責任)

一、創造的で、情操豊かな人間（創造・情操）

一、健康で仕事を受す、ねばり強い人間（健康・根気）を育成する。

学校の教育目標を達成するための基本方針

1. 教育内容 基本事項の系統化をはかるとともに、生徒の思考過程をたいせつにするよう教育内容を配列する。
2. 指導方法 興味や関心を重んじ、積極的に学習するよう指導する。
3. 時数の配当 創造性に富む豊かな情操の育成をめざし、音楽、美術の時数を、各学年、週2時間とする。
4. 諸条件の整備 新設校の実態に照らし、各教科の学習に緊急を要する教具の整備に努める。
5. 本年度指導の重点
 - (1) 各教科
 - ア・自ら学びとる学習態度を育成する。
 - イ・基礎学力の充実をはかる。
 - ウ・教材の精選、指導法の研究に努める。
 - (2) 道徳
 - ア・基本的行動様式、特に整理整頓、時と場所に応じたふるまいを身につけさせる。
 - イ・異なる考えや立場も尊重する態度を養う。
 - (3) 特別活動
 - ア・教師と生徒、生徒相互の心のふれ合いを深める。
 - イ・自主的に判断し、自発的に行動し、協力する態度と習慣を養う。
 - (4) 生活指導
 - 組織集団を通して自主的に判断し行動する生活態度を養う。
 - ア・ひとりひとりの生徒との交流（個別指導）と集団指導とが、互いに補足し合うよう指導をすすめる。
 - イ・賞さん、承認、注意、指示など適切に反復指導し、基本的な生活習慣を身につけさせる。
 - ウ・すべての教師が全生徒の指導にあたる。それ故、教師の共通理解を深める。
 - (5) 進路指導
 - 系統的な指導に努め、自己の理解、情報の分析を通し、将来の進路を選択する能力を育成する。
 - (6) その他の配慮事項
 - ア・学校の主体性を基盤におき、保護者との連携を積極的に推進する。
 - イ・新設校の実態から、校内緑化、環境整備、美化に取り組む。
 - ウ・校歌、校章、服装の検討を進め、新設校としてはじない校風の確立をはかる。

6. 生徒数

	1 年	2 年	3 年	計
学級数	5	5	4	14
男 子	95	92	73	260
女 子	97	101	79	277
男女計	192	193	152	537

7. 教職員一覧

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	担当教科	そ の 他
1	河 村 俊一郎	53	校 長	48. 4. 1	社 会	
2	河 野 寿 忠	42	教 頭	"	理 科	
3	小 畑 亮	51	1年主任	"	美 術	教務、転出入、教科書
4	伊 藤 誠	24	1 - 1	"	保 体	生活指導、生徒会 クラブ
5	萩 原 典 子	45	1 - 2	"	家 庭	生活指導、清掃指導
6	相 原 美智子	37	1 - 3	"	数 学	教務、出欠統計
7	設 楽 悦 代	37	1 - 4	"	理 科	学習研究、学級活動
8	田 中 栄 一	46	1 - 5	"	国 語	学習研究部長
9	六本木 茂	45	1年所属	"	社 会	庶務、カーテン
10	富 士 堯	41	2年主任	"	理 科	学習研究、研修研究
11	国 信 武 司	24	2 - 1	"	社 会	教務、教務事務
12	西 村 美沙子	37	2 - 2	"	音 楽	生活指導、生徒会クラブ
13	佐 藤 イ サ	42	2 - 3	"	国 語	生活指導、生徒会 クラブ
14	柳 沢 美 登	37	2 - 4	"	英 語	庶務、就学援助
15	鈴 木 建 一	25	2 - 5	"	保 体	生活指導、安全教育
16	高 木 宏 文	40	2年所属	"	数 学	教務主任
17	鈴 木 良 身	42	3年主任 3 - 1	"	技 術	生活指導、教育相談
18	辻 和 代	27	3 - 2	"	保 体	生活指導、保健指導
19	丸 山 尙 夫	41	3 - 3	"	数 学	教務、時間割
20	黒 沢 谷五郎	48	3 - 4	"	社 会	学習研究、視聴覚
21	西 川 利 行	48	3年所属	"	英 語	生活指導主任
22	北 条 義 道	62	3年所属	"	国 語	庶務部長
23	長 峯 幸 子	23	養 護	"		生活指導、保健指導
24	大 野 馨	40	事務主事	"		事務、庶務
25	藤 井 みゆき	25	非常勤講師	"	理 科	
26	天 野 晴 代	23	"	"	音 楽	
27	駒 形 恵美子	25	"	"	美 術	
28	後 藤 春 樹	66	"	"	技 術	
29	佐 藤 靖 子	35	"	"	家 庭	
30	貫 井 タ リ	37	"	"	英 語	

8. 本校の研究主題の推意

昭和48年度 学習指導の現代化

9. 本校の特色

(1) 施設 敷地約17,000 m^2 二級防音校舎 普通教室12. プレハブ2. 特別教室7.

体育館1,100 m^2 プールまもなく工事開始 校庭約115m×64m

(2) 教育活動 各領域の調和に心掛けつゝ、新しい校風を創る意気に燃えている。

ア・授業 校内の研究を深め、1時間1時間をたいせつにする。授業打切りは極力さけ、真面目な生徒を育てる。

イ・特別活動 生徒会(毎月曜)学級(毎金曜)クラブ(毎木曜)学校行事(適時)の調和をめざし、一方に片寄ることなく、時間を厳守して活動し、自発性、自律性を育てる。

クラブは他に、火、木は5時まで、土は3時30分まで自主的活動を時間外に可能とし、全職員分担して指導している。

(3) 基礎づくり 特別委員会で(教職員)創立の基礎づくりに邁進している。

(教育目標、校歌、校章、校内緑化、服装、プレハブ対策、PTA準備)

10. 都教育研究員、研究生出身歴

s41	河野 寿 忠	研究員	理科(日野一中)	s46	高 木 宏 文	研究員	数 学(日野二中)
s41	富 士 堯	"	特活(")	s30	西 川 利 行	研究生	教育大英(八王子五中)
s45	田 中 栄 一	"	国語(日野二中)	s46	富 士 堯	研究生	都研理(日野一中)
s44	西村 美紗子	"	音楽(")				
s35	西 川 利 行	"	英語(八王子五中)				

11. 保護者の職業一覧

職 業	家庭実数	%	職 業	家庭実数	%
専門的技術的職業	58	11.0	運 輸 ・ 通 信	41	7.8
管 理 的 職 業	50	9.5	サービスの職業	30	5.7
事 務 的 職 業	234	44.6	そ の 他	4	0.8
販 売 的 職 業	30	5.7	無 職	2	0.4
技 能 的 職 業	73	13.9			
農 林 漁 業	3	0.6	計	525	100

1 2. 学校に至るまでの地図

